

# シ ラ バ ス

(授業計画・内容)

令和五年度版

奈良大学附属高等学校

## は じ め に

学校長 堀川 忠通

本校の『めざすべき生徒の将来像』として、「豊かな教養と情操をもって社会に貢献する人材、倫理的に正しきに強い人間」が謳われています。生徒の皆さんの知性や教養等を育成するため、国語科、数学科、英語科、理科そして地歴公民科に偏ることなく、保健体育科、家庭科、芸術科そして情報科等も重視して幅広く学べる教育課程が設けられています。

奈良大学附属高校生は「授業で勝負」。すべての「授業」を大切にして、すべての授業を理解することが、皆さんの大学進学等の進路実現やその先の人生を豊かにすることにつながっていきます。

その皆さんの「授業」を支援するのがこの「シラバス」です。本来「シラバス」とは、各授業科目の授業計画の概要のことを言います。本校のシラバスは、各教科科目の学習目標、年間の授業の流れ、具体的な学習方法について示しています。多くの皆さんが、中学校までは「与えられる勉強」だったと思いますが、本校では「自ら学ぶ勉強」（主体的な学び）へと転換する必要があります。そのためにも「シラバス」を活用して「学ぶ意義」をしっかりと理解し、3年間の見通しをもち、具体的な学習方法で学習習慣を身につけてください。

単元別確認考査も昨年度から始まっています。新学習指導要領による授業に合わせて、観点別評価を取り入れた新しい学習評価に取り組んでいます。この取組は、皆さんが自らの学習を振り返って、どのような努力をすれば次の学習につながるのかが分かるという教育活動です。

当然のことですが、日々の授業に臨む心構えとして、「予習」→「授業」→「復習」のサイクルを大切にしてください。受け身の勉強から一日も早く卒業し、主体的に学習に取り組む習慣を身につけましょう。

皆さんが、「自立した学習者」となって進路実現を果たすとともに、社会に貢献できる人間に成長してくれることを大いに期待しています。

# 目 次

は じ め に . . . . .	1
国 語 科 . . . . .	2
地 理 歴 史 科 . . . . .	24
公 民 科 . . . . .	34
数 学 科 . . . . .	38
理 科 . . . . .	60
保 健 体 育 科 . . . . .	85
芸 術 科 . . . . .	92
外 国 語 科 . . . . .	101
家 庭 科 . . . . .	121
情 報 科 . . . . .	122
総合的な探究 . . . . .	124

# 国語科



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	現代の国語	2	標準	1	必修	現代の国語(大修館)	現代の国語学習ノート(大修館) ビジュアルカルチャー国語便覧(大修館)

学習目標	実社会における他者との関わりに必要な語彙を獲得するとともに、その語彙を活用するための知識を身につけ、対話や文章の読解を通じて、自分の意見や主張を確かなことばで相手に伝えることができる力を育てる。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	明日をひらく	中学の復習・漢字や語彙の学習 考える技術	<b>【知】</b> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 <b>【知】</b> 言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 <b>【思】</b> 「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 <b>【主】</b> 積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。 <b>【知】</b> 正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現を理解している。 <b>【思】</b> 「話すこと・聞くこと」において、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 <b>【主】</b> 「やさしい日本語」に興味をもち、相手や目的に応じた言葉の使い方を積極的に考えようとしている。 <b>【知】</b> 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 <b>【思】</b> 「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 <b>【主】</b> 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。 <b>【知】</b> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 <b>【知】</b> 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <b>【思】</b> 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 <b>【主】</b> 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。 <b>【知】</b> 主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 <b>【思】</b> 「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 <b>【主】</b> 論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	要点をつかむ	伝える・伝え合う				
	的確に伝える	設計図を最初に渡せ！ 伝わるように話す				
	要点をつかむ	漢字や語彙の学習 文章の要点をつかむ				
	論理をとらえる	水の東西 動的平衡としての生物多様性				
2	資料を駆使する	漢字や語彙の学習 資料と文章の関係を読む 「安くて美味しい国」の限界	<b>【知】</b> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 <b>【知】</b> 文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 <b>【思】</b> 「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 <b>【主】</b> 図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。 <b>【知】</b> 文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 <b>【思】</b> 「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 <b>【主】</b> 図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。 <b>【知】</b> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 <b>【知】</b> 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <b>【思】</b> 「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <b>【主】</b> 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	他者と交流する	状況に応じた通信文を書く				
	情報を比較する	漢字や語彙の学習 文章を比較して読む 空気を読む 「個人」から「分人」へ				
3	主張を吟味する	漢字や語彙の学習 根拠を吟味して読む 贅沢を取り戻す  文章を読み取って主張を書く	<b>【知】</b> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 <b>【知】</b> 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 <b>【思】</b> 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <b>【主】</b> 情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。 <b>【主】</b> 読みに手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。 <b>【思】</b> 「書くこと」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長・課題を把握している。 <b>【主】</b> 意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	現代の国語	2	文理 特進Ⅱ類	1	必修	現代の国語(大修館)	現代の国語学習ノート デジタル版 ビジュアルカラー 国語便覧

学習目標	実社会における他者との関わりに必要な語彙を獲得するとともに、その語彙を活用するための知識を身につけ、対話や文章の読解を通じて、自分の意見や主張を確かなことばで相手に伝えることができる力を育てる。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを上げたり深めたりすることができるようにしている。		言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	明日をひらく	漢字や語彙の学習	【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【知】言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思】「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主】積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。 【知】正確さ、分りやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現を理解している。 【思】「話すこと・聞くこと」において、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主】「やさしい日本語」に興味をもち、相手や目的に応じた言葉の使い方を積極的に考えようとしている。 【知】話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 【思】「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 【主】積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。 【知】比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主】積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。 【知】主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思】「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主】論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	考える技術					
	要点をつかむ	伝える・伝え合う				
	的確に伝える	設計図を最初に渡せ！ 伝わるように話す				
2	要点をつかむ	文章の要点をつかむ 水の東西	【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【知】文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 【思】「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。 【知】文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 【思】「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。 【知】個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主】複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	論理をとらえる	動的平衡としての生物多様性				
	資料を駆使する	漢字や語彙の学習 資料と文章の関係を読む 「安くて美味しい国」の限界 統計資料をもとに意見を書く				
	他者と交流する	状況に応じた通信文を書く				
3	情報を比較する	文章を比較して読む 空気を読む 「個人」から「分人」へ	【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【知】情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思】「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主】情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。 【主】読みに手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。 【思】「書くこと」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長・課題を把握している。 【主】意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	主張を吟味する	漢字や語彙の学習 根拠を吟味して読む 贅沢を取り戻す  文章を読み取って主張を書く				

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	現代の国語	3	特進Ⅰ類	1	必修	現代の国語(大修館)	現代の国語学習ノート(大修館) ビジュアルカラー国語便覧(大修館)

学習目標	実社会における他者との関わりに必要な語彙を獲得するとともに、その語彙を活用するための知識を身につけ、対話や文章の読解を通じて、自分の意見や主張を確かなことばで相手に伝えることができる力を育てる。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	明日をひらく	漢字や語彙の学習	【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【知】言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思】「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主】積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。 【知】正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現を理解している。 【思】「話すこと・聞くこと」において、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主】「やさしい日本語」に興味をもち、相手や目的に応じた言葉の使い方を積極的に考えようとしている。 【知】話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 【思】「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 【主】積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。 【知】比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主】積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。 【知】主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思】「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主】論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	考える技術					
	要点をつかむ	伝える・伝え合う				
	的確に伝える	設計図を最初に渡せ！ 伝わるように話す				
2	要点をつかむ	文章の要点をつかむ 水の東西	【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【知】文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 【思】「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。 【知】文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 【思】「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。 【知】個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主】複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	論理をとらえる	動的平衡としての生物多様性				
	資料を駆使する	漢字や語彙の学習 資料と文章の関係を読む 「安くて美味しい国」の限界 統計資料をもとに意見を書く				
	他者と交流する	状況に応じた通信文を書く				
3	情報を比較する	文章を比較して読む 空気を読む 「個人」から「分人」へ	【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【知】情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思】「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主】情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。 【主】読みに手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。 【思】「書くこと」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長・課題を把握している。 【主】意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	主張を吟味する	漢字や語彙の学習 根拠を吟味して読む 贅沢を取り戻す  文章を読み取って主張を書く				

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	言語文化	3	標準	1	必修	言語文化(大修館)	言語文化学習ノート(大修館) ビジュアルカルカ―国語便覧(大修館)

学習目標	国語を尊重する姿勢を大切にし、確かな語彙力と知識を身につけるとともに、さまざまな作品に触れることを通して想像力や思考力を深め、他者と心を通わせるための豊かな表現力とことばの力を養う。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A+、A、B、C、C-の5段階）にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	現代 言語文化への視点	世界を見わたす窓	【知】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をととして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	記述の点検（ノート・小テスト）・発表・考査	記述の点検（ノート・小テスト）・発表・考査	記述の確認（振り返りシート）
	古文 古文に親しむ	中学の復習（古文） 解釈の視点①古典の言葉	【知】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「書くこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらと比較して論じたり評論したりする活動。 【主】読語文字に興味を持ち、登場人物の行動から多様な価値観を読み取ろうとしている。・古文の読語と現代のさまざまな文化との繋がり理解しようとしている。			
	漢文 漢文に親しむ	「宇治拾遺物語」 田舎の児、桜の散るを見て泣くこと 児のそら寝	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をととして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。			
	現代 言葉の紡ぐ世界	中学の復習（漢文） 私たちと漢文 訓読のきまり① 訓読のきまり② 訓読のきまり③ 解釈の視点① 『羅生門』 『今昔物語集』巻第二十九第一八	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容を解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。			
2	古文 自然へのまなざし	「徒然草」をりふしの移り変はるこそ	【知】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【知】和歌には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】和歌に興味をもち、歌人やその時代の背景に興味をもち、自分なりの解釈を行うおうとしている。 【知】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感や言葉の豊かさにしている。・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。	記述の点検（ノート・小テスト）・発表・考査	記述の点検（ノート・小テスト）・発表・考査	記述の確認（振り返りシート）
	古文 思いを表す言葉（一）	「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 四季の移ろい 解釈の視点③				
	古文 人との交わり	「伊勢物語」 芥川 解釈の視点④ 言語文化の窓①				
	漢文 現代に生きる言葉	蛇足				
3	古文 語り継がれる歴史	平家物語「木曾の最期」	【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。・物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【主】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、広い視野から国際理解に臨む姿勢をもち、我が国の言語文化をあらためて見直そうとしている。	記述の点検（ノート・小テスト）・発表・考査	記述の点検（ノート・小テスト）・発表・考査	記述の確認（振り返りシート）
	現代 日本と世界	外国語の不思議・日本語の不思議				

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	言語文化	3	文理・特進	1	必修	言語文化(大修館)	言語文化学習ノート(大修館) ビジュアルカルカ―国語便覧(大修館)

学習目標	国語を尊重する姿勢を大切にし、確かな語彙力と知識を身につけるとともに、さまざまな作品に触れることを通して想像力や思考力を深め、他者と心を通わせるための豊かな表現力とことばの力を養う。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価基準	評価方法		
				知	思	主
1	現代 言語文化への視点	世界を見わたす窓	【知】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	古文 古文に親しむ	中学の復習(古文) 解釈の視点①古典の言葉 解釈の視点②係り結び	【知】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。・「読むこと」において、異なる時代に成立した読書や小説、物語などを読み比べ、それらと比較して論じたり評論したりする活動。 【主】読書文字に興味を持ち、登場人物の行動がもたらす価値観を読み取ろうとしている。・古文の読書と現代のさまざまな文化との繋がり理解しようとしている。			
	漢文 漢文に親しむ	「宇治拾遺物語」 田舎の児、桜の散るを見て泣くこと 児のそら寝	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。			
	現代 言葉の紡ぐ世界	中学の復習(漢文) 私たちと漢文 訓読のきまり① 訓読のきまり② 訓読のきまり③ 解釈の視点①	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】漢文訓読のきまりを理解しようとしている。・『論語』『孟子』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。			
	漢文 漢文に親しむ	『羅生門』 『今昔物語集』巻第二十九第一八	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】漢文訓読のきまりを理解しようとしている。・『論語』『孟子』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。			
	古文 自然へのまなざし	「徒然草」をりふしの移り変はるこそ	【知】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【知】和歌には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】和歌に興味をもち、歌人やその時代の背景に興味をもち、自分なりの解釈を行うおとしている。 【知】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。			
2	古文 思いを表す言葉 (一)	「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 四季の移ろい 解釈の視点③	【知】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【知】和歌には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】和歌に興味をもち、歌人やその時代の背景に興味をもち、自分なりの解釈を行うおとしている。 【知】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	古文 人との交わり	「伊勢物語」 芥川 解釈の視点④ 言語文化の窓①	【知】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【知】和歌には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】和歌に興味をもち、歌人やその時代の背景に興味をもち、自分なりの解釈を行うおとしている。 【知】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。			
	漢文 現代に生きる言葉	蛇足 完璧	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。			
	古文 語り継がれる歴史	平家物語「木曾の最期」	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】言葉に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。・物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをくちとらえようとしている。 【知】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主】学習の見通しをもって、作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことをおとして、当時のならわしについて知り、旅について書かれた日記の意義について考えようとしている。 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【主】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、広い視野から国際理解に臨む姿勢をもち、我が国の言語文化をあらためて			
3	古文 旅人人生	古人の旅路 「土佐日記」門出	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主】学習の見通しをもって、作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことをおとして、当時のならわしについて知り、旅について書かれた日記の意義について考えようとしている。 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【主】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、広い視野から国際理解に臨む姿勢をもち、我が国の言語文化をあらためて	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	現代 日本と世界	外国語の不思議・日本語の不思議 橋のたもとと老人	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主】学習の見通しをもって、作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことをおとして、当時のならわしについて知り、旅について書かれた日記の意義について考えようとしている。 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思】「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【主】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、広い視野から国際理解に臨む姿勢をもち、我が国の言語文化をあらためて			



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	論理国語	3	標準	2	必修	論理国語(大修館)	論理の国語学習ノート(大修館) ビジュアルカラー国語便覧(大修館)

学習目標	実社会における他者との関わりに必要な語彙を獲得するとともに、その語彙を活用するための知識を身につけ、対話や文章の読解を通じて、自分の意見や主張を確かなことばで相手に伝えることができる力を育てる。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1. 世界・言葉・私	中学の復習・漢字や語彙の学習  世界を広げる「批評」の言葉(宇野常寛)  対話の精神(平田オリザ)	【知・技】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深めている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討している。 ・「読むこと」において、文章の内容を人間、社会、自然などのテーマに結びつけて自分の考えを深めている。 【主】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	2. 芸術と文化	ミロのヴィーナス(清岡卓行)  余白の美学(高階秀爾)				
2	4. 科学の可能性	漢字や語彙の学習  具体的／抽象的に書く  自己をモデル化する知能(石黒浩)  統計資料から分析したことを書く	【知・技】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている 【主】 ・積極的に単元の学習を生かしながら、具体と抽象を意識して、説明文を書くようにしている。 ・学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	5. 日本語の多様性	敬語への自覚、他者への自覚(橋本治)  「方言コスプレ」現象(田中ゆかり)  情報を集めて分類する  言葉の変遷				
3	6. 思考の枠組み	スキーマと記憶(今井むつみ)  デジタル地図から見える世界(松岡慧祐)	【知・技】 ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての確に理解している。 【主】 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	論理国語	3	文理	2	必修	論理国語(大修館)	論理の国語学習ノート(大修館) ビジュアルカラー国語便覧(大修館)

学習目標	実社会における他者との関わりに必要な語彙を獲得するとともに、その語彙を活用するための知識を身につけ、対話や文章の読解を通じて、自分の意見や主張を確かなことばで相手に伝えることができる力を育てる。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1. 世界・言葉・私	中学の復習・漢字や語彙の学習  世界を広げる「批評」の言葉(宇野常寛)  対話の精神(平田オリザ)	【知・技】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深めている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討している。 ・「読むこと」において、文章の内容を人間、社会、自然などのテーマに結びつけて自分の考えを深めている。 【主】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	2. 芸術と文化	ミロのヴィーナス(清岡卓行)  余白の美学(高階秀爾)				
2	4. 科学の可能性	漢字や語彙の学習  具体的／抽象的に書く  自己をモデル化する知能(石黒浩)  統計資料から分析したことを書く  敬語への自覚、他者への自覚(橋本治)	【知・技】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている 【主】 ・積極的に単元の学習を生かしながら、具体と抽象を意識して、説明文を書くようにしている。 ・学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	5. 日本語の多様性	「方言コスプレ」現象(田中ゆかり)  情報を集めて分類する  言葉の変遷				
3	6. 思考の枠組み	スキーマと記憶(今井むつみ)  デジタル地図から見える世界(松岡慧祐)	【知・技】 ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての確に理解している。 【主】 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	論理国語	3	特進	2	必修	論理国語(大修館)	論理の国語学習ノート(大修館) ビジュアルカラー国語便覧(大修館)

学習目標	実社会における他者との関わりに必要な語彙を獲得するとともに、その語彙を活用するための知識を身につけ、対話や文章の読解を通じて、自分の意見や主張を確かなことばで相手に伝えることができる力を育てる。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1. 世界・言葉・私	中学の復習・漢字や語彙の学習  世界を広げる「批評」の言葉(宇野常寛)  対話の精神(平田オリザ)	【知・技】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深めている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討している。 ・「読むこと」において、文章の内容を人間、社会、自然などのテーマに結びつけて自分の考えを深めている。 【主】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	2. 芸術と文化	ミロのヴィーナス(清岡卓行)  余白の美学(高階秀爾)				
2	4. 科学の可能性	漢字や語彙の学習  具体的／抽象的に書く  自己をモデル化する知能(石黒浩)  統計資料から分析したことを書く  敬語への自覚、他者への自覚(橋本治)	【知・技】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている 【主】 ・積極的に単元の学習を生かしながら、具体と抽象を意識して、説明文を書くようにしている。 ・学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	5. 日本語の多様性	「方言コスプレ」現象(田中ゆかり)  情報を集めて分類する  言葉の変遷				
3	6. 思考の枠組み	スキーマと記憶(今井むつみ)  デジタル地図から見える世界(松岡慧祐)	【知・技】 ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての確に理解している。 【主】 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	文学国語	2	全	2	必修	文学国語(大修館)	文学国語学習ノート(大修館) ビジュアルカラー国語便覧(大修館)

学習目標	国語を尊重する姿勢を大切に、確かな語彙力と知識を身につけるとともに、さまざまな作品に触れることを通して想像力や思考力を深め、他者と心を通わせるための豊かな表現力とことばの力を養う。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1. 随想・評論 想像と共感	1年次の復習  飛ぶことを知っている魂(梨木香歩)  十八歳の選択(朝井リョウ)	【知・技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「読むこと」において、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、ほかの作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 【主】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。 ・登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	2. 小説 現代への視点	旅する本(石田衣良)  山椒魚(井伏鱒二)				
2	3. 小説 語りの世界	山月記(中島敦)	【知・技】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、ほかの作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 【主】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。 ・文中で描かれる自然と人間の関係に興味をもち、情景描写をはじめとした表現を読み味わおうとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	5.随想・評論 自然を表す	鹿を追いかけて(小池昌代)				
3	6.小説 記憶の継承	こころ(夏目漱石)	【知・技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主】 ・作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)
	8.随想・評論 視点を広げる	月の誤訳(多和田葉子)				
3	9.詩・短歌・俳句 韻文の世界	永訣の朝(宮沢賢治)	【知・技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主】 ・作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考查	記述の確認(振り返りシート)

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	古典探究	3	標準	2	必修	新編古典探究(東京書籍)	新編古典探究 学習課題ノート(東京書籍) ビジュアルカラー国語便覧(大修館)

学習目標	国語を尊重する姿勢を大切にし、確かな語彙力と知識を身につけるとともに、さまざまな作品に触れることを通して想像力や思考力を深め、他者と心を通わせるための豊かな表現力とことばの力を養う。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価基準	評価方法		
				知	思	主
1	古文 1.説話に親しむ      2.随想を読む	1年次の復習  宇治拾遺物語 「小野篁、広才のこと」   十訓抄 「大江山の歌」  徒然草 「丹波に出雲といふ所あり」	【知・技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連するさまざまな古典の作品や文章などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている 【主】 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解しようとしている。 ・故事成語に興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
2	漢文 1.小話  古文 5.日記   4.和歌の世界  漢文 1.小話	断腸  土佐日記「馬のはなむけ」   小倉百人一首の世界  知音	【知・技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主】 ・古典の文学史的な位置づけを理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。 ・進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の成り立ちとその意義や、漢文の受容について考えようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
3	古文 5.日記を読む   4.中国の知恵	更級日記「門出」「物語」   寓話	【知・技】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 ・作品や作者について関心をもち、女流日記文学への理解を深めようとしている。 ・作品に興味をもち、本文の構成や展開、たとえなどから思想の内容を理解しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	古典探究	3	文理	2	必修	古典探究(大修館)	古典探究学習ノート(大修館) ビジュアルカラー国語便覧(大修館)

学習目標	国語を尊重する姿勢を大切にし、確かな語彙力と知識を身につけるとともに、さまざまな作品に触れることを通して想像力や思考力を深め、他者と心を通わせるための豊かな表現力とことばの力を養う。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	古文 1.説話	1年次の復習  十訓抄「大江山いくのの道」	<b>【知・技】</b> ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 <b>【思・判・表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連するさまざまな古典の作品や文章などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている <b>【主】</b> ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解しようとしている。 ・故事成語に興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	2.随筆  漢文 1.故事・逸話	枕草子「宮に初めて参りたるころ」  知音				
2	古文 3.物語	伊勢物語「初冠」「月やあらぬ」	<b>【知・技】</b> ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている <b>【思・判・表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 <b>【主】</b> ・作品の文学史的な位置づけを理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。 ・「真名序」や漢詩と比較し、「仮名序」における和歌がどのようなものかを理解しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	5.物語  漢文 2.漢詩―近体詩	源氏物語「光源氏の誕生」 「若紫との出会い」  旅情				
3	8.和歌・歌謡・歌論	古今和歌集	<b>【知・技】</b> ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 <b>【思・判・表】</b> ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 <b>【主】</b> ・作品や作者について関心をもち、女流日記文学への理解を深めようとしている。 ・作品に興味をもち、本文の構成や展開、たとえなどから思想の内容を理解しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	古文 6.日記	更級日記「門出」「源氏物語五十余巻」				
	漢文 5.思想	人之性悪(荀子)				

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	古典探究	3	特進	2	必修	古典探究(大修館)	古典探究学習ノート(大修館) ビジュアルカラー国語便覧(大修館)

学習目標	国語を尊重する姿勢を大切にし、確かな語彙力と知識を身につけるとともに、さまざまな作品に触れることを通して想像力や思考力を深め、他者と心を通わせるための豊かな表現力とことばの力を養う。					
学習方法	教科書の本文を用いて、副教材や補助プリントなどを適宜活用しながら読解を進めていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価基準	評価方法		
				知	思	主
1	古文 1.説話	1年次の復習  十訓抄「大江山いくのの道」	<b>【知・技】</b> ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 <b>【思・判・表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連するさまざまな古典の作品や文章などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている <b>【主】</b> ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解しようとしている。 ・故事成語に興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	2.随筆  漢文 1.故事・逸話	枕草子「宮に初めて参りたるころ」  知音				
2	古文 3.物語	伊勢物語「初冠」「月やあらぬ」	<b>【知・技】</b> ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている <b>【思・判・表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 <b>【主】</b> ・作品の文学史的な位置づけを理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。 ・「真名序」や漢詩と比較し、「仮名序」における和歌がどのようなものかを理解しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	5.物語  漢文 1.故事・逸話 2.漢詩一近体詩 8.和歌・歌謡・歌論	源氏物語「光源氏の誕生」 「若紫との出会い」  塞翁が馬 旅情  古今和歌集				
3	古文 6.日記	更級日記「門出」「源氏物語五十余巻」	<b>【知・技】</b> ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 <b>【思・判・表】</b> ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 <b>【主】</b> ・作品や作者について関心をもち、女流日記文学への理解を深めようとしている。 ・作品に興味をもち、本文の構成や展開、たとえなどから思想の内容を理解しようとしている。	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の点検(ノート・小テスト)・発表・考査	記述の確認(振り返りシート)
	漢文 5.思想	人之性悪(荀子)				

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	現代文B	4	標準	3	必	精選現代文B (東書)	精選現代文B学習課題/ ト(東書)

学 習 目 標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深めます。また、考えの異なる人と対話・意見交換をしながら他人を認め、人生を豊かにする態度を育てます。
学 習 方 法	(1) 教科書の本文を読み、基本的な読解力を養います。 (2) 教科書の内容を通して考える力、表現する力を養います。 (3) 学習課題ノートやプリントの設問を考え、本文の読解力を深めます。 (4) 他の意見と自分の意見を比べ、より良い考えを創造する力を養います。
学 習 評 価	定期考査、学習態度、出席状況、提出物、小テストなどによって総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	評論1 「ミロのヴィーナス」	対比構造や具体例に注意しながら、筆者の主張を読み取ります。既存のものに何の疑いもなく暮らす私たちが、視点を変えてみると多様な可能性を生むということをこの作品から読み取ります。	ミロのヴィーナスが持つ魅力とは何なのか、本文該当箇所を線を引ながらまとめる。
5	評論1 「世界をつくり替えるために」	評論に出てくる具体例から、読者に対して伝わりやすい具体例とはどのようなものなのか理解を深めます。また、筆者の主張を身の回りに当てはめその主張の妥当性について批判的に思考する力を養います。	筆者の主張を読み取りながら学ぶこと・学び続けることの意味について、考えをまとめる。
6	小説1 「檸檬」	場面や登場人物の描写を的確に理解するとともに、一見理解不能な行動が主人公のどのような心象を表現しようとしているのか考えることを通して小説における読解力を養います。	本文に描かれた時代背景を学習するとともに、小説のテーマについて意見を交換する。
7	評論2 「相手依存の自己規定」	評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉えます。具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考えます。	評論を読み、筆者の考えを本文に即して読み解く。
9	評論2 「鏡の中の現代社会」	評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉えます。具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考えます。	評論を読み、現代社会とそれ以外の社会についてどのような違いがあるのか本文に即して考える。
10	詩歌「プラタナス―俳句抄」	俳句の表現の特色を理解して味わいます。また、近代俳句への関心を高め、概要を理解します。	さまざまな表現、内容を整理する。自分の感想を文章にまとめる。
11	評論「おじいさんのランプ」	評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉えます。	評論を読み、人間と情報の関係を考える。
11	小説「藤野先生」	時代背景をふまえて登場人物の言動、心情を読み取り、小説の奥深さについて考えます。	主人公の考え方や行動についてどのように考えるか、時代背景などもふまえて話し合い、発表する。
12			
1			
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	現代文B	3	文理(理系)	3	必	精選現代文B (東書)	精選現代文B学習課題ノート (東書)、大学入試漢字 TOP2000(いいずな)
		4	文理(文系)				

学 習 目 標	近代以降のさまざまな文章を論理的に読むことで「ものの見方」「感じ方」「考え方」の力をつけ、深い思考力と教養を育み人生や世の中の深淵と向き合うことで「生きる力」を育てる。
学 習 方 法	教科書の本文に沿ってその内容を読み取り、進んで表現する素養を育み、自己の人生を豊かにする態度を養う。そのための一環として、豊かな語彙を習得するために課題ノートやプリントを用いる。特に評論に関しては、接続詞から「同位関係」「対立関係」の論理展開の基本を習得する。小説に関しては場面や登場人物の描写を的確に捉え、近代を見据えて現代社会を考える。
学 習 評 価	定期考査、学習意欲、授業態度、出席状況、提出物などによる総合評価。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	評論「ミロのヴィーナス」 評論「世界をつくり替えるために」	対比構造や具体例に注意しながら文章を読み取ります。	評論を読み、その要旨を的確に捉える。
5			
6	小説2 「檸檬」	小説を読み、場面や登場人物の描写を的確に理解するとともに、心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、物事を鋭く捉える洞察力を養います。	本文に描かれた時代背景を学習するとともに、作者の思いを奥深く捉える読み方を学習する。
7			
9	評論2 「相手依存の自己規定」	評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を的確に捉えます。 具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考えます。	二項対立の構造を捉え、具体的な例に基づく筆者の主張を理解するなかで各自の認識を深める。
10	評論2 「鏡の中の現代社会」 詩歌「プラタナス―俳句抄」	評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉えます。具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考えます。 俳句の表現の特色を理解して味わいます。また、近代俳句への関心を高め、概要を理解します。	文章を読み解き、題材のテーマや取り上げられている問題について自ら考え、表現する力を養う。 さまざまな表現、内容を整理する。自分の感想を文章にまとめる。
11	評論「おじいさんのランプ」	評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉えます。	評論を読み、人間と情報の関係を考える。
12	小説「藤野先生」	時代背景をふまえて登場人物の言動、心情を読み取り、小説の奥深さについて考えます。	主人公の考え方や行動についてどのように考えるか、時代背景などもふまえて話し合う。
1			
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	現代文B	3	特進(理系)	3	必	精選現代文B (東書)	精選現代文B学習課題ノート(東書)、高校生必修語彙ノート(桐原)、大学入試漢字TOP2000(いいずな)
		4	特進(文系)				

学 習 目 標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を養う。
学 習 方 法	教科書に沿って文章を読み、学習課題ノート、プリントなどの設問を考えることを手がかりにして読解をすすめる。
学 習 評 価	定期考査、学習意欲、授業態度、提出物などによる総合評価。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	評論「ミロのヴィーナス」	対比構造や具体例に注意しながら文章を読みます。  入試に向けて論理的思考を養います。	評論を読み、その要旨を的確に捉える。  難解な語句について知識を深める。登場人物の心理状態を読み取る。
	評論「世界をつくり替えるために」		
	演習		
	小説「檸檬」		
5	演習	入試に向けて論理的思考を養います。	
6	演習	入試に向けて論理的思考を養います。	
7			
9	評論「相手依存の自己規定」	評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を的確に捉えます。具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考えます。 評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を的確に捉えます。 俳句の表現の特色を理解して味わいます。また、近代俳句への関心を高め、概要を理解します。	評論を読み、筆者の考えを本文に即して読み解く。 評論を読み、筆者の考えを本文に即して読み解く。 評論を読み、人間と情報の関係を考える。
	評論「鏡の中の現代社会」		
	詩歌「プラタナス―俳句抄」		
	評論「おじいさんのランプ」		
10	演習	入試に向けて論理的思考を養います。	
11	小説「藤野先生」	時代背景をふまえて登場人物の言動、心情を読み取り、小説の奥深さについて考えます。	主人公の考え方や行動についてどのように考えるか、時代背景などもふまえて話し合う。
12			
1			
2			
3			



教科	科 目 名	単位数	履 修 種 別			使 用 教 科 書	使 用 副 教 材
			コース	学 年	必 / 選		
国語	古典 B	2	標準	3	必	新編古典 B (東書)	新編古典 B 学習課題ノート (東書) 古典文法習得のための用言 活用ノート(数研)
学 習 目 標		古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことで人生を豊かにする態度を身につけることを目指します。					
学 習 方 法		本文をゆっくり、丁寧に読み進めながら、古典文法・語句・古典常識・漢文句法等の基本的事項を確認していきます。 古語辞典を上手に活用しながら、自ら進んで文章を理解するように努めましょう。					
学 習 評 価		定期考査、学習意欲、授業態度、提出物、小テスト等を総合的に評価します。					
学 習 計 画							
月	学習内容(単元)		学習のねらい			学習活動	
4	2 年次の復習		2 年次に学習した古典文法の基礎事項の確認をします。			プリント・ワーク等で文法事項を学習する。	
5	物語を味わう 『源氏物語』『若紫』		長編物語を読んでその構成や展開を把握し、登場人物の言動や心情を読み取りながら、文章を味わいます。 敬語や助動詞の理解を深めます。			登場人物の関係性やそれぞれの感情の動きを的確に読み取り、現代語訳する。また文学史上の位置づけや、多くの作品に与えた影響についても考え	
	漢文句法の復習		返り点や再読文字など、基本的な句法の確認をします。			プリント・ワーク等で、文法事項を学習します。	
6	日記を読む『土佐日記』 「帰京」		日記を読み作者のものの見方感じ方を知るとともに、自宅に帰着した時の作者の様子や心情を読み取ります。			文学史上での日記文学の評価を確認するとともに、助動詞の識別をも復習します。	
7	寓話―「刻舟求剣」		漢文の基本的知識をおさえながら、話の面白さを味わいます。			文法事項を押さえながら、それぞれの故事成語の意味・用法を理解します。	
9	文学史の復習		入試に向けての文学史知識を身につけます。			今まで学習してきた作品等を含め、体系的に学びます。	
	日記を読む『更級日記』 「門出」		作者の境遇を確かめながら、日記に書かれた出来事や作者の心情を的確にとらえます。			歴史背景を踏まえて、作者の思いを的確に読み取ります。	
10	故事成語		話の展開や内容のおもしろさを味わうとともに、漢文の読みの基本を確認します。			漢文訓読の基礎をおさえながら読解すると共に、歴史的な背景を踏まえ、読解する方法を学習します。	
11	歴史物語を読む 『大鏡』		歴史物語を読み、登場人物の行動や心情を読み散ります。			登場人物の行動や発言内容を理解し、人物像を導き出して現代語訳する。	
12	「道長、伊周の競射」		関心を持った事柄について調べ、古典や日本の文化について考えます。				
1	和歌の世界 「小倉百人一首の世界」		関心を持った歌について調べ、古典や日本の文化について考えます。 入試に向けての文学史知識を身につけるとともに、高校で学習した古典の読解力を深めます。			今まで学習してきた事柄を押さえるとともに、むかしの日本人の価値観を考えます。	
2	復習と演習 文学史ノート・プリント						
3							

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	古典B	4	文理(文系)	3	必	新編古典B (東書)	新編古典B学習課題ノート (東書)、基礎からの「ゲンゴ」 アップノート、古典文法演習ドリル (旺文社)

学 習 目 標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てます。
学 習 方 法	本文の精読を心がけ、古典文法・語句・古典常識・漢文句法等を習得しながら、読解を進めましょう。
学 習 評 価	定期考査の結果、古文単語テスト、授業態度・学習意欲、予習の状況、提出物等によって総合的に評価します。

### 学習計画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	2年次の復習 『源氏物語』 「若紫」	2年次に学習した古典文法の基礎事項の確認をします。  古典のことば・意味・用法・敬語・敬意の方向を理解して、登場人物の心情に触れます。また、本作品が古典文学史の最高峰とされる所以を考えながら鑑賞します。	プリント・ワーク等で文法事項を学習します。 場所、出来事、登場人物の心情の変化を読み取るとともに、古文単語や文法事項の確認をします。
5	漢文句法の復習	返り点や再読文字など、基本的な句法の確認をします。	プリント・ワーク等で、文法事項を学習します。
6	日記を読む 『土佐日記』 「帰京」	日記を読み作者のものの見方感じ方を知るとともに、自宅に帰着した時の作者の様子や心情を読み取ります。	文学史上での日記文学の評価を確認するとともに、助動詞の識別をも復習します。
7	寓話―「刻舟求剣」 文学史の復習	漢文の基本的知識をおさえながら、話の面白さを味わいます。  入試に向けての文学史知識を身につけます。	文法事項を押さえながら、それぞれの故事成語の意味・用法を理解します。 今まで学習してきた作品等を含め、体系的に学びます。
9	日記を読む『更級日記』 「門出」「物語」	作者の境遇を確かめながら、日記に書かれた出来事や作者の心情を的確にとらえます。	歴史背景を踏まえて、作者の思いを的確に読み取ります。
10	史記を読む『史記』 「鴻門之会」「四面楚歌」	話の展開や内容のおもしろさを味わうとともに、漢文の読みの基本を確認します。	漢文訓読の基礎をおさえながら読解すると共に、歴史的な背景を踏まえ、読解する方法を学習します。
11	歴史物語を読む 『大鏡』 「道長、伊周の競射」	歴史物語を読み、登場人物の行動や心情を読み散ります。 関心を持った事柄について調べ、古典や日本の文化について考えます。	登場人物の行動や発言内容を理解し、人物像を導き出して現代語訳する。
12	和歌の世界 「小倉百人一首の世界」 復習と演習 文学史ノート・プリント	関心を持った歌について調べ、古典や日本の文化について考えます。 入試に向けての文学史知識を身につけるとともに、高校で学習した古典の読解力を深めます。	今まで学習してきた事柄を押さえるとともに、むかしの日本人の価値観を考えます。
1			
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必／選		
国語	古典B	3	特進(理系)	3	必	新編古典B (東京書籍)	新編古典B 学習課題ノート (東書、重要古文単語315 (桐原)、古典文法基礎1'34 (河合出版)、漢文のヤマ (学研出版)、一問一答日本文学史ノート (桐原)

学 習 目 標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。
学 習 方 法	本文の精読を心がけ、古典文法・語句・古典常識・漢文句法等を習得しながら、読解をすすめます。
学 習 評 価	定期考査の結果、古文単語テスト、授業態度・学習意欲、予習の状況、提出物等による総合評価。

#### 学習計画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	『源氏物語』 「若紫」	古典のことば・意味・用法・敬語・敬意の方向を理解して、登場人物の心情に触れます。また、本作品が古典文学史の最高峰とされる所以を考えながら鑑賞します。	場所、出来事、登場人物の心情の変化を読み取るとともに、古文単語や文法事項の確認をします。
5	唐詩と文 唐詩一九首 演習 文学史ノート	唐詩文に頻出する語彙の読みと意味、句法・詩形・押韻を確認し、それぞれの詩が表現している心情や情景を読み取ります。  入試にむけて文学史の知識を身につけます。	文法事項の確認、作者についての知識を深め、漢詩のリズムとその世界を味わいます。 文学史の知識を深めます。
6	日記を読む『土佐日記』 「馬のはなむけ」「帰京」 寓話一五編 文学史の復習	日記を読み作者のものの見方感じ方を知るとともに、自宅に帰着した時の作者の様子や心情を読み取ります。  漢文の基本的知識をおさえながら、話の面白さを味わいます。  入試に向けての文学史知識を身につけます。	文学史上での日記文学の評価を確認するとともに、助動詞の識別をも復習します。 文法事項を押さえながら、それぞれの故事成語の意味・用法を理解します。 今まで学習してきた作品等を含め、体系的に学びます。
7			
9	日記を読む『更級日記』 「門出」「物語」 史記を読む 『史記』 「四面楚歌」	作者の境遇を確かめながら、日記に書かれた出来事や作者の心情を的確にとらえます。  話の展開や内容のおもしろさを味わうとともに、漢文の読みの基本を確認します。	歴史背景を踏まえて、作者の思いを的確に読み取ります。 漢文訓読の基礎をおさえながら読解すると共に、歴史的な背景を踏まえ、読解する方法を学習します。
10	歴史物語を読む 『大鏡』 「道長、伊周の競射」	歴史物語を読み、登場人物の行動や心情を読み散ります。 関心を持った事柄について調べ、古典や日本の文化について考えます。	今まで学習してきた事柄を押さえるとともに、むかしの日本人の価値観を考えます。
11	和歌の世界 「小倉百人一首の世界」 復習と演習 文学史ノート・プリント	関心を持った歌について調べ、古典や日本の文化について考えます。 入試に向けての文学史知識を身につけるとともに、高校で学習した古典の読解力を深めます。	登場人物の行動や発言内容を理解し、人物像を導き出して現代語訳する。
12			
1			
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	古典B	5	特進(文系)	3	必	精選古典B 古文編・漢文編 (東書)	精選古典B学習課題ノート(東書)、重要 古文単語315(朝原)、古典文法基礎1・ 2(河合出版)、漢文のヤ(学研出 版)、一問一答日本文学史ノート(朝原)

学 習 目 標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てます。
学 習 方 法	本文の精読を心がけ、古典文法・語句・古典常識・漢文句法等を習得しながら、読解をすすめています。
学 習 評 価	定期考査、古文単語テスト、授業態度、学習意欲、予習の状況、出席状況、提出物等の結果によって評価します。

## 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	物語 源氏物語 (一) 「若紫」	古典のことば・意味・用法・敬語・敬意の方向を理解して、登場人物の心情に触れます。また、本作品が古典文学史の最高峰とされる所以を考えながら鑑賞します。	場所、出来事、登場人物の心情の変化を読み取るとともに、古文単語や文法事項の確認をします。
5	小話 「完璧而帰」「漱石枕流」	漢文の読み方を再確認するとともに、話の展開や内容のおもしろさを味わいます。	出来事の経緯を理解し、和歌の内容を読み解き人物の心情をまとめる。
6	日記 『蜻蛉日記』 「夢よりも儚き世の中を」 李白と杜甫 「秋浦歌」「月下独酌」「登岳陽樓」	『源氏物語』を読み、登場人物の行動や心情の推移を読み取ります。  詩を読み、そこにうたわれた情景や心情を読み味わいます。	場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。 文法事項の確認とともに、作者についての理解を深める。詩の形式の違いを理解し、詩の内容を適切に読み取る。
7			
9	評論 『古今和歌集仮名序』「やまと歌は」「六歌仙」  日記 『紫式部日記』「日本紀の御局」	日記を読み、作者の生活の様子や心情を理解し、日記に描かれている世界について想像します。  歌論を読み、その論旨を読み取り、和歌に対する古人のものの見方や感じ方、考え方について理解します。	助動詞の意味・用法について理解する。敬語の種類・敬意の対象を考える。 和歌の内容理解を通して登場人物の心情を考える。
10	史記 韓信伝 「背水陣」	日記を読み、作者の生活の様子や心情を理解し、日記に描かれている世界について想像します。  史記を読み、歴史のおもしろさを味わい、登場人物の生き方や考え方を通して、人間のあり方について考察します。	助動詞・助詞の意味・用法、本文中で用いられる比喩について確認し、この評論の特徴を理解する。 敬語について、意味・用法を理解する。作者の心情や考え方を理解する。 置き字や返り点に注意しながら書き下し、現代語訳する。韓信の戦術について理解する。
11	随筆 『玉勝間』「兼好法師が詞のあげつらひ」 評論 『無名草子』「清少納言」「紫式部」	随筆を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方の違いについて考察します。  さまざまな評論を読み、その論旨を読み取ります。	作者の兼好法師批判の内容と理由を正確に読み取り、自分なりの考えを深める。 登場人物の心情を、表現や発言・行動に即して考える。
12			
1			
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	国語演習	2	標準	3	必		ニューエイジ現代文 基礎1 (第一)、実践国語常識・作文 ステップアップ (数研)、速読トレーニング1000 (数研)

学 習 目 標	今まで学習してきた現代文の知識を確認しつつ、大学入試に対応できる実践力を養成します。
学 習 方 法	(1) 現代文の基本的な知識を身に付けます。 (2) 現代文の語彙力、読解力を養います。 (3) 入試に対応できる実践力を養成します。
学 習 評 価	定期考査、学習意欲、授業態度、予習の状況、提出物などを総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	1 文化「かたちの日本美」 2 小説「永遠の放課後」 3 科学「ひらめきを生む環境」	評論 評論文の構成・展開などを的確に捉え、筆者の主張を理解します。 語彙力を養います。	問題を解くだけでなく、文章を通して語句の意味や語彙力を養う。
5	漢字・熟語の読み書き 誤文訂正 作文	随想 筆者のものの見方・感じ方・考え方をつかみます。	
6	4 社会「おばあちゃんの特等席」 5 自己「『私』とは何者か」 6 小説「追伸」  漢字・熟語の読み書き 敬語 小論文	語句の意味や用法を的確に理解します。	
7		小説 場面の展開や登場人物の性格、心理描写などを的確に読み取ります。 人間のあり方、生き方についての考えを深めます。	
9	7 社会「歴史と人類」 8 自然「朝顔」 9 自己「上から目線」の構造  漢字・熟語の読み書き 漢字・ことわざ 文学史 小論文	適宜ワークを活用しながら、漢字の書き取りや一般常識、小論文を書くための練習をしていきます。	学んだ内容を踏まえ、自分の考えを明らかにし、その主張にもとづき討論を行う。 また、学んだ内容を理解し、本を読んだことのない人に対しての紹介文やポップなどを考え、発表する。
10	10 小説「大富橋」 11 哲学「わたしの哲学入門」 12 教育「大人のいない国」 13 言葉「なつかしい時間」 14 文学「古代から来た未来人 折口信夫」 15 文化「椅子と日本人のからだ」		
11			
12			
1	実践国語演習 漢字・慣用句・故事成語		
2	漢字・時事用語 文学史		
3			



教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	国語演習	2	文理（理系）	3	必		ニューユイジ現代文 必修 2（第一）、実践国語常 識・作文（数研）

学 習 目 標	適切に文章を読み書きできる基礎力を養うとともに、小論文や志望理由書を自分で完成させるための力、社会人として必要な一般常識を身につけます。
学 習 方 法	テキストを用いて、国語に関する一般常識や文章を整理して書くための知識を身につけます。また、適宜プリントを用いて問題演習を行い、文章を読み解く力を養います。
学 習 評 価	学習態度、提出物、定期考査等によって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	1「怖い科学至上主義」 2「ひとを理解すること」 3「ピスタチオ」	評論 評論文の構成・展開などを的確に捉え、筆者の主張を理解します。 語彙力を養います。	問題を解くだけでなく、文章を通して語句の意味や語彙力を養う。
5	漢字・熟語の読み書き 誤文訂正 作文	随想 筆者のものの見方・感じ方・考え方をつかみます。	筆者の主張や考え方を踏まえ、自分の考えをまとめる。
6	4「音楽の聴き方」 5「佐賀のがばいばあちゃん」 6「漢字と国学」	語句の意味や用法を的確に理解します。	
7	漢字・熟語の読み書き 敬語 小論文	小説 場面の展開や登場人物の性格、心理描写などを的確に読み取ります。 人間のあり方、生き方についての考えを深めます。	
9	7「円環型社会」 8「夕暮れの菜の花の真ん中」 9「動画＝アニメ？」	適宜ワークを活用しながら、漢字の書き取りや一般常識、小論文を書くための練習をしていきます。	学んだ内容を踏まえ、自分の考えを明らかにし、その主張にもとづき討論を行う。 また、学んだ内容を理解し、本を読んだことのない人に対しての紹介文やポップなどを考え、発表する。
10	漢字・熟語の読み書き 漢字・ことわざ 文学史 小論文		
11	10「世界は分けてもわからない」 11「利休にたずねよ」 12「『私』中心の視点」 13「欧米流自己と日本的自己」 14「土管のある空き地」 15「政治リアリズム」ほか		
12			
1	実践国語演習 漢字・慣用句・故事成語		
2	漢字・時事用語 文学史		
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
国語	国語演習	2	文理（文系）	3	必		ニューエッジ現代文 必修2（第一）、実践国語常識・作文 ステップアップ（数研）、速読トレーニング1500・2000（数研）

学 習 目 標	日本文学を通じて、現代に繋がる日本人の思想、文化を学びとれるようにします。また、今まで学習してきた現代文の知識を確認しつつ、入試に対応できる実践力を養成します。
学 習 方 法	テキストを用いて作者と作品、その背景を学習していきます。演習形式で問題を解き、解答・解説を行います。
学 習 評 価	学習態度、提出物、定期考査、小テスト等によって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	1「怖い科学至上主義」 2「ひとを理解すること」 3「ピスタチオ」	評論 評論文の構成・展開などを的確に捉え、筆者の主張を理解します。 語彙力を養います。	問題を解くだけでなく、文章を通して語句の意味や語彙力を養う。
5	漢字・熟語の読み書き 誤文訂正 作文	随想 筆者のものの見方・感じ方・考え方をつかみます。	
6	4「音楽の聴き方」 5「佐賀のがばいばあちゃん」 6「漢字と国学」	語句の意味や用法を的確に理解します。	筆者の主張や考え方を踏まえ、自分の考えをまとめる。
7	漢字・熟語の読み書き 敬語 小論文	小説 場面の展開や登場人物の性格、心理描写などを的確に読み取ります。 人間のあり方、生き方についての考えを深めます。	
9	7「円環型社会」 8「夕暮れの菜の花の真ん中」 9「動画＝アニメ？」	適宜ワークを活用しながら、漢字の書き取りや一般常識、小論文を書くための練習をしていきます。	学んだ内容を踏まえ、自分の考えを明らかにし、その主張にもとづき討論を行う。 また、学んだ内容を理解し、本を読んだことのない人に対する紹介文やポップなどを考え、発表する。
10	漢字・熟語の読み書き 漢字・ことわざ 文学史 小論文		
11	10「世界は分けてもわからない」 11「利休にたずねよ」 12「『私』中心の視点」 13「欧米流自己と日本的自己」 14「土管のある空き地」 15「政治リアリズム」ほか		
12			
1	実践国語演習 漢字・慣用句・故事成語		
2	漢字・時事用語 文学史		
3			

# 地 理 歷 史 科

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
地理歴史	地理総合	2	全	1	必修	わたしたちの地理総合(山川出版社)	

学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。					
学習方法	地図を利用し、既存の知識で答えを導き出したり、考察・説明したりする。また現代の世界情勢について、自ら課題を設定して、解決を視野に入れた構想をする。Google Earthを利用して、知識の深化を図る。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切に調べまとめたりしている。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分析、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを多面的・多角的に考察したりする。また、考察、構想したことを説明したり、それを基に議論したりする。		地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについて自覚したりする。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	地図とGISの	どのような場合にどのような地図を活用することが便利かを学ぶ。また、GISの活用によって必要な地理情報を得る。	【知】様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解できる。また、現代世界の様々な地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けることができる。	考査、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業、GISの使用	振り返りシート、調べ学習
	生活文化の多様性と国際理解	国家が成り立つための条件を学ぶ。日本国内と世界との結びつきについて観光・交通・通信・貿易・物流の観点から追究する。  自然環境や産業と生活文化の関連性について学ぶ。	【思】現代世界の地域構成について、主題を設定し、日本国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現できる。地図や地理情報システムについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主】地図やGISの役割や有用性などを理解し、そのために必要な地理学習の基礎的・基本的な技能を身に付けるとともに、地理学習に対する意欲を高めることができる。  【知】人々の生活文化が地理的環境の変化によって変容することなどについて理解できる。世界の人々の特色ある生活文化を学び、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性について理解できる。 【思】世界の人々の生活文化について、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主】世界の人々の生活文化の多様性や変容、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性を理解することで、多様な習慣や価値観などをもっている人々と共存していくことの意義を高めることができる。			
2	生活文化の多様性と国際理解	グローバル化の進展の中、言語や宗教がいかにして生活文化と深い関りがあるかについて学ぶ。また、地域統合という観点からグローバル化による成長と課題について学ぶ。	【知】地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解することができる。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解することができる。 【思】地球的課題について、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主】空間的相互依存作用や地域などの関わる視点に着目して、課題を追究したり解決したりする活動を身に付ける。	考査、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業、GISの使用	振り返りシート、調べ学習
	地球的課題と国際協力	人口・食料・居住・都市・資源・エネルギーなど国際協力なしでは解決しない地球的課題について考える。	【知】地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解することができる。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解することができる。 【思】地球的課題について、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主】空間的相互依存作用や地域などの関わる視点に着目して、課題を追究したり解決したりする活動を身に付ける。			
3	生活圏の諸課題	日本の自然環境について学び、防災についての知識を身に付ける。	【知】地域の自然環境の特色と自然災害への備えと対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解することができる。様々な自然災害に対応した各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けることができる。 【思】地域性の踏まえた防災について、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主】人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、防災に必要なスキルを身に付けようとする。	考査、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業、GISの使用	振り返りシート、調べ学習
		地域調査の結果から持続可能な地域づくりについて学び、地域活性化について考える。	【知】地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解することができる。 【思】生活圏の地理的な課題について、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 【主】空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を探究しようとする。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
地理歴史	歴史総合	2	全	1	必修	わたしたちの歴史 日本から世界へ (山川出版社)	

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
学習方法	資料を読みとく技術を培いながら、既存の知識で答えを導きだしたり、考察・説明したりする。また、現代の諸課題について自ら課題を設定して、解決を視野に入れた構想したりする。ICT機器を利用して、知識の深化をはかる。			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と その中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な 諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するととも に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べ まとめたりする。	近現代の歴史の変化に関わる意味や意義、特色など を、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在との つながりなどに着目して、概念などを活用して、多面的・ 多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解 決を視野に入れて構想したりする。そして、考察、構想 したことを説明したり、それらを基に議論したりする。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよ い社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しよ うとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深 い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が 国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する ことの大切さについて自覚したりする。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

## 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	近代化と私たち	近代化への問い  いまの私たちにつながる課題	【知】近代化に伴う生活や社会の変化について、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 立憲体制と国民国家の形成、裂溝の帝国主義政策とアジア諸国の変容について、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、理解している。 【思】18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、各地域間・欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。国民国家の特徴や社会の変容、帝国主義政策の特徴などについて、比較したり相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察している。 【主】近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組みもうとし、課題を追究しようとしている。  【知】現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。 【思】事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】よりよい社会の実現を視野に自身との関わりを踏まえて学習へのつながりを見いだそうとしている。	考查、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業	振り返りシート、調べ学習
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化への問い  いまの私たちにつながる課題	【知】国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けることができる。 【思】国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について主題を設定し、多面的・多角的に考察し、問いを表現することができる。 【主】国際秩序の変化や大衆化の歴史を学び、世界とそこの中における日本を広く相互的な視野から捉えて考察しようとする。  【知】統合・分化、平等・格差の観点から現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解できる。 【思】日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主】国際秩序の変化や大衆化の歴史を学び、現代的な諸課題につながる歴史的な観点を見い出すことができる。	考查、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業	振り返りシート、調べ学習
3	グローバル化と私たち	グローバル化への問い  いまの私たちにつながる課題	【知】冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けることができる。 【思】グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現することができる。 【主】グローバル化の歴史を学び、世界とそこの中における日本を広く相互的な視野から捉えて考察しようとする。  【知】対立・協調、開発・保全の観点から現代的な諸課題の形成に関わるグローバル化の歴史を理解できる。 【思】日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主】グローバル化の歴史を学び、現代的な諸課題につながる歴史的な観点を見い出すことができる。	考查、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業	振り返りシート、調べ学習

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
地理歴史	地理探究	4	全	2	選択	地理探究(二宮)	新編 フォトグラフィア 地理図説(とうほう)

学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
学習方法	地理的資料や図版資料を利用し、既存の知識で答えを導き出したり、考察・説明したりする。また世界や日本について、自ら課題を設定して、解決を視野に入れた構想をする。また、共有作業を通すことで、他者の意識を確認し、知識の深化を図る。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	知識:地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 技能:地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地史的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1 世界の地形と地形をつくる 2 プレーートの運動が地形におよぼす影響 3 地震と火山 4 造山運動と世界の陸地 5 河川が作りだす地形 6 海岸にみられる地形 7 さまざまな環境で形成される地形 気候と生態系 1 水の循環と利用 2 海洋の循環 3 大気の大循環と気候 4 気候の地域性 5 植生と土壌 世界各地の自然と生活 1 世界の気候区分 2 熱帯の自然と生活 3 乾燥帯の自然と生活 4 温帯の自然と生活 5 寒帯と寒帯の自然と生活 日本の自然環境と防災 1 日本の地形 2 日本の気候 3 日本の自然災害と防災	地形に関わる諸事象の規則性、傾向性や、人間による利用などについて理解する。地形の分布や成因などに注目して、「平野の地形」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。  気候と生態系に関わる諸事象の規則性、傾向性や、気候の地域性などについて理解する。大気大循環のしくみや影響などに注目して、「気候の地域性」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。  世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性、傾向性や、気候区分の方法などについて理解する。気候の特徴と人々の暮らしとの関係性に注目して、「各気候帯での人々の暮らし」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。  日本の自然環境に関わる諸事象の規則性、傾向性や、自然災害などについて理解する。日本の自然環境と自然災害の関係などに注目して、「自然災害と防災」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	【知】地形に関わる諸事象の規則性、傾向性や、人間による利用などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて、様々な情報を適切に読み取り、まとめることができる。 【思】地形の分布や成因などに注目して、「平野の地形」などの主題を基に、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主】よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	地形図の読み取りや、ハイサーグラフを作成するワークシート  教科書の内容を確認する考查の問題	地域の望ましい防災のあり方を判断し、適切に表現するワークシート  教科書の内容をもとに自らの考えをまとめる考查の問題	本単元で学んだことを実生活に適用できるかを見取る考查問題  これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかを見取るワークシート
	地球環境問題 1 環境問題に関する大観 2 越境する汚染 3 地球温暖化の現状・対策 第2章 資源と産業 農林水産業 1 農業の諸条件 2 社会の発展と農業の変化 3 グローバル化・技術革新と農業 4 林業・水産業 5 食料問題 資源・エネルギー 1 社会の発展と資源の利用 2 世界の鉱産資源 3 世界のエネルギー資源 4 電力の利用と変化 工業 1 社会の発展と世界の工業化 2 工業の立地 3 工業地域の形成と変化 4 自動車工業の特徴と日本の海外生産 5 国際分業の進展と多国籍企業 6 工業生産のグローバル化に伴う諸課題 第3次産業 1 サービス経済化と社会の変化	地球環境問題に関わる諸事象の規則性、傾向性や、持続可能な地球環境の開発のあり方などについて理解する。気候や環境の変化などに注目して、「気候変動の影響」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。  農林水産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。農林水産業の条件や変化などに注目して、「食料問題」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。  資源・エネルギーに関わる諸事象の規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。資源産地の分布や消費地との結びつきなどに注目して、「エネルギー資源の課題」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。  工業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。工業立地や変化などに注目して、「工業生産のグローバル化」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。  第3次産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、サービス経済化の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。産業構造の変化に注目して、「サービス経済化」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	【知】地球環境問題に関わる諸事象の規則性、傾向性や、持続可能な開発のあり方などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。 【思】気候や環境の変化などに注目して、「気候変動の影響」などの主題を基に、多面的・多角的に考察し、表現することができる。  【知】農林水産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。 【思】農林水産業の条件や変化などに注目して、「食料問題」などの主題を基に、多面的・多角的に考察し、表現することができる。  【知】資源・エネルギーに関わる諸事象の規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。  【知】工業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。 【思】工業立地や変化などに注目して、「工業生産のグローバル化」などの主題を基に、多面的・多角的に考察し、表現することができる。  【知】第3次産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、サービス経済化の現状や要因、問題の解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。 【思】産業構造の変化に注目して、「サービス経済化」などの主題を基に、多面的・多角的に考察し、表現することができる。	産業に関わる統計の読み取りや主題図を作成するワークシート  教科書の内容を確認する考查問題	産業の発展に伴う問題の望ましい解決策を判断し、適切に図示するワークシート  教科書の内容をもとに自らの考えをまとめる考查問題	本単元で学んだことを実生活に適用できるかを見取る定期考查問題  これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかを見取るワークシート
3	第3章 人・モノ・金のつながり 交通・通信 1 世界を結ぶ交通 2 世界を結ぶ通信  貿易・観光 1 世界を結ぶ貿易 2 世界と日本の貿易とその課題 3 世界を結ぶ資金の流れ 4 世界を結ぶ観光とその課題	交通・通信に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。交通・通信手段の発達や利用に関わる課題などに着目して、「交通と通信の課題」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。  運輸、観光に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、貿易・観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。貿易の構造や人・物・資金の流れなどに着目して、「経済連携」や「観光の多様化」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	【知】交通・通信に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。 【思】交通・通信手段の発達や利用に関わる課題などに着目して、「交通と通信の課題」などの主題を基に、多面的・多角的に考察し、表現することができる。  【知】運輸、観光に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、貿易・観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。 【思】貿易の構造や人・物・資金の流れなどに着目して、「経済連携」や「観光の多様化」などの主題を基に、多面的・多角的に考察し、表現することができる。	貿易に関わる統計の読み取りや主題図を作成するワークシート・教科書の内容を確認する考查問題	貿易の進展に伴う問題の望ましい解決策を判断し、適切に図示するワークシート  教科書の内容をもとに自らの考えをまとめる考查問題	本単元で学んだことを実生活に適用できるかを見取る定期考查問題  これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかを見取るワークシート

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
地理歴史	日本史探究	4	全	2	選択	詳説 日本史(山川出版社)	日本史用語集(山川出版社) 日本史のアーカイブ(とうほう)

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す					
学習方法	歴史的資料や図版資料を利用し、既存の知識で答えを導き出したり、考察・説明したりする。また日本の歴史について、自ら課題を設定して、解決を視野に入れた構想をする。また、共有作業を通してことで、他者の意識を確認し、知識の深化を図る。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。		我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。		我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 日本文化のあけぼの	人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。	【知】日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。本編制作の開始・金銅器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。中国の歴史書の記事をもとに、資料から歴史に関わる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思】考古資料をもとに、旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。	考查、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業	振り返りシート、調べ学習
	第2章 古墳とヤマト政権	ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。	【知】中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 【思】中国の歴史書、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。			
	第3章 律令国家の形成	律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。律令にもとづく国内統治体制について理解する。律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況が多面的・多面的にとらえて考察する。 平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経量や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変容を考察する。	【知】東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。東アジアとの関係の変化や社会の変化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策の変容を理解している。 【思】律令体制整備の過程について考察し、表現している。文献資料をもとに、土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて考察し、根拠を示して表現している。			
			全【主】それぞれの時代において考えられる課題を主体的に追究しようとしている。			
2	第4章 貴族政治の展開	藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをとらえる。	【知】藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、摂関政治を理解している。 【思】奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。	考查、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業	振り返りシート、調べ学習
	第5章 院政と武士の躍進	律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらし経過を考察する。地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に連座せず改革を進めた背景を考察する。政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。中世の特色についての仮説を表現して展望する。	【知】地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態について、その特色や変容を理解している。諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 【思】文献資料を活用して、地方支配の状況と考察し、根拠を示して表現している。古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。			
	第6章 武家政権の成立	鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。承久の乱にもとづく公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意味を考察する。	【知】諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 【思】武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。			
			全【主】それぞれの時代において考えられる課題を主体的に追究しようとしている。			
3	第7章 武士社会の成長	南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。庶民の成長が、幕府の動揺や下層上の振興を考察する。戦国大名について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。	【知】諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 【思】南北朝の動乱などにみられる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。	考查、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業	振り返りシート、調べ学習
	第8章 近世の幕開け	ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	【知】諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 【思】ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。			
	第9章 幕藩体制の成立と展開	幕藩体制の確立過程を理解する。鎖国政策について、貿易関係の在り方を含めてその影響と歴史的意義について考察する。幕藩体制の確立期の経済・社会を、多面的・多角的に考察する。安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。農商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。	【知】幕藩体制との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して理解している。諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 【思】幕藩体制と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府の貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体性について、根拠を示して表現している。安定期の意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。交通や流通の発達と、農工商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。			
			全【主】それぞれの時代において考えられる課題を主体的に追究しようとしている。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
地理歴史	世界史探究	4	全	2	選択	詳説 世界史(山川出版社)	世界史用語集(山川出版社) ニューステージ世界史詳覧(浜島書店)

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。			
学習方法	歴史的資料や図版資料を利用し、既存の知識で答えを導き出したり、考察・説明したりする。また世界の歴史について、自ら課題を設定して、解決を視野に入れた構想をする。また、共有作業を通すことで、他者の意識を確認し、知識の深化を図る。			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な観察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

## 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価基準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 文明の成立と古代文明の特質	おもな古代文明の立地について考察し、文明が生れるために必要だった条件を理解する。オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。  南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。  東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生産などに与えた影響を考察し表現する。  北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。さまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。	【知】都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思】文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、考察して、問いを表現している。  【知】南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。 【思】ヴァルナ制の成立をもとに、アーリヤ人社会に富や地位の差が生れていった背景や原因を考察し表現している。 【知】東アジア各地の風土が、多様な生産と先史文化を生み出したことや人の移動や交流があったことを理解している。 【思】考古学的資料などをとくに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。	考查、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業	振り返りシート、調べ学習
	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	中央ユーラシアの騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。  新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」との社会と文化を比較し表現する。	【知】中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、周辺の勢力との関係を理解している。 【思】風土を示す写真や資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。  【知】秦・漢・魏晉南北朝の動乱の展開について、遊牧民族との関わりもふまえて理解している。隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。 【思】考古学的資料などをとくに、地域間の結びつき、統一国家の出現が与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。			
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。  東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	【知】南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 【思】資料をもとに、インド洋交易の広がりや多面的・多角的に考察し表現している。仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。  【知】東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。 【思】東南アジアの風土や地形をふまえ、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。  全【主】自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
2	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	アケメネス朝が中央集権的支配を築くことができた背景や要因を理解している。パルティアとササン朝の繁栄を理解する。 ロスの特質について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。ギリシア文明がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。  ローマ共和政の特質について、ギリシア民主政と比較し多面的・多角的に考察し表現する。キリスト教の成立、ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	【知】イラン諸国家がそれぞれの土地のよみに興じたのかを理解している。アテネにおいてどのように民主政が出現したのかを理解している。ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいったのかを理解している。キリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 【思】資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。考古学的資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。図像資料や資料をもとに、ローマが地中海世界を統一・維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。	考查、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業	振り返りシート、調べ学習
	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	アラブ・ムスリムによる大征服の展開を理解する。イスラーム教の多文化化が与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。ビザンチウム帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。	【知】イスラーム教がどのように成立し、勢力を拡大していったのかを理解している。西欧・東欧がそれぞれのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 【思】地図や図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。資料をもとに、ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。			
	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	イスラーム化が中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカにもたらした変化について理解している。トルコの進出が西アジアにもたらした変化について考察し表現している。イビリア半島におけるイスラーム勢力の興について理解している。	【知】各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒の進歩が維持されたことを理解している。 【思】資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。トルコの進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。			
3	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	中世の西ヨーロッパにおいてローマ・カトリック教会が権威を持つにいたった背景を理解する。十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。ビザンチウム帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。各国における、身分制議会の上院と王権の仲介の関係を理解する。百年戦争によるイギリスとフランスの変容を多面的・多角的に考察し表現する。スペインで国王による中央集権化が早く進んだのはなぜか理解する。神聖ローマ帝国で中央集権化が進まなかった要因を多面的・多角的に考察し表現する。	【知】発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。ビザンチウム帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人およびイスラーム人の動向について理解している。封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程において中央集権国家に面した西ヨーロッパ各国の動きを理解している。 【思】図像資料や地図などをもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。ビザンチウム帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。  全【主】自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	10世紀前半に東アジアで政権の交替が相次いだ背景や、そこで成立した諸国の対外関係を理解する。宋の対外関係の特徴、社会や経済の発展を多面的・多角的に考察し表現する。モンゴル帝国による支配がおよぼした影響について理解する。	【知】10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、その支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 【思】図像資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引き起こした変化を多面的・多角的に考察し表現している。地図や図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立と世界史における意義を多面的・多角的に考察し表現している。	考查、振り返りシート、小テスト	グループ発表、個人発表、クロームブックでの共有作業	振り返りシート、調べ学習
	第9章 大交易・大交流の時代	東西交流の新たな動きを多面的・多角的に考察し表現する。モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。明朝の国内統治の特徴、朝貢関係、商業の発展を多面的・多角的に考察し表現する。ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出した動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。	【知】「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 【思】図像資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。地図や資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。			
	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。サファヴィー朝の支配が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。ムガル帝国の繁栄が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。	【知】オスマン帝国とサファヴィー朝の支配と統治を理解している。非イスラーム教徒に対する施策の変化を理解している。清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思】オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。図像資料や地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。図像資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。  全【主】自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			



教科	科 目 名	単位数	履 修 種 別			使 用 教 科 書	使 用 副 教 材
			コース	学 年	必 / 選		
地歴	世界史 B	4	標準	3	選	詳説 世界史 (山川)	ニューステージ 世界史詳覧 (浜島) 世界史用語集(山川) ツインズマスター(山川)
学 習 目 標		世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解し、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養うことを目標とします。					
学 習 方 法		教科書を利用して各国・各年代に区切らず、広範囲に及ぶ範囲を立体的に捉えられる力を養うように取り組み、知識の暗記にならないように自分なりの歴史観を形成しましょう。近現代史について学習し各国々の関係が緊密化していく状況を政治・経済・社会・文化の面からとらえ、近現代の歴史を総合的に学習しましょう。					
学 習 評 価		定期考査、学習態度、出席状況、提出物によって評価します。					

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	宋周辺の諸民族の動きについて、またモンゴル人のユーラシア支配について理解を深めます。	講義を聴いて、アジア世界の変容を学びます。プリントを活用し各国歴史年表を作成し理解を深めます。
	第7章 アジア諸地域の繁栄	14世以降のアジアの諸帝国（明・清、ティムール朝とサファヴィー朝、ムガル帝国）について理解を深めます	講義を聴いて、アジア世界の変容を学びます。プリントを用いて各国歴史年表を作成し、理解を深めます。
	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の形成について理解を深めます。	講義を聴いて、ヨーロッパ世界における成立や背景及び政策が与えた影響を学びます。
5	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	各国の重商主義政策、イギリスの市民革命、英仏の植民地競争の内容について理解を深めます。	
6	第10章 近世ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	産業革命、アメリカ独立革命とフランス革命の内容と、それらが与えた近代社会への影響について理解を深めます。	講義を聴いて、各革命が及ぼした影響を学びます。
7			
9	第11章 欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制と自由主義、イタリアとドイツの統一、南北戦争など、19世頃欧米について理解を深めます。	講義を聴いて、欧米社会の進展がもたらす諸地域への影響を学びます。
10	第12章 アジア諸地域の動揺	オスマン帝国の衰退と改革、ムガル帝国の衰亡とイギリスのインド支配、清朝末期について理解を深めます。	講義を聴いて、欧米社会の進展がもたらす諸地域への影響を学びます。
	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	列強国による植民地化政策とアジア諸国の民族運動をふまえ、帝国主義の概要を理解します。	講義を聴いて、欧州国家の干渉による19世紀のアジア諸国の動向を学習します。
11			
12	第14章 二つの世界大戦	二つの世界大戦について、各国の様子と国際情勢、戦後の動きについて理解します。	講義を聴いて、帝国主義における社会変化を学びます。
1	第15章 冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦後の冷戦構造、第三世界の動きについて理解します。	講義を聴いて、世界大戦が巻き起こす影響を学びます。
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
地歴	世界史B	4	文理(文系)	3	選	詳説 世界史 (山川)	ニューステージ 世界史詳覧 (浜島) 世界史用語集(山川) 総合マスター(浜島)
学習目標		世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養うことを目標とします。					
学習方法		教科書を利用して各国・各年代に区切らず、広範囲に及ぶ範囲を立体的に捉えられる力を養うように取り組み、知識の暗記にならないように自分なりの歴史観を形成しましょう。近現代史について学習し各国々の関係が緊密化していく状況を政治・経済・社会・文化の面からとらえ、近現代の歴史を総合的に学習しましょう。					
学習評価		定期考査、学習態度、出席状況、提出物によって評価します。					

### 学習計画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第7章 アジア諸地域の繁栄	14世以降のアジアの諸帝国（明・清、ティムール朝とサファヴィー朝、ムガル帝国）について理解を深めます。	講義を聴いて、ヨーロッパ世界における成立や背景及び政策が与えた影響を学びます
5	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の形成について理解を深めます。	
6	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	各国の重商主義政策、イギリスの市民革命、英仏の植民地競争の内容について理解を深めます。	
7			
9	第10章 近世ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	産業革命、アメリカ独立革命とフランス革命の内容と、それらが与えた近代社会への影響について理解を深めます。	講義を聴いて、各革命が及ぼした影響を学びます。
10	第11章 欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制と自由主義、イタリアとドイツの統一、南北戦争など、19世頃欧米について理解を深めます。	講義を聴いて、欧米社会の進展がもたらす諸地域への影響を学びます。
11	第12章 アジア諸地域の動揺	オスマン帝国の衰退と改革、ムガル帝国の衰亡とイギリスのインド支配、清朝末期について理解を深めます。	講義を聴いて、欧米社会の進展がもたらす諸地域への影響を学びます。
12	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	列強国による植民地化政策とアジア諸国の民族運動をふまえ、帝国主義の概要を理解します。	講義を聴いて、欧州国家の干渉による19世紀のアジア諸国の動向を学習します。
1	第14章 二つの世界大戦	二つの世界大戦について、各国の様子と国際情勢、戦後の動きについて理解します。	講義を聴いて、帝国主義における社会変化を学びます。
2	第15章 冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦後の冷戦構造、第三世界の動きについて理解します。	講義を聴いて、世界大戦が巻き起こす影響を学びます。
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
地歴	世界史B	5	特進(文系)	3	選	詳説 世界史 (山川)	ニューステージ 世界史詳覧 (浜島) 世界史用語集(山川) 総合マスター(浜島)

学 習 目 標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養うことを目標とします。
学 習 方 法	教科書を利用して各国・各年代に区切らず、広範囲に及ぶ範囲を立体的に捉えられる力を養うように取り組み、知識の暗記にならないように自分なりの歴史観を形成しましょう。近現代史について学習し各国々の関係が緊密化していく状況を政治・経済・社会・文化の面からとらえ、近現代の歴史を総合的に学習しましょう。
学 習 評 価	定期考査、学習態度、出席状況、提出物によって評価します。

#### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動	
4	第7章 アジア諸地域の繁栄	14世以降のアジアの諸帝国（明・清、ティムール朝とサファヴィー朝、ムガル帝国）について理解を深めます。 大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の形成について理解を深めます。  各国の重商主義政策、イギリスの市民革命、英仏の植民地競争の内容について理解を深めます。	講義を聴き、教科書の基礎的な内容をおさえま す。 基本的な知識の習得をふ まえて各国・各地域・各 民族の通史を確認しま しょう。 さらに入試に向け、過去 問や問題集を活用しま す。	
5	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成			
6	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開			
7	第10章 近世ヨーロッパ・アメリカ世界の成立			
9	第11章 欧米における近代国民国家の発展	産業革命、アメリカ独立革命とフランス革命の 内容と、それらが与えた近代社会への影響につ いて理解を深めます。		
10	第12章 アジア諸地域の動揺	ウィーン体制と自由主義、イタリアとドイツの 統一、南北戦争など、19世頃欧米について理解 を深めます。		
	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	オスマン帝国の衰退と改革、ムガル帝国の衰亡 とイギリスのインド支配、清朝末期について理 解を深めます。		
11	第14章 二つの世界大戦	列強国による植民地化政策とアジア諸国の民族 運動をふまえ、帝国主義の概要を理解します。		
12		二つの世界大戦について、各国の様子と国際情 勢、戦後の動きについて理解します。		
1				
2				
3				

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
地歴	日本史B	4	標準 文理(文系)	3	選	詳説日本史 (山川)	日本史のアーカイブ (とうほう) 日本史用語集(山川) 日本史4ステージ演習ノート (山川)

学 習 目 標	わが国の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付け、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことを目標とします。
学 習 方 法	知識の暗記に終わらず、自分なりの歴史観を持つことができる力を養えるように取り組みましょう。まずは、教科書の内容にそって、基本的な知識を学びます。そこから現代に通じる課題を考えましょう。主体的に取り組むことで、歴史を深く追究していきます。
学 習 評 価	定期考査、学習態度、出席状況、提出物によって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	幕藩体制の展開 幕政の安定 経済の発展	当時の社会情勢から、幕府が武断政治から文治政治へと舵を切った過程を学びます。また、交通網の発達により諸産業が発展し、近世の都市や農山漁村における生活や文化に影響を与えたことを理解します。	講義を聴いて、江戸時代の様子を学びます。浮世絵によって風景や風俗が描かれた時代なので、絵画資料を多く活用します。
5	幕藩体制の動揺 幕政の改革 列強の接近	幕藩体制の変容と近代化について、社会的背景と結びつけながら理解します。時代が大きくなり、ともに変化する様子を感じることをめざします。	講義を聴いて、江戸幕府が滅亡し、明治の世の中になることを学びます。地図を活用したり、世界史と関連させることで理解を深めます。
6	幕府の衰退と近代化への道 開国と幕末の動乱		
7			
9	近代国家の成立 明治維新と諸政策	明治維新以降の近代化の推進の過程を学びます。これまでの歴史の過程で、諸政策の内容を理解することによって、新しい時代に入ったことを実感します。	
10	自由民権運動の展開 立憲国家の成立	国民の目線からみた政治という観点で、押し付けたかたちで近代化がはかられていたことを学びます。また、日本のアジアにおける位置づけを学ぶことで、外国との戦争が行われる時代に入ったことを学びます。	講義を聴いて、明治政府の政策が与えた影響を学びます。また、複雑な国際情勢を理解しなければならぬため、地図を使った調べ学習をすることで、背景を理解するようにします。
11	日清・日露戦争と国際関係 近代産業の発達 第一次世界大戦とワシントン体制		
12			
1	近代日本とアジア 恐慌の時代 軍部の台頭	第二次世界大戦へと突入する背景を、経済的・社会的背景を理解しながら学びます。そして、もし自分だったらという考え方を養うことで、歴史を考察します。	講義を聴いて、昭和前期と戦後について学びます。特に、視聴覚教材の使用を多くすることで、時代のうねりを感じられるような学びをします。
2	第二次世界大戦		
3	占領の改革 冷戦の開始		

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
地歴	日本史B	5	特進(文系)	3	選	詳説 日本史 (山川)	日本史のアーカイブ (とうほう) 日本史用語集(山川) 日本史4ステージ演習ノート (山川)

学 習 目 標	わが国の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付け、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことを目標とします。
学 習 方 法	知識の暗記に終わらず、自分なりの歴史観を持つことができる力を養えるように取り組みましょう。まずは、教科書の内容にそって、基本的な知識を学びます。そこから現代に通じる課題を考えましょう。主体的に取り組むことで、歴史を深く追究していきます。
学 習 評 価	定期考査、学習態度、出席状況、提出物によって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	幕藩体制の確立と展開 幕藩体制の成立・構造、経済の発展	近世国家の形成過程を学び、中世社会との比較を行います。幕藩体制について理解をすすめたうえで、諸外国との関係を明らかにし、明治維新までの歴史の流れを俯瞰します。	講義を聴いて、明治政府の政策が与えた影響を学びます。近世までには出てこなかったキーワードが多く出てくるため、調べ学習を中心とした活動を行います。
5	幕藩体制の動揺 幕政の改革 列強の接近 幕府の衰退と近代化への道 開国と幕末の動乱	幕藩体制の変容と近代化について、社会的背景と結びつけながら理解します。時代が大きくなりともに変化する様子を感じることをめざします。	
6	近代国家の成立 明治維新と諸政策、立憲国家の成立 日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦とワシントン体制	明治維新以降の近代化の推進の過程を学びます。これまでの歴史の過程で、諸政策の内容を理解することによって、新しい時代に入ったことを実感します。	講義を聴いて、明治の政治と外交の経過を学びます。複雑な国際情勢を理解しなければならないため、地図を使った調べ学習をすることで、背景を理解するようにします。
7			
9	近代日本とアジア 恐慌の時代	国民の目線からみた政治という観点で、押し付けたかたちで近代化がはかられていたことを学びます。また、日本のアジアにおける位置づけを学ぶことで、外国との戦争が行われる時代に入ったことを学びます。	講義を聴いて、昭和前期と戦後について学びます。特に、視聴覚教材の使用を多くすることで、時代のうねりを感じられるような学びをします。
10	軍部の台頭		
11	第二次世界大戦 占領と改革 冷戦の開始と高度経済成長	第二次世界大戦へと突入する背景を、経済的・社会的背景を理解しながら学びます。そして、もし自分だったらという考え方を養うことで、歴史を考察します。 2つの世界大戦を通して、平和で民主的な国際社会を実現することが重要な課題であることに気付くことをめざし、戦後の国家発展を理解します。	
12			
1			
2			
3			

# 公 民 科

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
公民	公共	2	標準	2	必修	公共(実況出版社)	

学習目標	考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。			
学習方法	資料や図版を利用し、既存の知識で答えを導き出したり、考察・説明したりする。また日本の社会について、自ら課題を設定して、解決を視野に入れた構想をする。また、共有作業を通すことで、他者の意識を確認し、知識の深化を図る。			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 社会を作る私たち 1. 生涯における青年期の意義 2. 自己形成の課題 3. 職業生活と社会参加 第2章 人間としてよく生きる 1. 古代ギリシアの人間観 2. 科学と人間 3. 自由の実現 4. 社会を作る人間 第3章 他者とともに生きる 1. 人間と幸福 2. 公正な社会をめざして 第4章 民主社会の倫理 1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務 第5章 民主国家における基本原理 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原理 3. 民主政治のしくみと課題 第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法 2. 自由に生きる権利 3. 平等に生きる権利 4. 社会権と参政権・請求権	<p>・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。</p> <p>・自分自身が、自主的にによりよい公共的な空間を作り出していくとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。</p> <p>・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。</p> <p>・人間としての在り方・生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>・各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働的利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。</p> <p>・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解させる。</p> <p>・公共的な空間における基本原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>【知】</p> <p>・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。</p> <p>・自分自身が、自主的にによりよい公共的な空間を作り出していくとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。</p> <p>・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。</p> <p>・人間としての在り方・生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>・各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。</p> <p>・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解している。</p> <p>【思】</p> <p>・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方・生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・公共的な空間における基本原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本原理について理解しようとしている。</p>	小テスト、考査など	考査、レポート、ノートなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など
	第2章 日本の政治機構と政治参加 1. 政治機構と国会 2. 行政権と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治・選挙制度 第1章 現代の経済社会 1. 経済主体と経済活動の意義 2. 経済社会の変容 3. 市場 4. 現代の企業 5. 国民所得 6. 経済成長と国民の福祉 7. 金融の役割 8. 日本銀行の役割 9. 財政の役割と租税・課題 第2章 日本経済の特質と国民生活 1. 戦後日本経済の成長と課題 2. 転機に立つ日本経済 3. 経済社会の変化と中小企業 4. 農業と食料問題 5. 消費者問題 6. 公害の防止と環境保全 7. 労働問題と労働者の権利 8. 社会保障の役割 9. 社会保障制度の課題	<p>・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。</p> <p>・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することを通して築かれるものであることについて理解させる。</p> <p>・雇用、労働問題、財政、租税、少子高齢社会における社会保障の充実、市場経済、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上の役割を政府などが担っていること及びより活発な活動を個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</p> <p>・契約、消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動を個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</p> <p>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p>	<p>【知】</p> <p>・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。</p> <p>・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することを通して築かれるものであることについて理解している。</p> <p>・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【思】</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>【主】</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。</p>	小テスト、考査など	考査、レポート、ノートなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など
2	第1章 国際政治の動向と課題 1. 国際社会と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. 二国間の国際政治 4. 人種・民族問題 5. 軍拡競争から軍縮へ 第2章 国際政治の動向と課題 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 地域的経済統合の進展 5. 国際経済のつながりと課題 6. 発展途上国の諸課題と日本の役割	<p>・国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規俾し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土や領空や領海を含むもので、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際社会における我が国の役割について理解させる。</p> <p>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。</p> <p>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。</p> <p>・具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p>	<p>【知】</p> <p>・国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規俾し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土や領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。</p> <p>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。</p> <p>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思】</p> <p>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主】</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	小テスト、考査など	定期考査、レポート、ノートなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など
	第1章 国際政治の動向と課題 1. 国際社会と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. 二国間の国際政治 4. 人種・民族問題 5. 軍拡競争から軍縮へ 第2章 国際政治の動向と課題 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 地域的経済統合の進展 5. 国際経済のつながりと課題 6. 発展途上国の諸課題と日本の役割	<p>・国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規俾し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土や領空や領海を含むもので、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際社会における我が国の役割について理解させる。</p> <p>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。</p> <p>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。</p> <p>・具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p>	<p>【知】</p> <p>・国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規俾し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土や領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。</p> <p>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。</p> <p>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思】</p> <p>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主】</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	小テスト、考査など	定期考査、レポート、ノートなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
公民	公共	2	文理・特進	2	必修	公共(教育図書)	

学習目標	学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身につけることを目指す。社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて、合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うことにとくに重点を置く。これを達成するために、さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定している。主体的、対話的な授業を通し、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。					
学習方法	資料や図版を利用し、既存の知識で答えを導き出したり、考察・説明したりする。また日本の社会について、自ら課題を設定して、解決を視野に入れた構想をする。また、共有作業を通すことで、他者の意識を確認し、知識の深化を図る。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。		自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 公共と人 1 人は一人では生きられない 2 人はどのようにつながるのか 第1章「公共と倫理」 1 功利主義と義務論 2 水俣病を考える 3 地球温暖化問題 4 誰が医療を支えるのか 第1章 公共の基本原理 1 生徒会予算をどう分配するか 2 意見が分かれたときにどう決めるか 3 民主政治の歴史 4 日本国憲法の三つの原理 5-1 大学入試と男女差別 5-2 なぜ女性医師が日本では少ないのか 6 表現の自由とヘイトスピーチ  第2章 現代社会の諸課題 法 1 法と社会 2-1 多様な契約 2-2 消費者の権利と責任のいづれかを選択。 3-1 日本の司法制度 3-2 国民の司法参加	公共的な空間と人間の関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性などに着目して、社会に参画する自立した主体とは何かを問う。人間は個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに対話を通して互いの立場を理解し高め合う存在であることを理解する。  自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して他者と協働して主題を追究したり、議論を行う学習を通して、合意形成や社会参画への理解を深める。	【知】 ・自分自身が公共的空間の主体となり、自分のキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解する。 ・選択・判断の手がかりとして功利主義、義務論などの考え方について理解する。 ・個人の尊重、民主主義、法の支配、自由と責任など公共的空間における基本原理について理解する。 ・法、政治、経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識、技能を身につける。 【思】 ・地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現すること。 ・法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。 【主】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方・生き方について自覚を深めている。	小テスト、考査など	考査、レポート、ノートなど	活動の様子を観察、レポート、口頭発表など
	第2章 現代社会の諸課題 政治 1-1 選挙と政治参加 1-2 公正な世論の形成 2-1 国会と内閣 2-2 地方自治 3 国家主権と領土 4-1 安全保障と防衛 4-2 21世紀の世界情勢 5 国際社会と日本  第2章 現代社会の諸課題 経済 1 職業選択 2-1 雇用と労働  2-2 労働者の権利	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して他者と協働して主題を追究したり、議論を行う学習を通して、合意形成や社会参画への理解を深める。	【知】 法、政治、経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識、技能を身につける。 【思】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して他者と協働して主題を追究したり、議論を行う学習を通して、合意形成や社会参画への理解を深める。 【主】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。	小テスト、考査など	考査、レポート、ノートなど	活動の様子を観察、レポート、口頭発表など
3	3-1 財政の役割 3-2 租税の仕組みと国債 4 少子化と社会保障 5 市場経済の役割と限界 6-1 金融のはたらき 6-2 日本銀行と金融政策 7-1 グローバル化と経済統合 7-2 格差是正と多文化主義 だわるべきか？  災害時の情報発信と受信	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して他者と協働して主題を追究したり、議論を行う学習を通して、合意形成や社会参画への理解を深める。	【知】 法、政治、経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識、技能を身につける。 【思】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して他者と協働して主題を追究したり、議論を行う学習を通して、合意形成や社会参画への理解を深める。 【主】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。	小テスト、考査など	考査、レポート、ノートなど	活動の様子を観察、レポート、口頭発表など



教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
公民	政治経済	2	文理(文系)	3	必	政治・経済 (東書)	

学 習 目 標	(1) 民主主義についての理解を深め、現代の政治、経済、国際情勢について考察する力を身につけます。 (2) 現代の社会における課題に対する多様な考えや意見を学び、自分の考えをもつことのできる力を身につけます。
学 習 方 法	知識の暗記に終わらず、自ら考える姿勢をめざして、積極的に学習しましょう。 (1) 教科書の内容にそって、基本的な知識を学びます。 (2) 教科書の内容や現代社会の問題について、さまざまな観点から探求します。 (3) 自ら考えることを実践します。
学 習 評 価	定期考査、学習態度、出席状況、提出物等によって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第2章 1節 現代の資本主義経済 1. 資本主義体制の成立 2. 資本主義経済の発展と変容	近現代史をふまえ、資本主義経済の成立とその内容についての知識をおさえます。さらに資本主義経済の問題を背景にして、さまざまな経済体制についての理解を深めます。	まずは講義を聴いて、基本的な知識の習得を行います。それらの知識をもとに、自らの考察を行います(内容によってレポート作成、テーマ学習、調べ学習、グループワークを行います)。
5			
6	2節 現代経済のしくみ 1. 経済主体と経済の循環 2. 生産のしくみと企業 3. 市場経済の機能と限界 4. 国民所得と経済成長 5. 金融のしくみと機能 6. 財政のしくみと機能	現代の経済に関する基本的な知識をおさえながら、実社会での生活に必要なスキルの習得をめざします。	
7			
9	3節 日本経済の発展と産業構造の変化 1. 経済再建から高度成長へ 2. オイル・ショック後の日本経済 3. 日本経済の現状	戦後の日本経済史に関する知識を学びます。そして現代の日本経済についての問題意識を持ち、自らの視点を築くことをめざします。	
10			
11	4節 福祉社会と日本経済の問題 1. 公害と環境保全 2. 消費者問題 3. 農業・食糧問題 4. 中小企業の現状と課題	現代の日本におけるさまざまな問題についての考察を行います。	
12			
1	5. 雇用と労働問題 6. 社会保障と福祉		
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
公民	政治経済	2	特進(理系)	3	必	政治・経済 (東書)	
		3	特進(文系)				

学 習 目 標	(1) 民主主義についての理解を深め、現代の政治、経済、国際情勢について考察する力を身につけます。 (2) 現代の社会における課題に対する多様な考えや意見を学び、自分の考えをもつことのできる力を身につけます。
学 習 方 法	知識の暗記に終わらず、自ら考える姿勢をめざして、積極的に学習しましょう。 (1) 教科書の内容にそって、基本的な知識を学びます。 (2) 教科書の内容や現代社会の問題について、さまざまな観点から探求します。 (3) 自ら考えることを実践します。
学 習 評 価	定期考査、学習態度、出席状況、提出物等によって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第2章 第1節 現代の資本主義経済 1. 資本主義体制の成立 2. 資本主義経済の発展と変容	資本主義経済の基本的な知識(成立過程・変容・社会主義経済との比較)や課題に対する興味・関心を高め、資本主義経済の本質を探究する力を身に付けます。	講義を聴いて、資本主義経済のキーワードについて学習します。また、テーマ学習、調べ学習、グループワーク、小論文対策を行います。
5			
6	第2節 現代経済のしくみ 1. 経済主体と経済の循環 2. 生産のしくみと企業 3. 市場経済の機能と限界 4. 国民所得と経済成長	現代経済のしくみについて基本的な事項(企業や市場の機能など)を学ぶとともに、今日における経済の課題について理解を深めます。	講義を聴いて、現代の経済のしくみの基本的事項を学習します。また、テーマ学習、調べ学習、グループワーク、小論文対策を行います。
7			
9	5. 金融のしくみと機能 6. 財政のしくみと機能 第3節 日本経済の発展と産業構造の変化 1. 経済再建から高度成長へ 2. オイル・ショック後の日本経済 3. 日本経済の現状	日本経済の戦後からの歩みを学ぶとともに、歴史的背景や他国との関係など幅広い視野を養っていきます。日本経済の現状を理解し、社会へ進出する自覚を養います。	講義を聴いて、日本の政治機構に関する内容を学習します。また、テーマ学習、調べ学習、グループワーク、小論文対策を行います。
10			
11			
12			
1			
2			
3			

# 数 学 科

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学Ⅰ	4	標準	1	必修	新編 数学Ⅰ(数研)	3TRIAL 数学Ⅰ(数研)

学習目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかりと取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を見に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 数と式 第1節 式の計算	1 多項式の加法と減法 2 多項式の乗法 3 因数分解	<b>【知】</b> 2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 <b>【思】</b> 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 <b>【主】</b> 数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
	第2節 実数	4 実数 5 根号を含む計算	<b>【知】</b> 数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 <b>【思】</b> 数を拡張してきた過程を考察することができる。数の四則計算の可能性について考察することができる。 <b>【主】</b> 数を実数まで拡張する意義を認識し数学を活用しようとしている。			
	第3節 1次不等式	6 不等式の性質 7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・	<b>【知】</b> 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 <b>【思】</b> 1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 <b>【主】</b> 不等式の性質、解の意味について考察しようとする。絶対値記号を含むやや複雑な方程式や不等式を解くことに取り組む意欲がある。			
	第2章 集合と命題	1 集合 2 命題と条件 3 命題とその逆・対偶・裏 4 命題と証明	<b>【知】</b> 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 <b>【思】</b> 集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 <b>【主】</b> 集合と命題に関する概念を事象の考察に活用しようとしている。			
2	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化	1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ 3 2次関数の最大・最小 4 2次関数の決定	<b>【知】</b> 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 <b>【思】</b> 2次関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 <b>【主】</b> 放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 <b>【知】</b> 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 <b>【思】</b> 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察することができる。2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 <b>【主】</b> 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。2次関数の決定に条件に興味・関心をもち、考察しようとしている。 <b>【知】</b> 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 <b>【思】</b> 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を判別式の符号から考察することができる。 <b>【主】</b> 2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的にに利用しようとしている。2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探究しようとしている。身近な問題を2次不等式で解決しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
	第3節 2次方程式と2次不等式	5 2次方程式 6 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7 2次不等式	<b>【知】</b> 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比を求める方法を理解している。 <b>【思】</b> 具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 <b>【主】</b> 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとしている。三角比の相互関係を調べようとしている。題を2次不等式で解決しようとしている。			
	第4章 図形と計量 第1節 三角比	1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張	<b>【知】</b> 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 <b>【思】</b> 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 <b>【主】</b> 図形の意味を考察し、定理を導こうとしている。日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート
	第2節 三角形への応用	4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角形の面積 8 空間図形への応用	<b>【知】</b> 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方理解している。 <b>【思】</b> データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めることができる。 <b>【主】</b> データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 <b>【主】</b> 事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。			
3	第5章 データの分析	1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 2つの変量の間の関係 6 仮説検定の考え方	<b>【知】</b> 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方理解している。 <b>【思】</b> データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めることができる。 <b>【主】</b> データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 <b>【主】</b> 事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学Ⅰ	4	文理	1	必修	NEXT 数学Ⅰ(数研)	CONNECT 数学Ⅰ(数研)

学習目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかりと取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を見に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 数と式 第1節 式の計算	1 多項式の加法と減法 2 多項式の乗法 3 因数分解	<b>【知】</b> 2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 <b>【思】</b> 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 <b>【主】</b> 数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしている。	単元確認考查 期末考查 小テスト	単元確認考查 期末考查	提出物 振り返りシート
	第2節 実数	4 実数 5 根号を含む計算	<b>【知】</b> 数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 <b>【思】</b> 数を拡張してきた過程を考察することができる。数の四則計算の可能性について考察することができる。 <b>【主】</b> 数を実数まで拡張する意義を認識し数学を活用しようとしている。			
	第3節 1次不等式	6 不等式の性質 7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・	<b>【知】</b> 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 <b>【思】</b> 1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 <b>【主】</b> 不等式の性質、解の意味について考察しようとする。絶対値記号を含むやや複雑な方程式や不等式を解くことに取り組む意欲がある。			
	第2章 集合と命題	1 集合 2 命題と条件 3 命題とその逆・対偶・裏 4 命題と証明	<b>【知】</b> 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 <b>【思】</b> 集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 <b>【主】</b> 集合と命題に関する概念を事象の考察に活用しようとしている。			
2	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ	<b>【知】</b> 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 <b>【思】</b> 2次関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 <b>【主】</b> 放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。	単元確認考查 期末考查 小テスト	単元確認考查 期末考查	提出物 振り返りシート
	第2節 2次関数の値の変化	3 2次関数の最大・最小 4 2次関数の決定	<b>【知】</b> 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 <b>【思】</b> 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察することができる。2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 <b>【主】</b> 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。2次関数の決定に条件に興味・関心をもち、考察しようとしている。			
	第3節 2次方程式と2次不等式	5 2次方程式 6 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7 2次不等式	<b>【知】</b> 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 <b>【思】</b> 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を判別式の符号から考察することができる。 <b>【主】</b> 2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的にに利用しようとしている。2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探究しようとしている。身近な問題を2次不等式で解決しようとしている。			
	第4章 図形と計量 第1節 三角比	1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張	<b>【知】</b> 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比を求める方法を理解している。 <b>【思】</b> 具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 <b>【主】</b> 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとしている。三角比の相互関係を調べようとしている。題を2次不等式で解決しようとしている。			
3	第2節 三角形への応用	4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角形の面積 8 空間図形への応用	<b>【知】</b> 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 <b>【思】</b> 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 <b>【主】</b> 図形の意味を考察し、定理を導こうとしている。日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。	期末考查 小テスト	期末考查	提出物 振り返りシート
	第5章 データの分析	1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 2つの変量の間の関係 6 仮説検定の考え方	<b>【知】</b> 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方理解している。 データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めることができる。 <b>【思】</b> データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 <b>【主】</b> 事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。			



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学Ⅱ	3	標準	2	必修	新編 数学Ⅱ (数研出版)	3TRIAL 数学Ⅱ (数研出版)

学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を 培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかりと取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価 (A+、A、B、C、C-の5段階) にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定 (1～5の5段階) にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 式と証明 第1節 式と計算  2節 等式・不等式の証明  2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分数式とその計算 5 恒等式 6 等式の証明 7 不等式の証明  1 複素数とその計算 2 2次方程式の解 3 解と係数の関係	<b>【知】</b> 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 <b>【思】</b> 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け、多面的に考察することができる。実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 <b>【主】</b> 事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第2節 高次方程式  第3章 図形と方程式 第1節 点と直線  第2節 円  第3節 軌跡と領域	4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式  1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係  5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円  8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域	<b>【知】</b> 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 <b>【思】</b> 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <b>【主】</b> 事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第4章 三角関数 第1節 三角関数  第2節 加法定理	1 角の拡張 2 三角関数 3 三角関数のグラフ 4 三角関数の性質 5 三角関数の応用  6 加法定理 7 加法定理の応用	<b>【知】</b> 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 <b>【思】</b> 三角関数に関する様々な性質について考察することができる。三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <b>【主】</b> 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学Ⅱ	5	文理理系	2	必修	数学Ⅱ(数研出版)	4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)

学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 式と証明 第1節 式と計算  第2節 等式と不等式の証明 第2章 複素数と方程式  第3章 図形と方程式 第1節 点と直線  第2節 円  第3節 軌跡と領域	1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分式とその計算 5 恒等式 6 等式の証明 7 不等式の証明 1 複素数 2 2次方程式の解と判別式 3 解と係数の関係 4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式 第3章 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域	<p>【知】三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。多項式の除法や分式式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解している。因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。</p> <p>【思】式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。</p> <p>【知】座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。</p> <p>【思】座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主】事象をいろいろな式・図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p>	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
	第4章 三角関数 第1節 三角関数  第2節 加法定理  第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	1 一般角と弧度法 2 三角関数 3 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の応用 6 加法定理 7 加法定理の応用 8 三角関数の合成  1 指数の拡張 2 指数関数 3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	<p>【知】角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。</p> <p>【思】三角関数に関する様々な性質について考察することができる。三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【知】指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。</p> <p>【思】指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主】事象を三角関数・指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p>	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査 小テスト	提出物 振り返りシート
3	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用  第3節 積分法	1 微分係数 2 導関数  3 接線 4 関数の値の変化 5 最大値・最小値 6 関数のグラフと方程式・不等式  7 不定積分 8 定積分 9 面積	<p>【知】微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。</p> <p>【思】関数とその導関数との関係について考察することができる。関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。</p> <p>【主】事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p>	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学Ⅱ	4	文理文系	2	必修	NEXT数学Ⅱ(数研出版)	CONNECT 数学Ⅱ(数研出版)

学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 式と証明 第1節 式と計算  第2節 等式・不等式の証明  第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分数式とその計算 5 恒等式 6 等式の証明 7 不等式の証明  1 複素数とその計算 2 2次方程式の解 3 解と係数の関係  4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式	<b>【知】</b> 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 <b>【思】</b> 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 <b>【主】</b> 事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線  第2節 円  第3節 軌跡と領域  第4章 三角関数 第1節 三角関数  第2節 加法定理	1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域  1 角の拡張 2 三角関数 3 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の応用 6 加法定理 7 加法定理の応用	<b>【知】</b> 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 <b>【思】</b> 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面に表すなどとして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <b>【知】</b> 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 <b>【思】</b> 三角関数に関する様々な性質について考察することができる。三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <b>【主】</b> 事象を三角関数・図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	1 指数の拡張 2 指数関数 3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	<b>【知】</b> 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 <b>【思】</b> 指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <b>【主】</b> 事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学Ⅱ	5	特進理系	2	必修	数学Ⅱ(数研出版)	4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)

学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようとしてたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしてたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 式と証明 第2節 等式と不等式の証明 第2章 複素数と方程式	6 等式の証明 7 不等式の証明  1 複素数 2 2次方程式の解と判別式 3 解と係数の関係 4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式	<b>【知】</b> 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 <b>【思】</b> 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係				
	第2節 円	5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円				
	第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数	8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域 1 一般角と弧度法 2 三角関数 3 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の応用				
2	第2節 加法定理	6 加法定理 7 加法定理の応用 8 三角関数の合成	<b>【知】</b> 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成を理解している。 <b>【思】</b> 三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <b>【知】</b> 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 <b>【思】</b> 指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	1 指数の拡張 2 指数関数  3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数				
	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用	1 微分係数 2 導関数  3 接線 4 関数の値の変化 5 最大値・最小値 6 関数のグラフと方程式・不等式 7 不定積分 8 定積分 9 面積				
	第3節 積分法					
3	第1章 関数	1 分数関数 2 無理関数	<b>【知】</b> 簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができる。数列の極限について理解し、数列 $\{r^n\}$ の極限などを基に簡単な数列の極限を求めることができる。無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めることができる。関数の値の極限について理解している。 <b>【思】</b> 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察することができる。数列や関数の値の極限に着目し、事象を数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <b>【主】</b> 事象を極限の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしてたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしてたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	期末考査 小テスト	期末考査 小テスト	提出物 振り返りシート
	第2章 極限 第1節 数列の極限	1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数				
	第2節 関数の極限	4 関数の極限 5 三角関数と極限 6 関数の連続性				

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学Ⅱ	4	特進Ⅰ類文系	2	必修	数学Ⅱ(数研出版)	4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)

学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 式と証明 第2節 等式と不等式の証明 第2章 複素数と方程式  第3章 図形と方程式 第1節 点と直線  第2節 円  第3節 軌跡と領域	6 等式の証明 7 不等式の証明  1 複素数 2 2次方程式の解と判別式 3 解と係数の関係 4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域	<b>【知】</b> 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。二次方程式の解の種類の判別及び係数の関係について理解している。因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 <b>【思】</b> 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。  <b>【知】</b> 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 <b>【思】</b> 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。  <b>【主】</b> 事象をいろいろな式・図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第4章 三角関数 第1節 三角関数  第2節 加法定理  第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	1 一般角と弧度法 2 三角関数 3 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の応用 6 加法定理 7 加法定理の応用 8 三角関数の合成  1 指数の拡張 2 指数関数  3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	<b>【知】</b> 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 <b>【思】</b> 三角関数に関する様々な性質について考察することができる。三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。  <b>【知】</b> 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 <b>【思】</b> 指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。  <b>【主】</b> 事象を三角関数・指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用  第3節 積分法	1 微分係数 2 導関数  3 接線 4 関数の値の変化 5 最大値・最小値 6 関数のグラフと方程式・不等式 7 不定積分 8 定積分 9 面積	<b>【知】</b> 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 <b>【思】</b> 関数とその導関数との関係について考察することができる。関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 <b>【主】</b> 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学Ⅱ	4	特進Ⅱ類文系	2	必修	NEXT数学Ⅱ(数研出版)	CONNECT 数学Ⅱ(数研出版)

学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 式と証明 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式  第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円  第3節 軌跡と領域	6 等式の証明 7 不等式の証明  1 複素数とその計算 2 2次方程式の解 3 解と係数の関係  4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式  1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域	<b>【知】</b> 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 <b>【思】</b> 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。  <b>【知】</b> 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 <b>【思】</b> 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。  <b>【主】</b> 事象をいろいろな式・図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第4章 三角関数 第1節 三角関数  第2節 加法定理  第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	1 角の拡張 2 三角関数 3 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の応用 6 加法定理 7 加法定理の応用  1 指数の拡張 2 指数関数  3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	<b>【知】</b> 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 <b>【思】</b> 三角関数に関する様々な性質について考察することができる。三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。  <b>【知】</b> 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 <b>【思】</b> 指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。  <b>【主】</b> 事象を三角関数・指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第6章 微分法と積分法 第1節 微分法と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	1 微分係数 2 導関数とその計算 3 接線の方程式  4 関数の増減と極大・極小 5 関数の増減・グラフの応用 6 不定積分 7 定積分 8 定積分と面積	<b>【知】</b> 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 <b>【思】</b> 関数とその導関数との関係について考察することができる。関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 <b>【主】</b> 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学A	2	標準	1	必修	新編 数学A(数研)	3TRIAL 数学A(数研)

学習目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学と人間の活動の関係について認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	1 集合の要素の個数 2 場合の数 3 順列 4 組合せ	【知】集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求められる。 【思】事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 【主】事象を場合の数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第2節 確率	5 事象と確率 6 確率の基本性質 7 独立な試行と確率 8 条件付き確率 9 期待値	【知】確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。条件付きの確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思】確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用することができる。 【主】事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第2章 図形の性質 第1節 平面図形  第2節 空間図形 第3章 数学と人間活動	1 三角形の辺の比 2 三角形の外心・内心・重心 3 チェバの定理・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円 7 作図 8 直線と平面 9 空間図形と多面体 1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 3 最大公約数・最小公倍数 4 整数の割り算 5 ユークリッドの互除法 6 1次不定方程式 7 記数法 8 座標の考え方 9 ゲーム・パズルの中の数学	【知】三角形に関する基本的な性質について理解している。円に関する基本的な性質について理解している。 【思】図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明することができる。 【主】事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 【知】空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思】空間における直線や平面の位置関係を、与えられた条件から考察することができる。 【主】空間における図形の位置関係について、積極的に考えてみようとしている。 【知】数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解している。 【思】数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 【主】人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学A	2	文理	1	必修	NEXT 数学A(数研)	CONNECT 数学A(数研)

学習目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学と人間の活動の関係について認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	1 集合の要素の個数 2 場合の数 3 順列 4 組合せ	【知】集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求められる。 【思】事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 【主】事象を場合の数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第2節 確率	5 事象と確率 6 確率の基本的性質 7 独立な試行と確率 8 条件付き確率 9 期待値	【知】確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。条件付きの確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思】確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用することができる。 【主】事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第2章 図形の性質 第1節 平面図形  第2節 空間図形 第3章 数学と人間活動	1 三角形の辺の比 2 三角形の外心・内心・重心 3 チェバの定理・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円 7 作図 8 直線と平面 9 空間図形と多面体 1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 3 最大公約数・最小公倍数 4 整数の割り算 5 ユークリッドの互除法 6 1次不定方程式 7 記数法 8 座標の考え方 9 ゲーム・パズルの中の数学	【知】三角形に関する基本的な性質について理解している。円に関する基本的な性質について理解している。 【思】図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明することができる。 【主】事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 【知】空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思】空間における直線や平面の位置関係を、与えられた条件から考察することができる。 【主】空間における図形の位置関係について、積極的に考えてみようとしている。 【知】数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解している。 【思】数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 【主】人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学A	3	特進Ⅰ類	1	必修	数学A(数研)	4STEP 数学A(数研)

学習目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学と人間の活動の関係について認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	1 集合の要素の個数 2 場合の数 3 順列 4 組合せ	<b>【知】</b> 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求められる。 <b>【思】</b> 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 <b>【主】</b> 事象を場合の数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第2節 確率	5 事象と確率 6 確率の基本的性質 7 独立な試行と確率 8 条件付き確率 9 期待値	<b>【知】</b> 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。条件付きの確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 <b>【思】</b> 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用することができる。 <b>【主】</b> 事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第2章 図形の性質 第1節 平面図形  第2節 空間図形 第3章 数学と人間活動	1 三角形の辺の比 2 三角形の外心・内心・重心 3 チェバの定理・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円 7 作図 8 直線と平面 9 空間図形と多面体 1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 3 最大公約数・最小公倍数 4 整数の割り算 5 ユークリッドの互除法 6 1次不定方程式 7 記数法 8 座標の考え方 9 ゲーム・パズルの中の数学	<b>【知】</b> 三角形に関する基本的な性質について理解している。円に関する基本的な性質について理解している。 <b>【思】</b> 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明することができる。 <b>【主】</b> 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 <b>【知】</b> 空間図形に関する基本的な性質について理解している。 <b>【思】</b> 空間における直線や平面の位置関係を、与えられた条件から考察することができる。 <b>【主】</b> 空間における図形の位置関係について、積極的に考えてみようとしている。 <b>【知】</b> 数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解している。 <b>【思】</b> 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 <b>【主】</b> 人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学A	2	特進Ⅱ類	1	必修	数学A(数研)	4STEP 数学A(数研)

学習目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学と人間の活動の関係について認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	1 集合の要素の個数 2 場合の数 3 順列 4 組合せ	<b>【知】</b> 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求められる。 <b>【思】</b> 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 <b>【主】</b> 事象を場合の数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第2節 確率	5 事象と確率 6 確率の基本的性質 7 独立な試行と確率 8 条件付き確率 9 期待値	<b>【知】</b> 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。条件付きの確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 <b>【思】</b> 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用することができる。 <b>【主】</b> 事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第2章 図形の性質 第1節 平面図形  第2節 空間図形 第3章 数学と人間活動	1 三角形の辺の比 2 三角形の外心・内心・重心 3 チェバの定理・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円 7 作図 8 直線と平面 9 空間図形と多面体 1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 3 最大公約数・最小公倍数 4 整数の割り算 5 ユークリッドの互除法 6 1次不定方程式 7 記数法 8 座標の考え方 9 ゲーム・パズルの中の数学	<b>【知】</b> 三角形に関する基本的な性質について理解している。円に関する基本的な性質について理解している。 <b>【思】</b> 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明することができる。 <b>【主】</b> 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 <b>【知】</b> 空間図形に関する基本的な性質について理解している。 <b>【思】</b> 空間における直線や平面の位置関係を、与えられた条件から考察することができる。 <b>【主】</b> 空間における図形の位置関係について、積極的に考えてみようとしている。 <b>【知】</b> 数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解している。 <b>【思】</b> 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 <b>【主】</b> 人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学B	2	文理理系 特進Ⅱ理系	2	必修	数学B(数研出版)	4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)

学習目標	数列,統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り,数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察する力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 数列 第1節 数列とその和	1 数列 2 等差数列とその和 3 等比数列とその和 4 和の記号Σ 5 階差数列 6 いろいろな数列の和	<b>【知】</b> 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 <b>【思】</b> 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。 <b>【主】</b> 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	7 漸化式と数列 8 数学的帰納法  1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値と分散 3 確率変数の変換 4 確率変数の和と期待値 5 独立な確率変数と期待値・分散 6 二項分布 7 正規分布	<b>【知】</b> 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり,簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。数学的帰納法について理解している。 <b>【思】</b> 自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 <b>【主】</b> 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。  <b>【知】</b> 確率変数と確率分布について理解している。二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 <b>【思】</b> 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 <b>【主】</b> 事象を統計的な推測のk考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用ようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第2節 統計的な推測	8 母集団と標本 9 標本平均とその分布 10 推定 11 仮説検定	<b>【知】</b> 標本調査の考え方について理解している。正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 <b>【思】</b> 目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測することができる。標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 <b>【主】</b> 事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用ようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学B	3	特進Ⅰ類	2	必修	数学B(数研出版)	4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)

学習目標	数列,統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り,数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習方法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図る。 [1]教科書の内容に沿って、基本的な力を身に付ける。 [2]教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していく。 [3]小テストや副教材などにより、自らの知識を確認する。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察する力を身に付けている。		数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 数列 第1節 数列とその和	1 数列 2 等差数列とその和 3 等比数列とその和 4 和の記号Σ 5 階差数列 6 いろいろな数列の和	<b>【知】</b> 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 <b>【思】</b> 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。 <b>【主】</b> 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
2	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	7 漸化式と数列 8 数学的帰納法  1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値と分散 3 確率変数の変換 4 確率変数の和と期待値 5 独立な確率変数と期待値・分散 6 二項分布 7 正規分布	<b>【知】</b> 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり,簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。数学的帰納法について理解している。 <b>【思】</b> 自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 <b>【主】</b> 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。  <b>【知】</b> 確率変数と確率分布について理解している。二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 <b>【思】</b> 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 <b>【主】</b> 事象を統計的な推測のk考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用ようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	単元確認考査 期末考査 小テスト	単元確認考査 期末考査	提出物 振り返りシート
3	第2節 統計的な推測	8 母集団と標本 9 標本平均とその分布 10 推定 11 仮説検定	<b>【知】</b> 標本調査の考え方について理解している。正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 <b>【思】</b> 目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測することができる。標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 <b>【主】</b> 事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用ようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	期末考査 小テスト	期末考査	提出物 振り返りシート

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学Ⅱ	3	標準	3	必	新編 数学Ⅱ (数研)	3TRIAL 数学Ⅱ (数研)

学 習 目 標	<p>数学Ⅰで学んだ内容を復習・発展させ、数学学習の基盤が確立できるようにします。</p> <p>〔1〕教科書の例題等を用いて基本的事項を確認し、教科書内の問題や副教材等により解法を身に付けていきます。</p> <p>〔2〕基本的な概念や原理・法則の理解を深め、基礎的な知識の習得と基本的な技能の習熟を図ります。</p>
学 習 方 法	<p>公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図りましょう。</p> <p>〔1〕教科書の内容に沿って、基本的な力を身につけていきましょう。</p> <p>〔2〕教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していきましょう。</p> <p>〔3〕小テストや課題などにより、自らの知識を確認しましょう。</p>
学 習 評 価	定期考査、課題や宿題などの提出物、学習に取り組む意欲・態度などを総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	指数関数について理解し、それらの事象の考察に活用できるようにします。	0および負の指数の意味と計算法、累乗根の意味を理解し、簡単な計算ができるようにします。指数を整数から有理数へ拡張し、さらには実数までの拡張の道筋を理解します。
5			
6			
7			
9	第5章 指数関数と対数関数  第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	対数関数について理解し、それらの事象の考察に活用できるようにします。  微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにしていきます。	対数関数を定義し、指数関数との関連を理解します。対数を含む方程式、不等式を解き、対数についての理解を深めていきます。  微分法、積分法について学習します。
10			
11			
12			
1			
2	問題演習		
3			

教科	科 目 名	単位数	履 修 種 別			使 用 教 科 書	使 用 副 教 材
			コース	学 年	必 / 選		
数学	数学Ⅲ	6	文理(理系)	3	必	数学Ⅲ (数研)	クリアー 数学Ⅲ (数研)

学 習 目 標	<p>これまで学んだ数学の知識を発展させ、技能の習熟を目標とします。</p> <p>[1] 数列や関数の極限、微積分法についての理解を深め、知識と技能の習熟を図ります。</p> <p>[2] 事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てます。</p>
学 習 方 法	<p>公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図りましょう。</p> <p>[1] 教科書の内容に沿って、基本的な力を身につけていきましょう。</p> <p>[2] 教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していきましょう。</p> <p>[3] 小テストや副教材などにより、自らの知識を確認しましょう。</p>
学 習 評 価	定期考査、課題や宿題などの提出物、学習に取り組む意欲・態度などを総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	微分法、積分法の基礎として極限の概念を理解し、それに関数値の極限の考察に活用できるようにします。	数列の極限、無限等比級数、無限級数について学習します。
5	第5章 微分法	いろいろな関数についての微分法を理解します。	微分係数と導関数、導関数の計算、いろいろな関数の導関数などについて学習します。
6	第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 速度と近似値	微分法を用いて、関数の値の増減やグラフの凹凸などを考察し、微分法の有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できるようにします。	接線と法線、関数の最大最小、速度と加速度、近似値などについて学習します。
7			
9	第7章 積分法 第1節 不定積分 第2節 定積分	いろいろな関数についての積分法を理解し、活用できるようになるとともに、定積分と和の極限の関係を理解します。	不定積分、定積分について、発展的な内容を学習します。
10	第8章 積分法の応用 問題演習	積分法の有用性を認識するとともに、図形の求積などに活用できるようにします。	面積、体積、曲線の長さ、速度と道のりについて学習します。
11			
12			
1	問題演習		
2			
3			

教科	科 目 名	単位数	履 修 種 別			使 用 教 科 書	使 用 副 教 材
			コース	学 年	必 / 選		
数学	数学Ⅲ	6	特進(理系)	3	必	数学Ⅲ (数研)	クリアー 数学Ⅲ (数研)

学 習 目 標	これまで学んだ数学の知識を発展させ、技能の習熟を目標とします。 〔1〕 数列や関数の極限、微積分法についての理解を深め、知識と技能の習熟を図ります。 〔2〕 事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てます。
学 習 方 法	公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図りましょう。 〔1〕 教科書の内容に沿って、基本的な力を身につけていきましょう。 〔2〕 教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していきましょう。 〔3〕 小テストや副教材などにより、自らの知識を確認しましょう。
学 習 評 価	定期考査、課題や宿題などの提出物、学習に取り組む意欲・態度などを総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第5章 微分法	いろいろな関数についての微分法を理解します。	微分係数と導関数、導関数の計算、いろいろな関数の導関数などについて学習します。
5			
6			
7	第6章 微分法の実用 第1節 導関数の応用 第2節 速度と近似値	微分法を用いて、関数の値の増減やグラフの凹凸などを考察し、微分法の有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できるようにします。	接線と法線、関数の最大最小、速度と加速度、近似値などについて学習します。
9	第7章 積分法 第1節 不定積分 第2節 定積分	いろいろな関数についての積分法を理解し、活用できるようになるとともに、定積分と和の極限の関係を理解します。	不定積分、定積分について、発展的な内容を学習します。
10	第8章 積分法の実用 問題演習	積分法の有用性を認識するとともに、図形の求積などに活用できるようにします。	面積、体積、曲線の長さ、速度と道のりについて学習します。
11			
12			
1			
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学演習	3	文理(理系)	3	必	数学Ⅲ (数研)	クリアー 数学Ⅲ (数研)

学 習 目 標	<p>今まで学んだ内容を復習・発展させ、数学学習の基盤が確立できるようにします。</p> <p>〔1〕教科書の例題等を用いて基本的事項を確認し、教科書内の問題や副教材等により解法を身に付けていきます。</p> <p>〔2〕基本的な概念や原理・法則の理解を深め、基礎的な知識の習得と基本的な技能の習熟を図ります。</p>
学 習 方 法	<p>公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図りましょう。</p> <p>〔1〕教科書の内容に沿って、基本的な力を身につけていきましょう。</p> <p>〔2〕教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していきましょう。</p> <p>〔3〕小テストや副教材などにより、自らの知識を確認しましょう。</p>
学 習 評 価	定期考査、課題や宿題などの提出物、学習に取り組む意欲・態度などを総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第1章 複素数平面	複素数平面上で図形を考え、方程式を満たす図形を求めたりします。	複素数と図形を学習します。
5	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	2次曲線の基本的な性質および曲線がいろいろな式で表現できることを理解し、具体的な事象の考察に活用できるようにします。	いろいろな2次曲線について学習し、平行移動したり、媒介変数で表したりできるようにします。
6	第3章 関数	分数関数、無理関数および逆関数と合成関数を学び、関数の概念についても理解を深めます。	分数関数、無理関数、逆関数、合成関数について学習します。
7			
9	問題演習	大学入学試験対策として、数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学Bの総復習をし、実力向上を目指します。	1年次、2年次に学んだことを思い出し、基礎基本の定着を図りましょう。
10			
11			
12			
1	問題演習		
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学演習	3	文理(文系)	3	必	新編 数学Ⅱ (数研)	3TRIAL 数学Ⅱ (数研)

学 習 目 標	<p>数学Ⅰで学んだ内容を復習・発展させ、数学学習の基盤が確立できるようにします。</p> <p>〔1〕教科書の例題等を用いて基本的事項を確認し、教科書内の問題や副教材等により解法を身に付けていきます。</p> <p>〔2〕基本的な概念や原理・法則の理解を深め、基礎的な知識の習得と基本的な技能の習熟を図ります。</p>
学 習 方 法	<p>公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図りましょう。</p> <p>〔1〕教科書の内容に沿って、基本的な力を身につけていきましょう。</p> <p>〔2〕教科書の例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していきましょう。</p> <p>〔3〕小テストや副教材などにより、自らの知識を確認しましょう。</p>
学 習 評 価	定期考査、課題や宿題などの提出物、学習に取り組む意欲・態度などを総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第6章 積分法 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにしていきます。	関数の平均変化率の意味を考え、微分係数を導入し、導関数を定義します。また、微分係数の意味を具体的に理解します。不定積分を求め、定積分の性質を調べ、積分と面積の結び付きを理解します。
5			
6			
7			
9	問題演習	大学入学試験対策として、数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学Bの総復習をし、実力向上を目指します。	1年次、2年次に学んだことを思い出し、基礎基本の定着を図りましょう。
10			
11			
12			
1	問題演習		
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学演習	2	特進(理系)	3	必		

学 習 目 標	<p>今まで学んだ内容を復習・発展させ、数学学習の基盤が確立できるようにします。</p> <p>〔1〕教科書の例題等を用いて基本的事項を確認し、教科書内の問題や副教材等により解法を身に付けていきます。</p> <p>〔2〕基本的な概念や原理・法則の理解を深め、基礎的な知識の習得と基本的な技能の習熟を図ります。</p>
学 習 方 法	<p>公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図りましょう。</p> <p>〔1〕各分野の内容に沿って、基本的な力を身につけていきましょう。</p> <p>〔2〕例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していきましょう。</p> <p>〔3〕小テストや副教材などにより、自らの知識を確認しましょう。</p>
学 習 評 価	定期考査、課題や宿題などの提出物、学習に取り組む意欲・態度などを総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	問題演習 数学Ⅰ 数と式 2次関数 図形と計量  数学A 場合の数と確率 図形の性質	大学入学試験対策として、数学Ⅰの総復習をし、実力向上を目指します。   大学入学試験対策として、数学Aの総復習をし、実力向上を目指します。	1年次、2年次に学んだことを思い出し、基礎基本の定着を図りましょう。
5			
6			
7			
9	数学Ⅱ 式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数と対数関数 微分法と積分法  数学B 平面上のベクトル 空間のベクトル 数列	大学入学試験対策として、数学Ⅰの総復習をし、実力向上を目指します。   大学入学試験対策として、数学Ⅰの総復習をし、実力向上を目指します。	
10			
11			
12			
1			
2			
3			



教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
数学	数学演習	3	特進(文系)	3	必		

学 習 目 標	<p>今まで学んだ内容を復習・発展させ、数学学習の基盤が確立できるようにします。</p> <p>[1] 教科書の例題等を用いて基本的事項を確認し、教科書内の問題や副教材等により解法を身に付けていきます。</p> <p>[2] 基本的な概念や原理・法則の理解を深め、基礎的な知識の習得と基本的な技能の習熟を図ります。</p>
学 習 方 法	<p>公式の暗記にならないように、基礎・基本の定着を図りましょう。</p> <p>[1] 各分野の内容に沿って、基本的な力を身につけていきましょう。</p> <p>[2] 例題や練習問題をしっかり取り組み、1つ1つ確実に理解していきましょう。</p> <p>[3] 小テストや副教材などにより、自らの知識を確認しましょう。</p>
学 習 評 価	定期考査、課題や宿題などの提出物、学習に取り組む意欲・態度などを総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	問題演習 数学Ⅰ 数と式 2次関数 図形と計量	大学入学試験対策として、数学Ⅰの総復習をし、実力向上を目指します。	1年次、2年次に学んだことを思い出し、基礎基本の定着を図りましょう。
5			
6	数学A 場合の数と確率 図形の性質	大学入学試験対策として、数学Aの総復習をし、実力向上を目指します。	
7			
9	数学Ⅱ 式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数と対数関数 微分法と積分法	大学入学試験対策として、数学Ⅰの総復習をし、実力向上を目指します。	
10			
11	数学B 平面上のベクトル 空間のベクトル 数列	大学入学試験対策として、数学Ⅰの総復習をし、実力向上を目指します。	
12			
1			
2			
3			

# 理科

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	物理基礎	2	標準	1	必修	新編物理基礎(数研出版)	新課程新物理基礎準拠サポートノート (数研出版)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関わる基本的な技能を身に付けるようにする。</li> <li>観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</li> <li>物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、物体の運動、力、波、熱、電気、エネルギーの基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1編運動とエネルギー 第1章運動の表し方	1.速度 2.加速度 3.落体の運動	【知】運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度、物体の落下運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】運動の表し方について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】運動の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (1学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	第2章運動の法則	1.力とそのはたらき 2.力のつりあい 3.運動の法則 4.摩擦を受ける運動 5.液体や気体から受ける力	【知】様々な力とその働きを日常生活や社会と関連付けながら、様々な力、力のつりあい、運動の法則についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】様々な力とその働きについて、観察、実験などを通して探究し、様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】様々な力とその働きに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査 (1学期)		
	第3章仕事と力学的エネルギー	1.仕事 2.運動エネルギー 3.位置エネルギー 4.力学的エネルギーの保存	【知】力学的エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】力学的エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	第2編熱 第1章熱とエネルギー	1.熱と物質の状態 2.熱と仕事	【知】熱を日常生活や社会と関連付けながら、熱と温度、熱の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】熱について、観察、実験などを通して探究し、熱における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】熱に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (2学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	第3編波 第1章波の性質	1.波と媒質の運動 2.波の伝わり方	【知】波を日常生活や社会と関連付けながら、波の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査 (2学期)		
	第2章音	1.音の性質 2.発音体の振動と共振・共鳴	【知】音を日常生活や社会と関連付けながら、音と振動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】音について、観察、実験などを通して探究し、音における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】音に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
3	第4編電気 第1章電気の性質	1.電気の性質 2.電流と電気抵抗 3.電気とエネルギー	【知】電気を日常生活や社会と関連付けながら、物質と電気抵抗、電気の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】電気について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  期末考査 (3学期)	発言分析  記述分析  期末考査 (3学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	第2章磁場と交流	1.電流と磁場 2.交流と電磁波	【知】磁場と交流を日常生活や社会と関連付けながら、電流と磁場、交流、電磁波についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】磁場と交流について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】磁場と交流に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
	第5編物理学と社会 第1章エネルギーの利用	1.エネルギーの移り変わり 2.エネルギー資源と発電  物理学が拓く世界	【知】エネルギーとその利用を日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーとその利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】エネルギーとその利用について、観察、実験などを通して探究し、エネルギーとその利用における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】エネルギーとその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 【知】日常生活や社会と関連付けながら、物理学が拓く世界についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】物理学が拓く世界について、観察、実験などを通して探究し、この科目で学んだ事項が科学技術と結びついていることを表現している。 【主】物理学が拓く世界に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	物理基礎	2	文理	1	必修	物理基礎(数研出版)	新課程 フォローアップドリル物理基礎①②③(数研出版)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関わる基本的な技能を身に付けるようにする。</li> <li>観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</li> <li>物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、物体の運動、力、波、熱、電気、エネルギーの基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1編運動とエネルギー 第1章運動の表し方	1.速度 2.加速度 3.落体の運動	【知】運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度、物体の落下運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】運動の表し方について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】運動の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査(1学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	第2章運動の法則	1.力とそのはたらき 2.力のつりあい 3.運動の法則 4.摩擦を受ける運動 5.液体や気体から受ける力	【知】様々な力とその働きを日常生活や社会と関連付けながら、様々な力、力のつりあい、運動の法則についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】様々な力とその働きについて、観察、実験などを通して探究し、様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】様々な力とその働きに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査(1学期)		
	第3章仕事と力学的エネルギー	1.仕事 2.運動エネルギー 3.位置エネルギー 4.力学的エネルギーの保存	【知】力学的エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】力学的エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	第2編熱 第1章熱とエネルギー	1.熱と物質の状態 2.熱と仕事	【知】熱を日常生活や社会と関連付けながら、熱と温度、熱の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】熱について、観察、実験などを通して探究し、熱における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】熱に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査(2学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	第3編波 第1章波の性質	1.波と媒質の運動 2.波の伝わり方	【知】波を日常生活や社会と関連付けながら、波の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査(2学期)		
	第2章音	1.音の性質 2.発音体の振動と共振・共鳴	【知】音を日常生活や社会と関連付けながら、音と振動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】音について、観察、実験などを通して探究し、音における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】音に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
3	第4編電気 第1章電気の性質	1.電気の性質 2.電流と電気抵抗 3.電気とエネルギー	【知】電気を日常生活や社会と関連付けながら、物質と電気抵抗、電気の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】電気について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  期末考査(3学期)	発言分析  記述分析  期末考査(3学期)	行動観察  発言分析
	第2章磁場と交流	1.電流と磁場 2.交流と電磁波	【知】磁場と交流を日常生活や社会と関連付けながら、電流と磁場、交流、電磁波についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】磁場と交流について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】磁場と交流に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			記述分析
	第5編物理学と社会 第1章エネルギーの利用	1.エネルギーの移り変わり 2.エネルギー資源と発電  物理学が拓く世界	【知】エネルギーとその利用を日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーとその利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】エネルギーとその利用について、観察、実験などを通して探究し、エネルギーとその利用における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】エネルギーとその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 【知】日常生活や社会と関連付けながら、物理学が拓く世界についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】物理学が拓く世界について、観察、実験などを通して探究し、この科目で学んだ事柄が科学技術と結びついていることを表現している。 【主】物理学が拓く世界に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	物理基礎	2	特進	1	必修	物理基礎(数研出版)	新課程 リードLightノート物理基礎(数研出版) 新課程 フォローアップドリル物理基礎①②③(数研出版)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関わる基本的な技能を身に付けるようにする。</li> <li>観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</li> <li>物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、物体の運動、力、波、熱、電気、エネルギーの基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1編運動とエネルギー 第1章運動の表し方	1.速度 2.加速度 3.落体の運動	【知】運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度、物体の落下運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】運動の表し方について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】運動の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査(1学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	第2章運動の法則	1.力とそのはたらき 2.力のつりあい 3.運動の法則 4.摩擦を受ける運動 5.液体や気体から受ける力	【知】様々な力とその働きを日常生活や社会と関連付けながら、様々な力、力のつりあい、運動の法則についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】様々な力とその働きについて、観察、実験などを通して探究し、様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】様々な力とその働きに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査(1学期)		
	第3章仕事と力学的エネルギー	1.仕事 2.運動エネルギー 3.位置エネルギー 4.力学的エネルギーの保存	【知】力学的エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】力学的エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	第2編熱 第1章熱とエネルギー	1.熱と物質の状態 2.熱と仕事	【知】熱を日常生活や社会と関連付けながら、熱と温度、熱の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】熱について、観察、実験などを通して探究し、熱における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】熱に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析	発言分析  記述分析  単元確認考査	行動観察  発言分析  記述分析
	第3編波 第1章波の性質	1.波と媒質の運動 2.波の伝わり方	【知】波を日常生活や社会と関連付けながら、波の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査(2学期)	期末考査(2学期)	
	第2章音	1.音の性質 2.発音体の振動と共振・共鳴	【知】音を日常生活や社会と関連付けながら、音と振動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】音について、観察、実験などを通して探究し、音における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】音に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
3	第4編電気 第1章電気の性質	1.電気の性質 2.電流と電気抵抗 3.電気とエネルギー	【知】電気を日常生活や社会と関連付けながら、物質と電気抵抗、電気の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】電気について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析	発言分析  記述分析  期末考査(3学期)	行動観察  発言分析
	第2章磁場と交流	1.電流と磁場 2.交流と電磁波	【知】磁場と交流を日常生活や社会と関連付けながら、電流と磁場、交流、電磁波についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】磁場と交流について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】磁場と交流に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査(3学期)		記述分析
	第5編物理学と社会 第1章エネルギーの利用	1.エネルギーの移り変わり 2.エネルギー資源と発電  物理学が拓く世界	【知】エネルギーとその利用を日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーとその利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】エネルギーとその利用について、観察、実験などを通して探究し、エネルギーとその利用における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主】エネルギーとその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 【知】日常生活や社会と関連付けながら、物理学が拓く世界についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】物理学が拓く世界について、観察、実験などを通して探究し、この科目で学んだ事柄が科学技術と結びついていることを表現している。 【主】物理学が拓く世界に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	物理	3	文理	2	選択	物理(数研出版)	新課程版 セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 新課程 フォローアップドリル物理①②(数研出版)

学習目標	・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、力と運動、熱と気体、波の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身に付ける。			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1編力と運動 第1章平面内の運動	1.平面内の速度・加速度 2.落体の運動	【知】平面内の運動を日常生活や社会と関連付けながら、平面内の速度・加速度、落体の運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】平面内の運動について、観察、実験などを通して探究し、平面内の運動における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】平面内の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (1学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	第2章剛体	1.剛体にはたらく力のつりあい 2.剛体にはたらく力の合力と重心	【知】剛体にはたらく力を日常生活や社会と関連付けながら、力のつりあい、力のモーメント、合力と重心についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】剛体にはたらく力について、観察、実験などを通して探究し、剛体にはたらく力における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】剛体にはたらく力に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査 (1学期)		
	第3章運動量の保存	1.運動量と力積 2.運動量保存則 3.反発係数	【知】運動量を日常生活や社会と関連付けながら、運動量と力積、運動量保存則、反発係数についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】運動量について、観察、実験などを通して探究し、運動量における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】運動量に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
	第4章円運動と万有引力	1.等速円運動 2.慣性力 3.単振動 4.万有引力	【知】円運動と万有引力を日常生活や社会と関連付けながら、等速円運動、慣性力、単振動、万有引力についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】円運動と万有引力について、観察、実験などを通して探究し、円運動と万有引力における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】円運動と万有引力に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	第2編熱と気体 第1章気体のエネルギーと状態変化	1.気体の法則 2.気体分子の運動 3.気体の状態変化	【知】熱と気体を日常生活や社会と関連付けながら、気体の法則、気体分子の運動、気体の状態変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】熱と気体について、観察、実験などを通して探究し、熱と気体における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】熱と気体に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (2学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	第3編波 第1章波の伝わり方	1.波と媒質の運動 2.正弦波の式 3.波の伝わり方	【知】波を日常生活や社会と関連付けながら、波と媒質の運動、正弦波、波の伝わり方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査 (2学期)		
	第2章音の伝わり方	1.音の伝わり方 2.音のドップラー効果	【知】音を日常生活や社会と関連付けながら、音の伝わり方、音のドップラー効果についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】音について、観察、実験などを通して探究し、音における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】音に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
3	第3章光	1.光の性質 2.レンズと鏡 3.光の干渉と回折	【知】光を日常生活や社会と関連付けながら、光の性質、レンズと鏡、光の干渉と回折についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】光について、観察、実験などを通して探究し、光における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】光に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  期末考査 (3学期)	発言分析  記述分析  期末考査 (3学期分)	行動観察  発言分析  記述分析

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	物理	3	特進理系	2	選択	物理(数研出版)	新課程版 セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 新課程 フォローアップドリル物理①②(数研出版)

学習目標	・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、力と運動、熱と気体、波の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1編力と運動 第1章平面内の運動	1.平面内の速度・加速度 2.落体の運動	【知】平面内の運動を日常生活や社会と関連付けながら、平面内の速度・加速度、落体の運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】平面内の運動について、観察、実験などを通して探究し、平面内の運動における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】平面内の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析	発言分析  記述分析  単元確認考査	行動観察  発言分析  記述分析
	第2章剛体	1.剛体にはたらく力のつりあい 2.剛体にはたらく力の合力と重心	【知】剛体にはたらく力を日常生活や社会と関連付けながら、力のつりあい、力のモーメント、合力と重心についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】剛体にはたらく力について、観察、実験などを通して探究し、剛体にはたらく力における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】剛体にはたらく力に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査(1学期)		
	第3章運動量の保存	1.運動量と力積 2.運動量保存則 3.反発係数	【知】運動量を日常生活や社会と関連付けながら、運動量と力積、運動量保存則、反発係数についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】運動量について、観察、実験などを通して探究し、運動量における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】運動量に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
	第4章円運動と万有引力	1.等速円運動 2.慣性力 3.単振動 4.万有引力	【知】円運動と万有引力を日常生活や社会と関連付けながら、等速円運動、慣性力、単振動、万有引力についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】円運動と万有引力について、観察、実験などを通して探究し、円運動と万有引力における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】円運動と万有引力に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	第2編熱と気体 第1章気体のエネルギーと状態変化	1.気体の法則 2.気体分子の運動 3.気体の状態変化	【知】熱と気体を日常生活や社会と関連付けながら、気体の法則、気体分子の運動、気体の状態変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】熱と気体について、観察、実験などを通して探究し、熱と気体における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】熱と気体に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析	発言分析  記述分析  単元確認考査	行動観察  発言分析  記述分析
	第3編波 第1章波の伝わり方	1.波と媒質の運動 2.正弦波の式 3.波の伝わり方	【知】波を日常生活や社会と関連付けながら、波と媒質の運動、正弦波、波の伝わり方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査(2学期)		
	第2章音の伝わり方	1.音の伝わり方 2.音のドップラー効果	【知】音を日常生活や社会と関連付けながら、音の伝わり方、音のドップラー効果についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】音について、観察、実験などを通して探究し、音における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】音に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
3	第3章光	1.光の性質 2.レンズと鏡 3.光の干渉と回折	【知】光を日常生活や社会と関連付けながら、光の性質、レンズと鏡、光の干渉と回折についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】光について、観察、実験などを通して探究し、光における規則性や関係性を見い出して表現している。 【主】光に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  期末考査(3学期)	発言分析  記述分析  期末考査(3学期分)	行動観察  発言分析  記述分析

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	化学基礎	2	標準 文理(文系)	2	必修	新編化学基礎(数研出版)	新課程 新編化学基礎サポートノート (数研出版)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li> <li>観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</li> <li>物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、物質の構成と化学結合、物質と化学反応式、酸と塩基の反応、酸化還元反応の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的ものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1編 物質の構成と化学結合	1章 1. 混合物と純物質 2. 物質とその成分 3. 物質の三態と熱運動	<b>【知】</b> 物質を日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 物質の構成と化学結合について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主】</b> 物質の構成と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析	発言分析	行動観察
	2章 物質の構成	2章 1. 原子とその構造 2. イオン 3. 元素の周期表		記述分析	記述分析	発言分析
	3章 物質の構成粒子	3章 1. イオン結合とイオンからなる物質 2. 分子と共有結合 3. 共有結合の結晶 4. 金属結合と金属		単元確認 考查	単元確認 考查	記述分析
2	2編 物質の変化	1章 1. 原子量・分子量・式量 2. 物質質量 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と物質質量	<b>【知】</b> 物質の変化とその利用について、日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 原子量の考え方、粒子を基本とした化学における量の扱いと酸・塩基の性質や定義と中和反応について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性や関係性を科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主】</b> 原子量の考え方、粒子を基本とした化学における量の扱いと酸・塩基の性質や定義と中和反応に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析	行動観察	行動観察
	1章 物質質量と化学反応式	2章 1. 酸・塩基 2. 水の電離と水溶液のpH 3. 中和反応と塩 4. 中和滴定		記述分析	発言分析	発言分析
	2章 酸と塩基の反応			単元確認 考查	記述分析	記述分析
3	2編 物質の変化	1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤 3. 金属の酸化還元反応 4. 酸化還元反応の利用	<b>【知】</b> 物質の変化とその利用について、日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 酸化還元反応とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性や関係性を科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主】</b> 酸化還元反応とその利用に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析	発言分析	行動観察
	3章 酸化還元反応	-電池・金属の製錬-		記述分析	記述分析	発言分析
				期末考查 (1学期)	期末考查 (1学期)	記述分析
3				期末考查 (2学期)	行動分析	行動分析
				期末考查 (3学期)	期末考查 (3学期)	記述分析
						行動分析



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	化学基礎	2	特進(文系)	2	必修	化学基礎(数研出版)	フォローアップドリル化学基礎①②③ (数研出版)

学習目標	・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、物質の構成と化学結合、物質と化学反応式、酸と塩基の反応、酸化還元反応の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的ものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1編 物質の構成と化学結合	1章 1. 混合物と純物質 2. 物質とその成分 3. 物質の三態と熱運動	<b>【知】</b> 物質を日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 物質の構成と化学結合について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主】</b> 物質の構成と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析	発言分析	行動観察
	2章 物質の構成	2章 1. 原子とその構造 2. イオン 3. 元素の周期表		記述分析	記述分析	発言分析
	3章 物質の構成粒子	3章 1. イオン結合とイオンからなる物質 2. 分子と共有結合 3. 共有結合の結晶		単元確認 考查	単元確認 考查	記述分析
	4章 粒子の結合	4. 金属結合と金属		期末考查 (1学期)	期末考查 (1学期)	
2	2編 物質の変化	1章 1. 原子量・分子量・式量 2. 物質質量 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と物質質量	<b>【知】</b> 物質の変化とその利用について、日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 原子量の考え方、粒子を基本とした化学における量の扱いと酸・塩基の性質や定義と中和反応について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性や関係性を科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主】</b> 原子量の考え方、粒子を基本とした化学における量の扱いと酸・塩基の性質や定義と中和反応に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析	行動観察	行動観察
	1章 物質質量と化学反応式			記述分析	発言分析	発言分析
	2章 酸と塩基の反応	2章 1. 酸・塩基 2. 水の電離と水溶液のpH 3. 中和反応と塩 4. 中和滴定		単元確認 考查	記述分析	記述分析
				期末考查 (2学期)	行動分析	行動分析
3	2編 物質の変化	1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤 3. 金属の酸化還元反応 4. 酸化還元反応の利用	<b>【知】</b> 物質の変化とその利用について、日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 酸化還元反応とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性や関係性を科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主】</b> 酸化還元反応とその利用に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析	発言分析	行動観察
	3章 酸化還元反応	-電池・金属の製錬-		記述分析	記述分析	発言分析
				期末考查 (3学期)	期末考查 (3学期)	記述分析
						行動分析

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	化学基礎・化学	2・3	文理(理系)	2	必修	化学基礎(数研出版) 化学(数研出版)	フォローアップドリル化学基礎①②③(数研出版) フォローアップドリル化学①②③(数研出版) 新課程二訂版スクエア最新国際化学(第一学習社)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li> <li>化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li> <li>観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</li> <li>物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、物質の構成と化学結合、物質質量と化学反応式、酸と塩基の反応、酸化還元反応、物質の状態、物質の変化、無機物質の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	化学基礎 1編 物質の構成と化学結合  2編 物質の変化	1章物質の構成 2章物質の構成粒子 3章粒子の結合  1章物質質量と化学反応式 2章酸と塩基の反応 3章酸化還元反応	【知】物質を日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】物質の構成と物質の変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】物質の構成と物質の変化に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析  記述分析  単元確認 考查  期末考查 (1学期)	発言分析  記述分析  単元確認 考查  期末考查 (1学期)	行動観察  発言分析  記述分析  期末考查 (1学期)
2	化学 1編 物質の状態  2編 物質の変化	1章固体の構造 2章物質の状態変化 3章気体 4章溶液  1章化学反応とエネルギー 2章電池と電気分解 3章化学反応と速さのしくみ 4章化学平衡	【知】物質の状態と物質の変化について、日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】物質の状態と物質の変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】物質の状態と物質の変化に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析  記述分析  単元確認 考查  期末考查 (2学期)	発言分析  記述分析  単元確認 考查  期末考查 (2学期)	行動観察  発言分析  記述分析  期末考查 (2学期)
3	3編 無機物質	1章非金属元素 2章金属元素(Ⅰ) 典型元素 3章金属元素(Ⅱ) 遷移元素	【知】無機物質について、日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】無機物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性や関係性を科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】無機物質に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析  記述分析  期末考查 (3学期)	発言分析  記述分析  期末考查 (3学期)	行動観察  発言分析  記述分析  行動分析

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	化学基礎・化学	2・3	特進(理系)	2	必修	化学基礎(数研出版) 化学(数研出版)	フォコアアップリカ化学基礎①②③(数研出版) フォコアアップリカ化学①②③(数研出版) 新課程版2023セミナー化学基礎・化学(第一学習社) 新課程二訂版スクエア最新版化学(第一学習社)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"><li>日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li><li>化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li><li>観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</li><li>物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li></ul>			
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、物質の構成と化学結合、物質質量と化学反応式、酸と塩基の反応、酸化還元反応、物質の状態、物質の変化、無機物質の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	化学基礎 1編 物質の構成と化学結合  2編 物質の変化	1章物質の構成 2章物質の構成粒子 3章粒子の結合  1章物質質量と化学反応式 2章酸と塩基の反応 3章酸化還元反応	【知】物質を日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】物質の構成と物質の変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】物質の構成と物質の変化に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析  記述分析  単元確認 考查  期末考查 (1学期)	発言分析  記述分析  単元確認 考查  期末考查 (1学期)	行動観察  発言分析  記述分析  期末考查 (1学期)
2	化学 1編 物質の状態  2編 物質の変化	1章固体の構造 2章物質の状態変化 3章気体 4章溶液  1章化学反応とエネルギー 2章電池と電気分解 3章化学反応と速さのしくみ 4章化学平衡	【知】物質の状態と物質の変化について、日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】物質の状態と物質の変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】物質の状態と物質の変化に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析  記述分析  単元確認 考查  期末考查 (2学期)	発言分析  記述分析  単元確認 考查  期末考查 (2学期)	行動観察  発言分析  記述分析  期末考查 (2学期)
3	3編 無機物質	1章非金属元素 2章金属元素(Ⅰ) 典型元素 3章金属元素(Ⅱ) 遷移元素	【知】無機物質について、日常生活や社会と関連付けながら観察し、整理・分類し、共通点・相違点を調べ、物質の成り立ちなどを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】無機物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性や関係性を科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】無機物質に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	発言分析  記述分析  期末考查 (3学期)	発言分析  記述分析  期末考查 (3学期)	行動観察  発言分析  記述分析  行動分析

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	生物基礎	2	標準	1	必修	新編生物基礎(東京書籍)	新課程 ニューアチーブ生物基礎(東京書籍)

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性	生物の多様性 生物の共通性 細胞の特徴	【知】生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査(1学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	2章 生物とエネルギー	生体とATP 生体内の化学反応 呼吸と光合成	【知】生物の特徴について、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物とエネルギーについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】生物とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査(1学期)		
	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA	生物と遺伝子 DNAの構造 DNAの複製と分配	【知】遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝情報とDNAについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	2章 遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質 DNAとタンパク質の合成 細胞分化と遺伝子	【知】遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝情報とタンパク質の合成について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】遺伝情報とタンパク質の合成に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査(2学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	体内環境 神経系による情報伝達 ホルモンによる情報伝達 血糖濃度の調節	【知】神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】情報の伝達について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】情報の伝達に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査(2学期)		
	2章 免疫のはたらき	免疫のしくみ 免疫記憶 免疫とさまざまな疾患	【知】免疫について、免疫のはたらきの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】免疫のはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】免疫のはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
3	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	植生とその環境 植生の遷移 遷移とバイオーム	【知】植生と遷移について、植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】植生と遷移について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析	発言分析  記述分析  期末考査(3学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	2章 生態系と生物の多様性	生態系における生物の多様性 生態系における生物間の関係 生態系と攪乱 生態系の保全	【知】生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査(3学期)		

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	生物基礎	2	文理	1	必修	生物基礎(東京書籍)	新課程 レットライノート生物基礎(東京書籍)

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性	生物の多様性 生物の共通性 細胞の特徴	【知】生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (1学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	2章 生物とエネルギー	生体とATP 生体内の化学反応 呼吸と光合成	【知】生物の特徴について、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物とエネルギーについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】生物とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査 (1学期)		
	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA	生物と遺伝子 DNAの構造 DNAの複製と分配	【知】遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝情報とDNAについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	2章 遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質 DNAとタンパク質の合成 細胞分化と遺伝子	【知】遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝情報とタンパク質の合成について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】遺伝情報とタンパク質の合成に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (2学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	体内環境 神経系による情報伝達 ホルモンによる情報伝達 血糖濃度の調節	【知】神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】情報の伝達について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】情報の伝達に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査 (2学期)		
	2章 免疫のはたらき	免疫のしくみ 免疫記憶 免疫とさまざまな疾患	【知】免疫について、免疫のはたらきの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】免疫のはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】免疫のはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
3	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	植生とその環境 植生の遷移 遷移とバイオーム	【知】植生と遷移について、植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】植生と遷移について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析	発言分析  記述分析  期末考査 (3学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	2章 生態系と生物の多様性	生態系における生物の多様性 生態系における生物間関係 生態系と攪乱 生態系の保全	【知】生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査 (3学期)		

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	生物基礎	2	特進	1	必修	生物基礎(東京書籍)	新課程 リードLight/ノート生物基礎 (数研出版)

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性	生物の多様性 生物の共通性 細胞の特徴	【知】生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (1学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	2章 生物とエネルギー	生体とATP 生体内の化学反応 呼吸と光合成	【知】生物の特徴について、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物とエネルギーについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】生物とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査 (1学期)		
	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA	生物と遺伝子 DNAの構造 DNAの複製と分配	【知】遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝情報とDNAについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	2章 遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質 DNAとタンパク質の合成 細胞分化と遺伝子	【知】遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝情報とタンパク質の合成について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】遺伝情報とタンパク質の合成に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (2学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	体内環境 神経系による情報伝達 ホルモンによる情報伝達 血糖濃度の調節	【知】神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】情報の伝達について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】情報の伝達に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査 (2学期)		
	2章 免疫のはたらき	免疫のしくみ 免疫記憶 免疫とさまざまな疾患	【知】免疫について、免疫のはたらきの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】免疫のはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】免疫のはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
3	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	植生とその環境 植生の遷移 遷移とバイオーム	【知】植生と遷移について、植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】植生と遷移について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析	発言分析  記述分析  期末考査 (3学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	2章 生態系と生物の多様性	生態系における生物の多様性 生態系における生物間関係 生態系と攪乱 生態系の保全	【知】生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	期末考査 (3学期)		

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	生物	3	文理	2	選択	生物(東書)	新課程スクエア最新図説生物(第一) 新課程セミナー生物基礎+生物(第一)

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、生物の進化、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化	1.共通性と多様性をつなぐ進化 2.生命の誕生 3.生物の多様性と地球環境の変化	【知】生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主】生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (1学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ	1.遺伝的変異 2.多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖 3.進化の定義と自然選択による進化 4.遺伝子レベルでみる進化 5.種分化	【知】生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査 (1学期)		
	3章 生物の系統と進化	1.生物の系統 2.生物の系統分類 3.霊長類のなかのヒト 4.人類の出現と変遷	【知】生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主】生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質	1.細胞を構成する成分 2.生体膜のはたらき 3.細胞の構造 4.タンパク質の構造 5.酵素としてはたらくタンパク質 6.生命現象とタンパク質	【知】生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 【主】細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	2編 生命現象と物質 2章 代謝とエネルギー	1.代謝とエネルギー 2.呼吸 3.発酵 4.光合成	【知】生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。 【主】代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (2学期)	発言分析  記述分析
	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現	1.DNAの構造 2.DNAの複製 3.遺伝情報の流れ 4.RNAと転写 5.翻訳のしくみ 6.遺伝情報の変化	【知】遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査 (2学期)		
	2章 発生と遺伝子発現	1.原核生物の遺伝子発現の調節 2.真核生物の遺伝子発現の調節 3.選択的遺伝子発現と細胞分化 4.動物の発生 5.胚の細胞の発生運命と遺伝子発現 6.発生現象と遺伝子発現の調節 7.動物の形と調節遺伝子の発現	【知】遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主】発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
	3編 遺伝情報の発現と発生 3章 遺伝子を扱う技術	1.遺伝子を増幅する技術 2.塩基配列を解読する技術 3.遺伝子組み換え技術の利用 4.遺伝子や細胞を扱う技術の課題	【知】遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  期末考査 (3学期分)	発言分析  記述分析  期末考査 (3学期分)	行動観察  発言分析  記述分析

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	生物	3	特進	2	選択	生物(東書)	新課程フォトサイエンス生物図録(数研) 新課程ニューグローバル生物基礎+生物(東書)

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
学習方法	教科書を中心に単元ごとの学習内容の理解度を確認をしながら、生物の進化、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生の基礎的な学習内容の定着を図る。また、観察・実験や発表、資料検索・課題作成等を通して言語活動やプレゼンテーション能力の向上を図り、科学的なものの見方、考え方を身につける。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化	1.共通性と多様性をつなぐ進化 2.生命の誕生 3.生物の多様性と地球環境の変化	【知】生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主】生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (1学期)	行動観察  発言分析  記述分析
	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ	1.遺伝的変異 2.多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖 3.進化の定義と自然選択による進化 4.遺伝子レベルでみる進化 5.種分化	【知】生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査 (1学期)		
	3章 生物の系統と進化	1.生物の系統 2.生物の系統分類 3.霊長類のなかのヒト 4.人類の出現と変遷	【知】生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主】生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質	1.細胞を構成する成分 2.生体膜のはたらき 3.細胞の構造 4.タンパク質の構造 5.酵素としてはたらくタンパク質 6.生命現象とタンパク質	【知】生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 【主】細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2	2編 生命現象と物質 2章 代謝とエネルギー	1.代謝とエネルギー 2.呼吸 3.発酵 4.光合成	【知】生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。 【主】代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  単元確認考査	発言分析  記述分析  単元確認考査  期末考査 (2学期)	発言分析  記述分析
	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現	1.DNAの構造 2.DNAの複製 3.遺伝情報の流れ 4.RNAと転写 5.翻訳のしくみ 6.遺伝情報の変化	【知】遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元確認考査  期末考査 (2学期)		
	2章 発生と遺伝子発現	1.原核生物の遺伝子発現の調節 2.真核生物の遺伝子発現の調節 3.選択的遺伝子発現と細胞分化 4.動物の発生 5.胚の細胞の発生運命と遺伝子発現 6.発生現象と遺伝子発現の調節 7.動物の形と調節遺伝子の発現	【知】遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主】発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
	3編 遺伝情報の発現と発生 3章 遺伝子を扱う技術	1.遺伝子を増幅する技術 2.塩基配列を解読する技術 3.遺伝子組み換え技術の利用 4.遺伝子や細胞を扱う技術の課題	【知】遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察  発言分析  記述分析  期末考査 (3学期分)	発言分析  記述分析  期末考査 (3学期分)	行動観察  発言分析  記述分析



教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	物理	4	文理(理系)	3	選	物理 (数研)	フォローアップ*リル物理 セミナー物理基礎+物理(第一) チェック&演習 物理基礎/物理(数研)

学 習 目 標	物理的な事物・現象について観察・実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、物理学的に探求する能力と態度を養うと共に、基本的な概念や原理・原則の理解を深め、科学的な自然観を養います。 これまで学習してきたことをもとに、現代物理学への興味・関心を引き出します。
学 習 方 法	教科書を中心に学習し、基礎学力の定着をはかります。 実験や動画視聴で実際に現象を目にすることによって理解を深め、演習によって自分で解析する力をつけます。また、実験や演習ではグループワークなどを取り入れていきます。 知識の暗記に終わらず、自ら考える姿勢をめざして、積極的に学習しましょう。
学 習 評 価	定期考査を中心に、確認テスト・ノート・課題レポート・授業態度（意欲、発言など）で総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第4編 電気と磁気 第1章 電場	静電気力のはたらく空間である「電場」について学びます。電場に注目することによっていろいろな電気の性質を理解していきます。 コンデンサーとその性質について学びます。	電子の動きや力のはたらくについて確認します。 物理基礎の電気分野の復習を効果的に行い、今回の範囲につなげます。
5	第2章 電流	抵抗の接続について確認し、電流計・電圧計を効果的に使えるようにします。 複雑な電気回路において、キルヒホッフの法則やホイートストンブリッジを用い、未知の値の測定、解析をできることをめざします。	講義を聴き、実際に法則を用いて数値を求めていきます。また、実際の測定値が法則に従っていることを実験や動画視聴にて確認します。
6	第3章 電流と磁場	磁石や磁気の性質を理解し、電気と磁気の間にはどのような関係があるかを考えていきます。	講義を聴き、実際に法則を用いて数値を求めていきます。
7			
9	第4章 電磁誘導と電磁波	電気と磁気の関係から電磁誘導のしくみを学び、交流の発生や電磁波の発生に応用されていることを理解します。	実験などで電磁誘導や交流の発生を確認します。
10	第5編 原子 第1章 電子と光	電子線や光、X線は電磁波の一種であり、波と粒子の特性をあわせもつこと（量子力学）を学びます。	波動と力学の内容を復習し、粒子性・波動性を示す現象に照らし合わせます。
11	第2章 原子と原子核	原子および原子核内の構造、素粒子の種類や性質について、歴史的背景をふまえて学びます。 特に原子核の反応により出てくる放射線とその性質については、原子力発電などを例として学び、エネルギー問題を考えるきっかけとしています。	原子核や素粒子については比較的新しい分野であり、近年の物理学の功績などについての調べ学習を取り入れます。
12			
1	総まとめ 大学入学共通テスト・私大入試対策	今までに学習した内容を振り返り、実際の大学入学共通テストや大学入試問題に対応する力をつけていきます。入試レベルの問題でも、授業内容が基本となっていることを確認します。	副教材や大学入学共通テストの過去問を用いて問題演習をします。解いて解説を聞くだけでなく、実際にどのように解いたかを発表する機会を設けます。
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	物理	4	特進(理系)	3	選	物理 (数研)	フォローアップドリル物理 セミナー物理基礎+物理(第一) チェック&演習 物理基礎/物理(数研)

学 習 目 標	物理的な事物・現象について観察・実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、物理学的に探求する能力と態度を養うと共に、基本的な概念や原理・原則の理解を深め、科学的な自然観を養います。 これまで学習してきたことをもとに、現代物理学への興味・関心を引き出します。
学 習 方 法	教科書を中心に学習し、基礎学力の定着をはかります。 実験や動画視聴で実際に現象を目にすることによって理解を深め、演習によって自分で解析する力をつけます。また、実験や演習ではグループワークなどを取り入れていきます。 知識の暗記に終わらず、自ら考える姿勢をめざして、積極的に学習しましょう。
学 習 評 価	定期考査を中心に、確認テスト・ノート・課題レポート・授業態度（意欲、発言など）で総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第4編 電気と磁気 第1章 電場	静電気力のはたらく空間である「電場」について学びます。電場に着目することによっていろいろな電気の性質を理解していきます。 コンデンサーとその性質について学びます。	電子の動きや力のはたらくきについて確認します。物理基礎の電気分野の復習を効果的に行い、今回の範囲につなげます。
5	第2章 電流	抵抗の接続について確認し、電流計・電圧計を効果的に使えるようにします。 複雑な電気回路において、キルヒホッフの法則やホイートストンブリッジを用い、未知の値の測定、解析をできることをめざします。	講義を聴き、実際に法則を用いて数値を求めていきます。また、実際の測定値が法則に従っていることを実験や動画視聴にて確認します。
6	第3章 電流と磁場	磁石や磁気の性質を理解し、電気と磁気の間にはどのような関係があるかを考えていきます。	講義を聴き、実際に法則を用いて数値を求めていきます。
7	第4章 電磁誘導と電磁波	電気と磁気の関係から電磁誘導のしくみを学び、交流の発生や電磁波の発生に应用されていることを理解します。	実験などで電磁誘導や交流の発生を確認します。
9	第5編 原子 第1章 電子と光	電子線や光、X線は電磁波の一種であり、波と粒子の特性をあわせもつこと（量子力学）を学びます。	波動と力学の内容を復習し、粒子性・波動性を示す現象に照らし合わせます。
10	第2章 原子と原子核	原子および原子核内の構造、素粒子の種類や性質について、歴史的背景をふまえて学びます。特に原子核の反応により出てくる放射線とその性質については、原子力発電などを例として学び、エネルギー問題を考えるきっかけとしています。	原子核や素粒子については比較的新しい分野であり、近年の物理学の功績などについての調べ学習を取り入れます。
11	総まとめ 大学入学共通テスト・私大入試対策	今までに学習した内容を振り返り、実際の大学入学共通テストや大学入試問題に対応する力をつけていきます。入試レベルの問題でも、授業内容が基本となっていることを確認します。	副教材や大学入学共通テストの過去問を用いて問題演習をします。解いて解説を聞くだけでなく、実際にどのように解いたかを発表する機会を設けます。
12			
1			
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	化学	3	文理(文系)	3	選	化学 (数研)	フォローアップドリル化学 (数研)

学 習 目 標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成します。日常生活や社会との関連を図りながら、観察、実験などに関する基本的な技術を身に付け、科学的に探究する力と態度を養います。
学 習 方 法	教科書を中心に基礎学力が定着できるよう学習します。 また、実験や演習にも取り組みます。ペアワークなどを取り入れながら発表を行う機会を設け、考える力やプレゼンテーション能力の向上をはかります。
学 習 評 価	定期考査を中心に、レポート、授業態度、小テスト、ノート、本人の意欲・理解度を総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第3編 無機物質 1章 非金属元素 2章 金属元素 (I) 典型元素	身のまわりで見られる様々な無機物質を取り上げ、これら無機物質の性質や化学反応性についての理解を深めることをめざします。さらに肥料や合金など、生活に幅広く利用されていることを学び、化学の研究成果が私たちの生活を豊かにしていることに気付き、その利用について考えを深めることをめざします。	周期表について復習をして、族ごとに実物を見たり、実験を行ったり、映像を活用したりして、日常生活や自然現象、自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
5	3章 金属元素 (II) 遷移元素		
6	第4編 有機化合物 1章 有機化合物の分類と分析 2章 脂肪族炭化水素 3章 アルコールと関連化合物	脂肪族化合物について、官能基による性質・反応性の違いを比較しながら理解を深めることをめざします。さらに日常生活に幅広く利用されていることを学び、化学の研究成果が私たちの生活を豊かにしていることに気付き、その利用について考えを深めることをめざします。	性質・反応性の演習問題を解きます。実物を見たり、実験を行ったり、映像を活用したりして、日常生活や自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
7			
9	4章 芳香族化合物	芳香族化合物について、官能基による性質・反応性の違いを比較しながら理解することをめざします。さらに医薬品・染料・洗剤など生活に利用されていることを学びます。	性質・反応性の演習問題を解きます。実物を見たり、実験を行ったり、映像を活用したりして、日常生活や自然現象、自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
10	第5編 天然有機化合物 1章 天然有機化合物 2章 天然高分子化合物	糖やタンパク質の化学的性質について理解を深めることをめざします。	
11	第6編 合成高分子化合物 1章 高分子化合物の性質	身のまわりで合成高分子化合物が繊維・樹脂・ゴムなどとして幅広く利用されていることを学び、化学の研究成果が私たちの生活を豊かにしていることに気付き、その利用について考えを深めることをめざします。	実物を見たり、実験を行ったり、映像を活用したりして、日常生活や自然現象、自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
12			
1	2章 合成高分子化合物		
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	化学	4	文理(理系)	3	必	化学 (数研)	セミナー化学基礎+化学 (第一) スクエア最新図説化学(第一) フォローアップドリル化学(数研)

学 習 目 標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成します。日常生活や社会との関連を図りながら、観察、実験などに関する基本的な技術を身に付け、科学的に探究する力と態度を養います。
学 習 方 法	教科書を中心に基礎学力が定着できるよう学習します。 また、実験や演習にも取り組みます。ペアワークなどを取り入れながら発表を行う機会を設け、考える力やプレゼンテーション能力の向上をはかります。
学 習 評 価	定期考査を中心に、レポート、授業態度、小テスト、ノート、本人の意欲・理解度を総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第3編 無機物質 1章 非金属元素 2章 金属元素(Ⅰ) 典型元素	無機物質の特徴を理解して、典型元素と遷移元素の単体や化合物について、その性質や化学反応性を理解すること、さらに無機物質が肥料や合金など生活に利用されていることを学び、化学の研究成果が私たちの生活を豊かにしていることに気づき、その利用について考えを深めることをめざします。	周期表について復習をして、族ごとに実物を見たり、実験を行ったり、映像や図録を活用したりして、日常生活や自然現象、自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
5	3章 金属元素(Ⅱ) 遷移元素		
6	第4編 有機化合物 1章 有機化合物の分類と分析 2章 脂肪族炭化水素 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物	有機化合物の元素分析、炭化水素、官能基による性質・反応性の違いについて、さらに芳香族炭化水素について理解することをめざします。 さらに有機化合物が医薬品・染料・洗剤など生活に利用されていることを学び、化学の研究成果が私たちの生活を豊かにしていることに気づき、その利用について考えを深めることをめざします。	元素分析の演習問題を解きます。実物を見たり、実験を行ったり、映像や図録を活用したりして、日常生活や自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
7			
9	第5編 天然有機化合物 1章 天然有機化合物 2章 天然高分子化合物	糖やタンパク質の化学的性質について理解を深めることをめざします。  合成高分子が繊維・樹脂・ゴムなど生活に利用されていることを学び、化学の研究成果が私たちの生活を豊かにしていることに気づき、その利用について考えを深めることをめざします。	実物を見たり、実験を行ったり、映像や図録を活用したりして、日常生活や自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
10	第6編 合成高分子化合物 1章 高分子化合物の性質 2章 合成高分子化合物		
11	問題演習 大学入学共通テスト・私大試験対策	大学入試に向け、実力を付けることをめざします。	過去問題や副教材を中心に演習を行います。大学入学共通テストの過去問題と予想問題に取り組みます。
12			
1	問題演習 大学入学共通テスト・私大試験対策		
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	化学	4	特進(理系)	3	必	化学 (数研)	セミナー化学基礎化学(第一) フォローアップトータル化学(数研) スクエア最新図説化学(第一) 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学・化学基礎(数研)

学 習 目 標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成します。日常生活や社会との関連を図りながら、観察、実験などに関する基本的な技術を身に付け、科学的に探究する力と態度を養います。
学 習 方 法	教科書を中心に基礎学力が定着できるよう学習します。 また、実験や演習にも取り組みます。ペアワークなどを取り入れながら発表を行う機会を設け、考える力やプレゼンテーション能力の向上をはかります。
学 習 評 価	定期考査を中心に、レポート、授業態度、小テスト、ノート、本人の意欲・理解度を総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第3編 無機物質 1章 非金属元素 2章 金属元素 (I) 典型元素	無機物質の特徴を理解して、典型元素と遷移元素の単体や化合物について、その性質や化学反応性を理解すること、さらに無機物質が肥料や合金など生活に利用されていることを学び、化学の研究成果が私たちの生活を豊かにしていることに気づき、その利用について考えを深めることをめざします。	周期表について復習をして、族ごとに実物を見たり、実験を行ったり、映像や図録を活用したりして、日常生活や自然現象、自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
5	3章 金属元素 (II) 遷移元素		
6	第4編 有機化合物 1章 有機化合物の分類と分析 2章 脂肪族炭化水素 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物	有機化合物の元素分析、炭化水素、官能基による性質・反応性の違いについて、さらに芳香族炭化水素について理解することをめざします。さらに有機化合物が医薬品・染料・洗剤など生活に利用されていることを学び、化学の研究成果が私たちの生活を豊かにしていることに気づき、その利用について考えを深めることをめざします。	元素分析の演習問題を解きます。実物を見たり、実験を行ったり、映像や図録を活用したりして、日常生活や自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
7			
9	第5編 天然有機化合物 1章 天然有機化合物 2章 天然高分子化合物	糖やタンパク質の化学的性質について理解を深めることをめざします。  合成高分子が繊維・樹脂・ゴムなど生活に利用されていることを学び、化学の研究成果が私たちの生活を豊かにしていることに気づき、その利用について考えを深めることをめざします。	実物を見たり、実験を行ったり、映像や図録を活用したりして、日常生活や自然界・産業界と結び付けて学習を行います。
10	第6編 合成高分子化合物 1章 高分子化合物の性質 2章 合成高分子化合物		
11	問題演習 大学入学共通テスト・私大試験対策	大学入試に向け、実力を付けることをめざします。	過去問題や副教材を中心に演習を行います。大学入学共通テストの過去問題と予想問題に取り組みます。
12			
1			
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	生物	3	標準	3	選	高等学校改訂生物 (第一)	スタディート生物 (第一)

学 習 目 標	「生物基礎」との関連を図りながら生物や生物現象をさらに広範囲に取り扱い、疑問点を主体的に見出そうとする意欲をもち、生物学的に探究する能力と態度を身に付けることを目標とします。
学 習 方 法	教科書を中心に、基本的な考え方や原理・法則の理解をめざして学習します。また、発表を行う機会を設けてプレゼンテーション能力の向上をはかるとともに、自分と異なる意見に対して議論し、考える力を養います。
学 習 評 価	定期考査を中心に、レポート、授業態度、小テスト、ノートを加味して総合的に評価します。

## 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第1編 生命現象と物質 第3章 遺伝情報の発現 1. 遺伝情報とその発現 2. 遺伝子の発現調節	原核細胞や真核細胞の転写では、様々な遺伝子の発現やタンパク質が関与していることへの理解を深めることをめざします。	転写の開始はどのようなしくみで調整されているのか。また、分化した細胞が特有のタンパク質をもつのはなぜか。遺伝子発現のしくみと細胞分化について学習します。
5			
6	3. バイオテクノロジー	バイオテクノロジーは、食品などの偽装の発見、親子鑑定、ウイルス感染の診断といった、農業や医療の分野で幅広く使われていることを理解することをめざします。	バイオテクノロジーとは、どのような技術で、私たちの暮らしとどのような関わりがあるのか。その技術と課題について学習します。
7			
9	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 1. 有性生殖における遺伝的多様性 2. 動物の配偶子形成	生物が同じ種を残すしくみを、細胞、染色体、遺伝子などのさまざまな視点から理解を深めることをめざします。	有性生殖では多様な個体が生じるのか。細胞分裂、染色体、遺伝子などのさまざまな視点から学習します。
10	3. 動物の発生 4. 動物の発生における形態形成のしくみ 5. 植物の発生	両生類の胚の研究で明らかにされたしくみや遺伝子について理解を深めることを目標とします。  動物の発生のしくみと比較しながら、被子植物の生殖と発生・分化について、その特徴やしくみを理解することを目標とします。	調和のとれた胚構造をつくる形成体について学び、交換移植実験の結果を考察しながら学習します。  被子植物の配偶子形成の過程と、重複受精を行い胚を形づくっていくしくみを学習します。
11	第3編 生物の環境応答 第5章 生物の環境応答 1. 植物の環境応答 2. 動物の環境応答	植物がその一生を通して環境要因を感じ取り、適切に反応していることを、植物ホルモンの分泌とその作用を中心に理解することを目標とします。  中枢、運動神経が骨格筋をどのようにコントロールしているのか、そのしくみについて理解することを目標とします。	植物の生涯に起こる発芽や成長、開花、結実などの様々な現象を取り上げて、そのしくみを学習します。  刺激の頻度を変化させると、筋収縮にどのような違いが生じるかを学習します。
12			
1	3. 動物の行動	動物の行動を「メカニズム」「発達」「機能」「進化」の4つのアプローチからとらえ、理解することを目標とします。	具体的な行動を例に挙げて、そのパターンを分類します。
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	生物	4	文理(理系)	3	選	高等学校改訂生物 (第一)	セミナー生物基礎＋生物 (第一) スクエア最新図説生物 (第一)

学 習 目 標	「生物基礎」との関連を図りながら生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、疑問点を主体的に見出そうとする意欲を持ち、生物学的に探究する能力と態度を身に付けることを目標とします。
学 習 方 法	教科書を中心に基礎学力の定着をめざして学習します。また、ペアワークなどを取り入れながら発表を行う機会を設け、言語活動を充実させて考える力やプレゼンテーション能力の向上をはかります。
学 習 評 価	定期考査を中心に、レポート、授業態度、小テスト、ノートを加味して総合的に評価します。

## 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 4. 動物の発生における形態形成のしくみ	両生類の胚の研究で明らかにされたしくみや遺伝子について理解を深めることを目標とします。	調和のとれた胚構造をつくる形成体について学び、交換移植実験の結果を考察しながら学習します。
5	5. 植物の発生	動物の発生のしくみと比較しながら、被子植物の生殖と発生・分化について、その特徴やしくみを理解することを目標とします。	被子植物の配偶子形成の過程と、重複受精を行い胚を形づくっていくしくみを学習します。
6	第3編 生物の環境応答 第5章 生物の環境応答 1. 植物の環境応答	植物がその一生を通して環境要因を感じ取り、適切に反応していることを、植物ホルモンの分泌とその作用を中心に理解することを目標とします。	植物の生涯に起こる発芽や成長、開花、結実などの様々な現象を取り上げて、そのしくみを学習します。
7			
9	2. 動物の環境応答 3. 動物の行動	中枢、運動神経が骨格筋をどのようにコントロールしているのか、そのしくみについて理解することを目標とします。  動物の行動を「メカニズム」「発達」「機能」「進化」の4つのアプローチからとらえ、理解することを目標とします。	刺激の頻度を変化させると、筋収縮にどのような違いが生じるかを学習します。 具体的な行動を例に挙げて、そのパターンを分類します。
10	第4編 生態と環境 第6章 生物群集と生態系 1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産 3. 生態系と生物多様性	生物の個体数が変動したり安定したりするしくみを、種内や種間での関係、および環境の影響に注目しながら理解を深めることを目標とします。  生態系における有機物の生産やエネルギーの流れと生物のかかわりについて理解を深めることを目標とします。  生物多様性はなぜ必要なのかを科学的に理解し、その保全の重要性を理解することを目標とします。	個体どうしの関係性が個体群の特徴に反映されていることを、身近な具体例を挙げながら考え学習します。 生産構造図や生態ピラミッドなど、図説を用いて視覚的に捉え学習します。 生態系の中での人間と生物のかかわりも含めながら学習します。
11	第5編 生物の進化と系統 第7章 生物の進化 1. 進化のしくみ 2. 生物の起源と生物の変遷	生物の形質が世代を経るにつれて変化していく進化のしくみについて理解を深めることを目標とします。  現在地球上にみられる多種多様な生物が、誕生後、どのような変遷をたどったか理解することを目標とします。	生物進化は突然変異や自然選択、遺伝的浮動によって起こることを資料から読み取ることで学習します。 生命の誕生とその後の生物進化を、環境状況の変化と関連づけて学習します。
12			
1	第8章 生物の系統 1. 生物の分類の変遷と系統 2. 生物の系統関係	生物の進化の道筋と、地球に生きる生物の多様性との関係について理解を深めることを目標とします。	生物のDNAの塩基配列などを比較することで系統関係を調べながら学習します。
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	生物	3	文理(文系)	3	選	高等学校改訂生物 (第一)	スタディート生物 (第一)

学 習 目 標	「生物基礎」との関連を図りながら生物や生物現象をさらに広範囲に取り扱い、疑問点を主体的に見出そうとする意欲を持ち、生物学的に探究する能力と態度を身に付けることを目標とします。
学 習 方 法	教科書を中心に、基本的な考え方や原理・法則の理解をめざして学習します。また、発表を行う機会を設けてプレゼンテーション能力の向上をはかるとともに、自分と異なる意見に対して議論し、考える力を養います。
学 習 評 価	定期考査を中心に、レポート、授業態度、小テスト、ノートを加味して総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 3. 動物の発生 4. 動物の発生における形態形成のしくみ	両生類の胚の研究で明らかにされたしくみや遺伝子について理解を深めることを目標とします。	調和のとれた胚構造をつくる形成体について学び、交換移植実験の結果を考察しながら学習します。
5	5. 植物の発生	動物の発生のしくみと比較しながら、被子植物の生殖と発生・分化について、その特徴やしくみを理解することを目標とします。	被子植物の配偶子形成の過程と、重複受精を行い胚を形づくっていくしくみを学習します。
6	第3編 生物の環境応答 第5章 生物の環境応答 1. 植物の環境応答	植物がその一生を通して環境要因を感じ取り、適切に反応していることを、植物ホルモンの分泌とその作用を中心に理解することを目標とします。	植物の生涯に起こる発芽や成長、開花、結実などの様々な現象を取り上げて、そのしくみを学習します。
7			
9	2. 動物の環境応答	中枢、運動神経が骨格筋をどのようにコントロールしているのか、そのしくみについて理解することを目標とします。	刺激の頻度を変化させると、筋収縮にどのような違いが生じるかを学習します。
10	3. 動物の行動 第4編 生態と環境 第6章 生物群集と生態系 1. 個体群と生物群集	動物の行動を「メカニズム」「発達」「機能」「進化」の4つのアプローチからとらえ、理解することを目標とします。 生物の個体数が変動したり安定したりするしくみを、種内や種間での関係、および環境の影響に注目しながら理解を深めることを目標とします。	具体的な行動を例に挙げて、そのパターンを分類します。 個体どうしの関係性が個体群の特徴に反映されていることを、身近な具体例を挙げながら考え学習します。
11	2. 生態系の物質生産	生態系における有機物の生産やエネルギーの流れと生物のかかわりについて理解を深めることを目標とします。	生産構造図や生態ピラミッドなど、図説を用いて視覚的に捉え学習します。
12			
1	3. 生態系と生物多様性	生物多様性はなぜ必要なのかを科学的に理解し、その保全の重要性を理解することを目標とします。	生態系の中での人間と生物のかかわりも含めながら学習します。
2			
3			



教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	生物	4	特進(理系)	3	選	高等学校改訂生物 (第一)	実践7校総合生物 (浜島) スクエア最新図説生物 (第一)

学 習 目 標	「生物基礎」との関連を図りながら生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、疑問点を主体的に見出そうとする意欲を持ち、生物学的に探究する能力と態度を身に付けることを目標とします。
学 習 方 法	教科書を中心に基礎学力の定着をめざして学習します。また、ペアワークなどを取り入れながら発表を行う機会を設け、言語活動を充実させて考える力やプレゼンテーション能力の向上をはかります。
学 習 評 価	定期考査を中心に、レポート、授業態度、小テスト、ノートを加味して総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 5. 植物の発生	動物の発生のしくみと比較しながら、被子植物の生殖と発生・分化について、その特徴やしくみを理解することを目標とします。	被子植物の配偶子形成の過程と、重複受精を行い胚を形づくっていくしくみを学習します。
5	第3編 生物の環境応答 第5章 生物の環境応答 1. 植物の環境応答	植物がその一生を通して環境要因を感じ取り、適切に反応していることを、植物ホルモンの分泌とその作用を中心に理解することを目標とします。	植物の生涯に起こる発芽や成長、開花、結実などの様々な現象を取り上げて、そのしくみを学習します。
6	2. 動物の環境応答	中枢、運動神経が骨格筋をどのようにコントロールしているのか、そのしくみについて理解することを目標とします。	刺激の頻度を変化させると、筋収縮にどのような違いが生じるかを学習します。
7			
9	3. 動物の行動  第4編 生態と環境 第6章 生物群集と生態系 1. 個体群と生物群集	動物の行動を「メカニズム」「発達」「機能」「進化」の4つのアプローチからとらえ、理解することを目標とします。 生物の個体数が変動したり安定したりするしくみを、種内や種間での関係、および環境の影響に注目しながら理解を深めることを目標とします。	具体的な行動を例に挙げて、そのパターンを分類します。 個体どうしの関係性が個体群の特徴に反映されていることを、身近な具体例を挙げながら考え学習します。
10	2. 生態系の物質生産  3. 生態系と生物多様性	生態系における有機物の生産やエネルギーの流れと生物のかかわりについて理解を深めることを目標とします。  生物多様性はなぜ必要なのかを科学的に理解し、その保全の重要性を理解することを目標とします。	生産構造図や生態ピラミッドなど、図説を用いて視覚的に捉え学習します。 生態系の中での人間と生物のかかわりも含めながら学習します。
11	第5編 生物の進化と系統 第7章 生物の進化 1. 進化のしくみ  2. 生物の起源と生物の変遷	生物の形質が世代を経るにつれて変化していく進化のしくみについて理解を深めることを目標とします。  現在地球上にみられる多種多様な生物が、誕生後、どのような変遷をたどったか理解することを目標とします。	生物進化は突然変異や自然選択、遺伝的浮動によって起こることを資料から読み取ることで学習します。 生命の誕生とその後の生物進化を、環境状況の変化と関連づけて学習します。
12			
1			
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	理科演習 (化学基礎演習)	2/4	特進(文系)	3	必	化学基礎 (数研)	大学入学共通テスト試験対策 チェック演習化学基礎 (数研) ゼミナル化学基礎(浜島)

学 習 目 標	「化学基礎」で学習した、化学の基本的な概念や原理・原則を復習して理解を深めるとともに、大学入学共通テスト試験および、私立大学入学試験に対応できる総合的な学力を身につけることを目標とします。
学 習 方 法	講義・問題演習・解説を中心とした学習を行います。
学 習 評 価	定期考査を中心に、授業態度、小テスト、本人の意欲・理解度を総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	物質の構成と化学結合 物質の構成 物質の構成粒子	物質を理解するための基礎として、原子・イオンについてその構造・表し方・関係を問題演習によって復習し、理解することをめざします。	講義を聴いて重要なポイントを理解し、副教材を使った問題演習を行います。また、ペアワークを取り入れて、多面的に学習します。
5	粒子の結合	問題演習によって粒子の結合の仕方を復習し、その種類・表し方・特徴的な性質を理解することをめざします。	
6	物質の変化 物質と化学反応式	物質の計算と化学反応式について問題演習によって復習し、理解することをめざします。	
7			
9	酸と塩基の反応	酸・塩基の定義を理解し、中和反応やその量的関係を復習し、理解することをめざします。	講義を聴いて重要なポイントを理解し、副教材を使った問題演習を行います。また、ペアワークを取り入れて、多面的に学習します。
10	酸化と還元	酸化還元反応の基本的概念を理解し、量的関係について復習し、理解することをめざします。	
11	大学入学共通テスト対策 過去問演習 模擬試験演習	大学入学共通テストの過去問題や模擬試験に取り組み、総合的な学力を身につけることをめざします。	
12			
1			入学試験の本番を想定して、緊張感を持った問題演習を行います。さらに、随時復習も行い、学習した内容を確実に理解し定着できるように取り組みます。
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
理科	理科演習 (生物基礎演習)	2/4	特進(文系)	3	必		大学入学共通テスト対策 チェック&演習生物基礎 (数研)

学 習 目 標	「生物基礎」の中心となる「免疫」と「生態系」を中心に、その理解を深め、他の分野との生物 的つながりを確認しながら総合的な学力を身につけることを目標とします。
学 習 方 法	基礎学力の定着を図り、問題演習とその解説を中心に、大学入学共通テストで必要となる幅広い 知識を身につけられるよう、復習を大切にしながら学習していきます。
学 習 評 価	定期考査を中心に、レポート、授業態度、小テストを加味して総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	第1部 生物の特徴	問題演習を中心に、生物の共通性と多様性の基礎を固め、理解を深めることを目標とします。	講義を聴いて重要なポイントを理解し、副教材を使った問題演習を行います。また、ペアワークを取り入れて、多面的に学習します。
5	第2部 細胞とエネルギー	問題演習を中心に、代謝とATPについての基礎を固め、理解を深めることを目標とします。	
6	第3部 遺伝子とその働き	問題演習を中心に、遺伝子の本体であるDNAの知識を定着させ、理解を深めることを目標とします。	
7	第4部 体内環境と恒常性	問題演習を中心に、血液成分や肝臓、腎臓の働きについて理解を深めることを目標とします。	
9	第5部 体内環境の維持の仕組み	問題演習を中心に、ホルモンや自律神経の基礎を固め、理解を深めることを目標とします。	
10	第6部 免疫	問題演習を中心に、生体防御の仕組みについての基礎を固め、理解を深めることを目標とします。	副教材を使った問題演習を行います。また、ペアワークを取り入れて、多面的に学習します。さらに、随時復習も行い、学習した内容を確実に理解し定着できるように取り組みます。
11	第7部 植生の多様性と分布	問題演習を中心に、気候条件の違いによって成立するバイオームの基礎を固め、理解を深めることを目標とします。	
12	第8部 生態系とその保全	問題演習を中心に、生態系についての基礎を固め、理解を深めることを目標とします。	
1	大学入学共通テスト対策 過去問演習	共通テストの過去問題や模擬試験に取り組み、総合的な学力を身につけることをめざします。	
2	模擬試験演習		
3			

# 保 健 体 育 科

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
保健体育	体育	2	全	1・2	必修		

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
学習方法	実態に応じて、今ある力で運動の楽しさや喜びを味わうとともに、高めた力に応じて新しい工夫を加えてゲームや競技を行い、どの程度達成されたか自分で確認できるようにします。					
評価の観点及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを目的や状況に応じて他者に伝えている。		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	体づくり運動	体づくり運動	<b>【知】</b> 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ※「体づくり運動」の体はぐしゝの運動は、技能の習得・向上をねらいとするものでないこと、実生活に生かす運動の計画は、運動の計画を立てることが主な目的となることから、「技能」の評価規準は設定していない。 <b>【思】</b> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、授業中の発言	教師による行動観察や、授業中の発言、生徒による自己評価や相互評価
	器械運動	マット運動 跳び箱運動	<b>【知】</b> 技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解している。 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。 <b>【思】</b> 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讀えようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。			
2	球技	バレーボール ソフトボール バスケットボール サッカー バドミントン	<b>【知】</b> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 <b>【思】</b> 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、授業中の発言	教師による行動観察や、授業中の発言、生徒による自己評価や相互評価
3	陸上競技	持久走	<b>【知】</b> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 <b>【思】</b> 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト
	体育理論	体育理論	<b>【知】</b> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価規準は設定していない。 <b>【思】</b> スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 <b>【主】</b> スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
保健体育	武道【剣道】	1	全	1・2	必(選)		

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
学習方法	剣道の技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。 ①相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすること。 ②相手の動きの変化に応じた基本動作、既習技や新たな基本となる技の技能の上達を踏まえて、しかけ技や応じ技を用いた自由練習や簡易な試合で攻防を展開することができるようにする。				
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを目的や状況に応じて他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	武道(剣道)	1. 礼法 2. 着装 3. 基本動作 4. 足さばき 5. 基本打突	<b>【知】</b> ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。 ・剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすること。 <b>【思】</b> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、授業中の発言	教師による行動観察や、授業中の発言、生徒による自己評価や相互評価
2	武道(剣道)	1. 二段の技 2. 引き技 3. 応用技1 4. 応用技2	<b>【知】</b> ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。 ・剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすること。 <b>【思】</b> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、授業中の発言	教師による行動観察や、授業中の発言、生徒による自己評価や相互評価
3	武道(剣道)	1. 基本打突 2. 応用技1～3 3. 試合練習 4. 試合	<b>【知】</b> ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。 ・剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすること。 <b>【思】</b> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
保健体育	武道【柔道】	1	全	1・2	必(選)		

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
学習方法	剣道の技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。 ①相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすること。 ②相手の動きの変化に応じた基本動作、既習技や新たな基本となる技の技能の上達を踏まえて、しかけ技や応じ技を用いた自由練習や簡易な試合で攻防を展開することができるようにする。				
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを目的や状況に応じて他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	武道(柔道)	1. 礼法 2. 着装 3. 基本動作 4. 受け身1 5. 受け身2	<b>【知】</b> ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。 ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすること。 <b>【思】</b> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、授業中の発言	教師による行動観察や、授業中の発言、生徒による自己評価や相互評価
2	武道(柔道)	1. 寝技1 2. 寝技2 3. 投げ技1 4. 投げ技2	<b>【知】</b> ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。 ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすること。 <b>【思】</b> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、授業中の発言	教師による行動観察や、授業中の発言、生徒による自己評価や相互評価
3	武道(柔道)	1. 連絡技1 2. 連絡技2 3. 試合練習 4. 試合	<b>【知】</b> ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。 ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすること。 <b>【思】</b> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <b>【主】</b> 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト	教師による行動観察や授業中のパフォーマンス、またはスキルテスト

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
保健体育	保健	1	全	1	必修	最新高等保健体育(大修館)	最新高等保健体育ノート(大修館)

学習目標	保健の見方・考え方を働かせて合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じ、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて舌の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学習方法	教科書、資料などを用い、日常生活の身近な例を多く提供し、生徒がじっくり考え、自ら進んで試みるなど主体的に活動する機会や場面を多く取り入れられるよう、ブレインストーミング、ロールプレイ、プレゼンテーションなどのワークショップを行います。また、実験や体験学習、調べ学習などを行います。			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを目的や状況に応じて他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、健康を大切にし、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	現代社会と健康	1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康	<b>【知】</b> 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 <b>【思】</b> 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 <b>【主】</b> 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	ペーパーテスト	ペーパーテスト、授業中の発言やレポートの作成、発表、グループでの話し合いなど	ノートやレポート等における記述、授業中の発言や発表、教師による行動観察や生徒による自己評価や相互評価等
2	現代社会と健康	7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康 9. 喫煙と健康 10.飲酒と健康 11.薬物乱用と健康 12.精神疾患の特徴 13.精神疾患の予防	<b>【知】</b> 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 <b>【思】</b> 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 <b>【主】</b> 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	ペーパーテスト	ペーパーテスト、授業中の発言やレポートの作成、発表、グループでの話し合いなど	ノートやレポート等における記述、授業中の発言や発表、教師による行動観察や生徒による自己評価や相互評価等
3	現代社会と健康	14.精神疾患からの回復 15.現代の感染症 16.感染症の予防 17.性感染症・エイズとその予防 18.健康に関する意思決定・行動選択 19.健康に関する環境づくり	<b>【知】</b> 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。 <b>【思】</b> 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 <b>【主】</b> 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	ペーパーテスト	ペーパーテスト、授業中の発言やレポートの作成、発表、グループでの話し合いなど	ノートやレポート等における記述、授業中の発言や発表、教師による行動観察や生徒による自己評価や相互評価等



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
保健体育	保健	1	全	2	必修	最新高等保健体育(大修館)	最新高等保健体育ノート(大修館)

学習目標	保健の見方・考え方を働かせて合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じ、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて舌の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
学習方法	教科書、資料などを用い、日常生活の身近な例を多く提供し、生徒がじっくり考え、自ら進んで試みるなど主体的に活動する機会や場面を多く取り入れられるよう、ブレインストーミング、ロールプレイ、プレゼンテーションなどのワークショップを行います。また、実験や体験学習、調べ学習などを行います。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを目的や状況に応じて他者に伝えている。		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、健康を大切にし、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	安全な社会生活 生涯を通じる健康	1. 事故の現状と発生要因 2. 安全な社会の形成 3. 交通における安全 4. 応急手当の意義とその基本 5. 日常的な応急手当 6. 心肺蘇生法 7. ライフステージと健康 8. 思春期と健康	<b>【知】</b> 誰もが教授するべき安全について交通事故だけではなくその他の自己や自然災害、犯罪などへの備えを理解している。応急手当に関する知識や技能を持ち安全社会づくりのために必要なことを理解している。 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理および環境づくりが関わっていることを理解している。労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理および安全管理をする必要があることを理解している。 <b>【思】</b> 安全な社会生活や生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 <b>【主】</b> 安全な社会生活や生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	ベーパーテスト	ベーパーテスト、授業中の発言やレポートの作成、発表、グループでの話し合いなど	ノートやレポート等における記述、授業中の発言や発表、教師による行動観察や生徒による自己評価や相互評価等
2	生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり	9. 性意識と性行動の選択 10. 妊娠・出産と健康 11. 避妊法と人工妊娠中絶 12. 結婚生活と健康 13. 中高年期と健康 14. 働くことと健康 15. 労働災害と健康 16. 健康的な職業生活 17. 大気汚染と健康 18. 水質汚濁、土壌汚染と健康	<b>【知】</b> 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理および環境づくりが関わっていることを理解している。労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理および安全管理をする必要があることを理解している。健康に生きていくために周囲の自然環境や食品に関する健康問題や社会制度や保健活動の社会環境のあり方を理解している。環境・食品と健康との関係を学び社会全体の健康を守るため環境づくりに参加する意義やその方法について理解している。 <b>【思】</b> 生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 <b>【主】</b> 生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	ベーパーテスト	ベーパーテスト、授業中の発言やレポートの作成、発表、グループでの話し合いなど	ノートやレポート等における記述、授業中の発言や発表、教師による行動観察や生徒による自己評価や相互評価等
3	健康を支える環境づくり	19. 環境と健康にかかわる対策 20. ごみの処理と上下水道の整備 21. 食品の安全性 22. 食品衛生にかかわる活動 23. 保健サービスとその活用 24. 医療サービスとその活用 25. 医薬品の制度とその活用 26. さまざまな保健活動や社会的対策 27. 健康に関する環境づくりと社会参加	<b>【知】</b> 健康に生きていくために周囲の自然環境や食品に関する健康問題や社会制度や保健活動の社会環境のあり方を理解している。環境・食品と健康との関係を学び社会全体の健康を守るため環境づくりに参加する意義やその方法について理解している。 <b>【思】</b> 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 <b>【主】</b> 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	ベーパーテスト	ベーパーテスト、授業中の発言やレポートの作成、発表、グループでの話し合いなど	ノートやレポート等における記述、授業中の発言や発表、教師による行動観察や生徒による自己評価や相互評価等

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
保体	体育	3	標準 文理	3	必		

学 習 目 標	集団的な行動の仕方を身につけ、各種運動の合理的な実践を通して、体力を高め、公正・協力・責任等の態度を育て、生涯を通して継続的に運動する資質や能力を育てます。
学 習 方 法	実態に応じて、今ある力で運動の楽しさや喜びを味わうとともに、高めた力に応じて新しい工夫を加えてゲームや競技力を行い、どの程度達成されたか自分で確認できるようにします。
学 習 評 価	授業に取り組む姿勢と各種目の到達目標に対しての到達度を評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	集団行動	集合・整列・列の増減・方向転換の動作とラジオ体操を身に付けます。	集団としての行動の仕方を学び、練習します。
5	新体力診断テスト バレーボール ソフトボール	基本技能を習得し、協力してゲームができる力を身に付けます。	バレーボール・ソフトボールの基本技能の習得します。また、簡易ゲームから段階を追ってゲームを行います。
6			
7			
9	サッカー バドミントン	基本技能を習得し、協力してゲームができる力を身に付けます。	サッカー・バドミントンの基本技能の習得します。また、簡易ゲームから段階を追ってゲームを行います。
10			
11	バスケットボール	基本技能を習得し、協力してゲームができる力を身に付けます。	バスケットボールの基本技能の習得します。また、簡易ゲームから段階を追ってゲームを行います。
12			
1	長距離走	タイム測定を行い、体力を高めます。	毎時間、男子5km、女子4kmを走ります。
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
保体	体育	2	特進	3	必		

学 習 目 標	集団的な行動の仕方を身につけ、各種運動の合理的な実践を通して、体力を高め、公正・協力・責任等の態度を育て、生涯を通して継続的に運動する資質や能力を育てます。
学 習 方 法	実態に応じて、今ある力で運動の楽しさや喜びを味わうとともに、高めた力に応じて新しい工夫を加えてゲームや競技力を行い、どの程度達成されたか自分で確認できるようにします。
学 習 評 価	授業に取り組む姿勢と各種目の到達目標に対しての到達度を評価します。

#### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	集団行動	集合・整列・列の増減・方向転換の動作とラジオ体操を身につけます。	集団としての行動の仕方を学び、練習します。
5	新体力診断テスト バレーボール ソフトボール	基本技能を習得し、協力してゲームができる力を身に付けます。	バレーボール・ソフトボールの基本技能の習得します。また、簡易ゲームから段階を追ってゲームを行います。
6			
7			
9	サッカー バドミントン	基本技能を習得し、協力してゲームができる力を身に付けます。	サッカー・バドミントンの基本技能の習得します。また、簡易ゲームから段階を追ってゲームを行います。
10			
11	バスケットボール  長距離走	基本技能を習得し、協力してゲームができる力を身に付けます。  タイム測定を行い、体力を高めます。	バスケットボールの基本技能の習得します。また、簡易ゲームから段階を追ってゲームを行います。  毎時間、男子5km、女子4kmを走ります。
12			
1			
2			
3			

# 芸 術 科

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
芸術	音楽Ⅰ	2	全	1	選択	MOUSA1(教育芸術社)	NEW MUSIC NOTE(教育芸術社)

学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育みます。				
学習方法	歌唱、器楽、鑑賞、創作の活動を通して、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、自己のイメージをもって表現したり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりします。				
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	(知識) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 (技能) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。		音楽を形づけている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	【歌唱】曲にふさわしい発声などの技能を身に付けるとともに、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う	【知】(知識)曲想と歌詞との関わりについて理解している。 (技能)創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、音楽の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思】音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで、感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】曲想と歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、歌唱パフォーマンス	活動の様子、歌唱パフォーマンス、ノート	活動の様子、提出物、学習記録表、自己評価や相互評価
	表現を工夫して合唱をしよう	【歌唱】各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫して合唱をする	【知】(知識)様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 (技能)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】合唱による表現の特徴、及び各パートの役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子	活動の様子、ノート	
	器楽アンサンブルを楽しもう	【器楽】各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫して器楽アンサンブルをする	【知】(知識)曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 (技能)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、及び器楽アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、器楽パフォーマンス	活動の様子、器楽パフォーマンス、ノート	
	音楽を形づけている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	【鑑賞】声やさまざまな楽器が生み出す響きやその特徴が、どのような要素やそれらの働きによってもたらされているのかを探るとともに、音楽のよさや美しさを味わう	【知】(知識)曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思】音色、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、ノート	活動の様子、ノート	
2	表現を工夫してウクレレを演奏しよう	【器楽】ウクレレの奏法を身に付けるとともに、曲想と楽器の音色や奏法との 関わりを理解し、表現を工夫して演奏する	【知】(知識)曲想とウクレレの音色や奏法との関わりについて理解している。 (技能)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思】音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】曲想とウクレレの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、器楽パフォーマンス	活動の様子、器楽パフォーマンス、ノート	活動の様子、提出物、学習記録表、自己評価や相互評価
	世界の諸民族の音楽を知ろう	【歌唱・鑑賞】世界の諸民族の音楽を、声や楽器に着目して鑑賞したり歌ったりしながら、その音色や表現の特徴を理解する	【知】(知識)世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 (技能)創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、アリアンやヨーデルにふさわしい発声、音楽の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思】音色、リズム、速度、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したことの関わりについて考えるときに、どのように歌うかについて表現意図をもったり、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 【主】世界の諸民族の音楽に関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子	活動の様子、ノート	
	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう	【器楽・鑑賞】和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、表現を工夫して演奏する	【知】(知識)和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 (技能)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思】音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したことの関わりについて考えるとともに、どのように演奏するかについて表現意図をもったり、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主】和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、器楽発表	活動の様子、器楽パフォーマンス、ワークシート	
3	能に親しもう	【鑑賞】能の音楽の特徴を理解するとともに、能の魅力を味わう	【知】(知識)能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び我が国や郷土の伝統音楽の種額とそれぞれの特徴について理解している。 【思】音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したことの関わりについて考えるとともに音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主】能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び我が国の伝統音楽について関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、ノート	活動の様子、ノート	活動の様子、提出物、学習記録表、自己評価や相互評価
	「コード進行」をもとにメロディをつくらう	【創作】多くの曲に用いられているコード進行をもとに、音のつなげ方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、イメージをもって創作する	【知】(知識)音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 (技能)創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。 【思】リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したことの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 【主】音を連ねたり重ねたりしたときの響きに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、作品	活動の様子、作品	
	J-POPや歌謡曲の特徴を理解して歌おう	【歌唱・鑑賞】J-POPや歌謡曲を取り上げ、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、イメージをもって歌うとともに、自分や社会と音楽との関わりを考える	【知】(知識)曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わり、及び音楽の特徴と文化的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 (技能)創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、音楽の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思】音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したことの関わりについて考えるとともに、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】J-POPや歌謡曲の特徴に関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子	活動の様子、ノート	

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
芸術	音楽Ⅱ	1	標準	2	選択	高校生の音楽2(教育芸術社)	高校生のための音楽研究ノート(教育芸術

学習目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育みます。					
学習方法	音楽Ⅰでの学習をもとに、音楽の諸活動を通して創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、個性豊かに表現したり、音楽を評価しながらより深く味わって聴いたりします。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	(知識)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 (技能)創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。		音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことに感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。		主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	歌詞に込められた思いを感じ取り、ふさわしい表現を工夫しよう	【歌唱】メッセージ性のある歌詞の内容を理解し、既習の発声の基本を生かして、曲にふさわしい歌い方や個性豊かな歌唱表現を創意工夫する	【知】(知識)曲想と音楽の構造や歌詞との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 (技能)創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思】音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことに感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 【主】発声の基本及び歌詞に込められているメッセージから歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、歌唱パフォーマンス、ノート	活動の様子、歌唱パフォーマンス、ノート	活動の様子、提出物、学習記録表、自己評価や相互評価
	平家の特徴を感じ取ろう	【鑑賞】琵琶の伴奏で語る音楽作品である平家の語りを聴き、日本音楽の特徴について理解を深める	【知】(知識)音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、及び我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。 【思】音色、リズム、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことに感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、及び音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 【主】平家における琵琶と語りの関係に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、ノート	活動の様子、ノート	
	ウクレレのさまざまな奏法を学び、曲の雰囲気合った表現を工夫しよう	【器楽】《Stand By Me》で用いられているコードをウクレレで弾き、個性豊かな器楽表現を創意工夫する	【知】(知識)曲想と音楽の構造との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、及び曲想と楽器の音色や奏法との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 (技能)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思】音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことに感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 【主】ウクレレでコードやベースライン、メロディーの各ポジションを覚えたり、弾き語りをしたりすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、器楽パフォーマンス、ノート	活動の様子、器楽パフォーマンス、ノート	
2	ポピュラー音楽の魅力を探索しよう	【鑑賞】ポピュラー音楽のメロディーやリズム、コード進行に注目して、自分の好きなポピュラー音楽の魅力に深く迫る	【知】(知識)曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 【思】音色、リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことに感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、及び自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 【主】ポピュラー音楽の魅力をメロディー、リズム、コード進行などの視点から探索することに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、発表、ワークシート	活動の様子、発表、ワークシート	活動の様子、提出物、学習記録表、自己評価や相互評価
	作曲当時の社会背景を理解して、ウクレレの表現を工夫しよう	【器楽】作曲の背景を理解して曲の雰囲気合った表現を創意工夫する	【知】(知識)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、及び曲想と楽器の音色や奏法との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 (技能)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思】リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことに感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 【主】ウクレレで曲の雰囲気にあった表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、器楽パフォーマンス	活動の様子、器楽パフォーマンス、ノート	
	箏を演奏しよう	【器楽・鑑賞】 縦譜の読み方や箏の構造、奏法を学び、表現を工夫して演奏する	【知】(知識)曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 (技能)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思】音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことに感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】箏や箏の音楽に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、器楽パフォーマンス	活動の様子、器楽パフォーマンス、ワークシート	
3	個性豊かに表現を工夫しながら音楽をつくらう	【創作】朗読、演劇、映像などに、場面のイメージに合ったメロディー系のBGMをつくって付ける	【知】(知識)音楽素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴や構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 (技能)創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や曲編をする技能を身に付け、創作で表している。 【思】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことに感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている 【主】メロディー系のBGMをつくることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	活動の様子、作品	活動の様子、作品	活動の様子、提出物、学習記録表、自己評価や相互評価
	各声部の動きを聴き合って、美しい響きを意識しながら合唱を楽しもう	【歌唱】各声部の役割に注意して、個性豊かな合唱表現を創意工夫する	【知】(知識)言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、及び様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 (技能)創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思】音色、リズム、旋律、強弱、テクスチャアを知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことに感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 【主】個性豊かな合唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	活動の様子、歌唱パフォーマンス	活動の様子、歌唱パフォーマンス、ワークシート	

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
芸術	美術 I	2	全	1	選択	美術1	

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
学習方法	作品制作や鑑賞活動などから、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く学びます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。		造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。		美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A+、A、B、C、C-の5段階）にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価基準	評価方法		
				知	思	主
1	身近なものを描く	スケッチブックに「手」や、「絵しりとり」などを描き、写生や表現とは何かを考える。	<b>【知】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 <b>【思】</b> 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じを深めたりしている。 <b>【主】</b> 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・作品への取り組み	・作品への取り組み ・ワークシートへの取り組み	・作品への取り組み ・ワークシートへの取り組み ・授業様子
	作家の生涯と作品 パブロ・ピカソ	美術史を学ぶと同時に作家の生涯と、その作品が世界に与えた影響を考える。	<b>【知】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 <b>【思】</b> 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じを深めたりしている。 <b>【主】</b> 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・ワークシートへの取り組み	・ワークシートへの取り組み	・ワークシートへの取り組み ・授業様子
2	アニメーションをつくる	美術史においてアニメの位置づけとその文化の影響を学び、アニメの構造を理解しバラバラ漫画を作成する。	<b>【知】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 <b>【思】</b> 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じを深めたりしている。 <b>【主】</b> 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・作品への取り組み	・作品への取り組み ・ワークシートへの取り組み	・作品への取り組み ・ワークシートへの取り組み ・授業様子
	作家の生涯と作品 葛飾北斎	美術史を学ぶと同時に作家の生涯と、その作品が世界に与えた影響を考える。	<b>【知】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 <b>【思】</b> 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じを深めたりしている。 <b>【主】</b> 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・ワークシートへの取り組み	・ワークシートへの取り組み	・ワークシートへの取り組み ・授業様子
	身近なものを描く	スケッチブックに「干支」をテーマに描き、日本文化とは何かを考える。	<b>【知】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 <b>【思】</b> 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じを深めたりしている。 <b>【主】</b> 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・作品への取り組み	・作品への取り組み ・ワークシートへの取り組み	・作品への取り組み ・ワークシートへの取り組み ・授業様子
3	文様で飾る	スケッチブックに「アボリジニアート」をテーマに描き、文化とは何かを考える。	<b>【知】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 <b>【思】</b> 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じを深めたりしている。 <b>【主】</b> 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・作品への取り組み	・作品への取り組み ・ワークシートへの取り組み	・作品への取り組み ・ワークシートへの取り組み ・授業様子

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
芸術	美術Ⅱ	1	標準	2	選択	美術2	

学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指します。また、課題やその作品の意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにします。					
学習方法	作品制作や鑑賞活動などから、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く学びます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。</li> <li>創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。</li> </ul>		造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。		美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	トータルデザインを考える	生活の中にあふれているデザインなどに注目し、伝えたいイメージをもとに、形や色、表現を意識したデザインを考える。 また、ユニバーサルデザイン、バリアフリーなどを学び、デザイナーの仕事や働き方を実際にデザイナーにインタビューする。	<b>【知】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 <b>【思】</b> 目的や、条件など、美しさを考えるときに、デザインの機能や効果を発想し、構想を練り、深めたりしている。 <b>【主】</b> 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・作品への取り組み  ・ワークシートやプレゼンテーションへの取り組み	・作品への取り組み  ・ワークシートやプレゼンテーション	・作品への取り組み  ・ワークシートへの取り組みやプレゼンテーションへの取り組み  ・授業態度
2	トータルデザインを考える	作品の鑑賞や、世界状況など幅広い中からグループワークでテーマを生成し、イメージを捉え創造的な表現をプレゼンボードなどで制作する。	<b>【知】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 <b>【思】</b> 目的や、条件など、美しさを考えるときに、デザインの機能や効果を発想し、構想を練り、深めたりしている。 <b>【主】</b> 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・作品への取り組み  ・ワークシートやプレゼンテーション	・作品への取り組み  ・ワークシートやプレゼンテーション	・作品への取り組み  ・ワークシートへの取り組みやプレゼンテーションへの取り組み  ・授業態度
3	問題解決のためのデザイン	社会で起きているさまざまな問題に目を向け、ジュースパックを例に形や色、材料を工夫して解決のためのデザインを考える。	<b>【知】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 <b>【思】</b> 目的や、条件など、美しさを考えるときに、デザインの機能や効果を発想し、構想を練り、深めたりしている。 <b>【主】</b> 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・作品への取り組み  ・ワークシートやプレゼンテーション	・作品への取り組み  ・ワークシートやプレゼンテーション	・作品への取り組み  ・ワークシートへの取り組みやプレゼンテーションへの取り組み  ・授業態度



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
芸術	書道Ⅰ	2	全	1	選択	書道Ⅰ(光村図書)	硬筆レッスン帳(教育図書)

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育みます。					
学習方法	古典の臨書を通して基本的な用筆・運筆や文字の形の取り方を学びながら、書のよさや美しさを味わい、個性を生かした創作活動をしていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	(知識) 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 (技能) 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。		書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。		主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	書写から書道へ	小・中学校の国語科書写で学習した内容を振り返るとともに、芸術科書道との違いを知る	【知】(知識)書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 【主】書写での学習を主体的に振り返るとともに、書の幅広い表現に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。	用筆・運筆の様子、作品、学習記録	活動の様子、作品、学習記録	活動の様子(用具・用材の扱いを含む)、提出物、自己評価や相互評価
	篆刻	姓名印の制作		活動の様子、作品、学習記録	活動の様子、印稿、学習記録	
	文字の造形を学ぶ(行書)	蘭亭序		用筆・運筆の様子、作品、学習記録	活動の様子、作品、学習記録	
2	文字の造形を学ぶ(楷書)	牛軋造像記 鄭義下碑 初唐の三大家とその書	【知】(知識)線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(技能)古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質・字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 【思】作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えるとともに、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【主】書き手による書風の違いに関心をもち、主体的に楷書の幅広い表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	用筆・運筆の様子、作品、学習記録	活動の様子、作品、学習記録	活動の様子(用具・用材の扱いを含む)、提出物、自己評価や相互評価
	創作する	漢字作品の制作				
	心に響く言葉を書く	漢字仮名交じりの書				
3	文字の造形を学ぶ(仮名)	仮名の成立と種類 仮名の筆使い 平仮名 変体仮名 蓬葉切	【知】(知識)仮名の成立、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(技能)古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 【思】作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えるとともに、古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【主】我が国の伝統的な書的美を感じ、主体的に仮名の書の幅広い表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	用筆・運筆の様子、作品、学習記録	活動の様子、作品、学習記録	活動の様子(用具・用材の扱いを含む)、提出物、自己評価や相互評価
	生活の中の書	身の回りの書について考える 封筒・はがき・表書き				
	生活の中の書(全学期)	硬筆		硬筆レッスン帳、提出物	活動の様子、硬筆レッスン帳、提出物	活動の様子、硬筆レッスン帳、提出物

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
芸術	書道Ⅱ	1	標準	2	選択	書道Ⅱ(光村図書)	硬筆レッスン帳(教育図書)

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育みます。					
学習方法	書道Ⅰでの学習をもとに、さらに幅広い古典の臨書を通して書写能力を養いながら、個性を生かした創作活動をしていきます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	(知識) 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 (技能) 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。		書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。		主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	篆書 隷書 草書 行書	泰山刻石 乙瑛碑・曹全碑 真草千字文・書譜 風信帖	【知】(知識)各書体の特質とその歴史について理解を深めるとともに、漢字の書を構成する様々な要素や、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 (技能)古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質・字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 【思】作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるとともに、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【主】書体や古典特有の特徴に着目し、主体的に漢字の書の創造的な表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	用筆・運筆の様子、作品、学習記録	活動の様子、作品、学習記録	活動の様子(用具・用材の扱いを含む)、提出物、自己評価や相互評価
	楷書	九成宮醴泉銘	【知】(知識)線質・字形・構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めるとともに、漢字の書を構成する様々な要素や、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 (技能)古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 【思】作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるとともに、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【主】書のよさや美しさをもたらす諸要素に着目し、主体的に漢字の書の創造的な表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			
2	文字の造形を学ぶ(仮名)	仮名の成立と種類 仮名の筆使い 平仮名 変体仮名 蓬莱切	【知】(知識)仮名の成立、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 (技能)古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 【思】古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えるとともに、古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【主】我が国の伝統的な書の美を感じ、主体的に仮名の書の幅広い表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	用筆・運筆の様子、作品、学習記録	活動の様子、作品、学習記録	活動の様子(用具・用材の扱いを含む)、提出物、自己評価や相互評価
	創作する	漢字作品の制作	【知】(知識)漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 (技能)古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思】表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 【主】表現のねらいを明確にし、主体的に漢字の書の創造的な表現活動に取り組もうとしている。			
3	古典の書風を生かそう	漢字仮名交じりの書	【知】(知識)線質・字形・構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めるとともに、漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 (技能)目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思】創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるとともに、目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 【主】イメージの違いや表現の工夫によって多彩な書の表現が生まれることに関心をもち、主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	用筆・運筆の様子、作品、学習記録	活動の様子、作品、学習記録	活動の様子(用具・用材の扱いを含む)、提出物、自己評価や相互評価
	生活の中の書(全学期)	硬筆	【知】(技能)文字を正しく整えて、丁寧に書いている。 【思】自らの文字の特徴や良い点・改善すべき点について考え、読み手を意識した表現について構想し工夫している。 【主】小・中学校国語科書写で培ってきた書写能力をさらに高めるために、自らの文字と向き合い、主体的に硬筆の表現活動に取り組もうとしている。	硬筆レッスン帳、提出物	活動の様子、硬筆レッスン帳、提出物	活動の様子、提出物

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
芸術	音楽Ⅱ	1	標準	3	選	高校生の音楽2 (教育芸術社)	高校生のための音楽研究 ノート (教育芸術社)

学 習 目 標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。
学 習 方 法	音楽Ⅰでの学習をもとに、歌唱、器楽、創作、鑑賞の活動を通して、個性を生かした自己表現をしていきます。
学 習 評 価	授業の取り組み、実技テストや発表、提出物により評価します。 特に課題への意欲や関心、取り組む姿勢などに重点を置きます。

#### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	楽器の音色を工夫して合奏を楽しもう	各パートの役割に適した音色の楽器を選び、スウィングのリズムを感じてノリのよい合奏をする。	器楽
5	イタリア語のアリアを歌ってみよう	ベルカントの発声法とイタリア語の発音を学び、オペラのアリアを表情豊かに歌う。	歌唱・鑑賞
6	BGMをつくろう	メロディー、リズム、ハーモニーを理解し、それらを変化させ、場面の雰囲気合ったBGMをつくる。	創作・発表
7			
9	登場人物たちが音楽でどのように描写されているか理解しよう	オペラ『カルメン』に登場するカルメン、ホセ、ミカエラ、エスカミーリョのアリアの特徴を調べ、それらと音楽表現や性格描写との結び付きを理解して鑑賞する。	鑑賞
10	アンサンブルを楽しもう 音楽発表会準備	メロディー、伴奏、ベースラインを分担し、役割に合わせた音色や奏法で演奏する。 これまでの学習をもとに、個性を生かした発表をするために創意工夫する。クラスの特徴を生かした演奏をすることにより、自ら考える力、協力しハーモニーを生む力、それらを表現する力を伸ばす。	器楽 歌唱・器楽
11			
12			
1	発表会 まとめ	学習してきたことを生かして発表する。	発表、振り返り
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
芸術	美術Ⅱ	1	標準	3	選	美術Ⅱ (光村)	

学 習 目 標	美術の幅広い制作活動を通して、より深く美しいものを美しいと感じる心を育てます。
学 習 方 法	作業を通して、描写力を身に付け、色彩を学び、個性豊かに表現していきます。
学 習 評 価	学習態度、作品、提出物により評価します。 特に課題へのやる気や、取り組みなどに重点を置きます。

#### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	作品『問題を解決するデザイン』 (情報を視覚化するデザイン) (統一感のあるデザイン) (問題解決のデザイン)	生活に密接したデザインについて考察し、日常生活の中で問題を発見し、それら解決するデザインを考えます。	スケッチブックに鉛筆や、絵の具を使いデザインし、各自素材を探究しデザインを制作します。
5			
6			
7			
9	作品『現代の浮世絵』の制作 (シルクスクリーンの世界) (銅版画の世界) (身近な材料でつくる)	美術史的に西洋と日本の「美」の違いと共通点を作業を通しながらも発見していきます。かつ、優れた絵画表現に触れ、独自の絵画表現もできるようアレンジ力も身に付けます。また、ルネッサンスの銅版画と江戸時代の木版画についても学習します。	描写することと立体に触れることと、その中間に存在する「版画」に触れ、シルクスクリーン、エッチング、木版画等を制作します。
10			
11			
12			
1	アルヴァ・アアルトの生涯と作品 (作家の生涯と作品)	「用の美」について考え、制作します。	デザインについて考え、実際に制作し、使用します。
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
芸術	書道Ⅱ	1	標準	3	選	書道Ⅱ (光村図書)	硬筆レッスン帳 (教育図書)

学 習 目 標	①書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てます。 ②感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。 ③書の伝統と文化についての理解を深めます。
学 習 方 法	書道Ⅰでの学習をもとに、さらに幅広い古典の臨書を通して書写能力を養いながら、個性を生かした創作活動をしていきます。
学 習 評 価	授業での取り組み、作品、提出物により評価します。 特に、課題への意欲や取り組む姿勢に重点をおきます。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	姓名印を彫る(篆刻・刻字)	・用途やイメージに合わせて彫る。	一年を通して、 ①毛筆を用いて臨書作品や創作作品の制作をします。 ②硬筆テキストを用いて文字の形の取り方を学びます。 ③作品を鑑賞して感じたことを自分のことばでまとめ、意見交換をします。
5	写経をする(漢字の書)	・細筆(筆ペン)の使用に慣れ、字形を整えて書く。 ・集中力を高める。	
6			
7			
9	掛け軸を作る(漢字の書)	・全体の構成を工夫し、古典の書風をとらえて表現する。	
10	創作(漢字の書)	・イメージに合わせた表現の工夫をする。	
11	手紙を書く(生活の中の書)	・手紙や封筒の書き方について理解する。 ・これまで学習してきたことを、生活の中の書に生かす。	
12			
1	作品展示・まとめ	・展示作品を鑑賞し、これまでの学習を振り返る。	
2			
3			

# 外国語科

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	4	標準	1	必修	MY WAY English Communication Ⅰ (三省堂)	MY WAY English Communication Ⅰ ワークブック スタンダード版(三省堂)

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。					
学習方法	1. 授業時には英和辞典を持参してください、積極的に英和辞典を活用し、各lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 本文の内容を理解し、内容について意見を交わします。 5. CD等を活用して、英語を聞くことに慣れます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson 1 Proverbs Around the World	世界各地の特徴的なことわざについて、理解して考えを深める。	【知】動詞の時制、SVO(O=that節)に関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主】対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 2 Iwago Mitsuaki－An Animal Photographer	動物写真家である岩合光昭さんの生き方や考え方について、理解して考えを深める。	【知】助動詞、受け身に関する事項を理解している。 【思】読んで得られた情報などを参考にしながら、簡潔に書いて伝えている。 【主】インタビューを主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。			
	Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space	高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、理解して考えを深める。	【知】動名詞、to不定詞の用法に関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【主】新聞記事を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。			
	Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh	『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、理解して考えを深める。	【知】現在完了形、現在完了進行形、過去完了形に関する事項を理解している。 【思】高校生によるプレゼンテーションを読み取り、概要や要点を把握している。 【主】必要な情報をワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。			
2	Lesson 5 Endangered Languages	消滅の危機にある世界の言語について、理解して考えを深める。	【知】関係代名詞、It is ... to不定詞に関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【主】インタビューを主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 6 A Wheelchair Traveler	車いすユーザーである三代達也さんの世界旅行の経験について、理解して考えを深める。	【知】現在分詞・過去分詞の形容詞的用法、分詞構文、It is ... that ～ の表現に関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主】ブログを主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。			
	Lesson 7 The Fugees	難民の子どもたちのサッカーチームができた経緯について、理解して考えを深める。	【知】関係副詞、比較級・最上級に関する事項を理解している。 【思】読んで得られた情報などを活用しながら、自分の考えを書いて伝えている。 【主】必要な情報をワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。			
	Lesson 8 Avatar Robots	吉藤健太郎さんが開発した分身ロボットについて、理解して考えを深める。	【知】条件を表すif、仮定法過去、I wish ～、as if ～に関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【主】科学雑誌の記事を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。			
3	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination	児童文学作家の角野榮子さんの作品と想像力の関係について、理解して考えを深める。	【知】SVOIO2(O2＝how to ～)、SVO＋to不定詞、SVOC(C＝動詞の原形、現在分詞)に関する事項を理解している。 【思】物語によって心を動かされた経験について、伝える内容を整理し、意図を明確にしながら、書いて伝えている。 【主】必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 10 SDGs—Sustainable Development Goals	SDGsに関するさまざまな問題について、理解して考えを深める。	【知】プレゼンテーションによく使われる定型表現の意味や働きを理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、発表をするための原稿を書いている。 【主】必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	4	文理	1	必修	Vivid English Communication Ⅰ (第一学習社)	Vivid English Communication Ⅰ WORKBOOK(第一学習社)

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。					
学習方法	1. 授業時には英和辞典を持参してください、積極的に英和辞典を活用し、各lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 本文の内容を理解し、内容について意見を交わします。 5. CD等を活用して、英語を聞くことに慣れます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson1 #Share Your World	SNSは世界中の人たちとつながることができる便利なツールである。利用上の注意点も学ぶ。	【知】現在・過去・未来、助動詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】SNSのメリットやデメリットについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【主】英語でのSNSの投稿文の特徴を理解し、読み手に配慮して、わかりやすく投稿文を書くこととしている。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson2 I was Drinking Chocolate!	チョコレートの歴史は古い。チョコレートが食べられるようになるまでの歴史をひも解く。	【知】進行形、不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】チョコレートの歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【主】英語でのプレゼンテーションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく発表しようとしている			
	Lesson3 Inspiration on the Ice	羽生結弦選手の活躍の裏には苦難もあった。羽生選手のこれまでの人生をたどる。	【知】S+V+O(=that-節)、現在完了形、受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】羽生結弦選手の活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【主】英語でのインタビューの方法を理解しようとしている。			
2	Lesson4 Esports' Time Has Arrived	eスポーツは近年注目を集めている。プロゲーマーも登場し、可能性はますます広がっている。	【知】比較、S+V+O+to~不定詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】eスポーツの特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【主】映画での質問サイトの投稿文の特徴を理解しようとしている。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson5 Mansai, Kyogen Performer	狂言師の野村萬斎さんの活動は狂言だけにとどまらず、幅広い取り組みをしている。	【知】分詞、It is ...(for A) to~について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】野村萬斎さんの活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【主】英語での対話文の特徴を理解しようとしている。			
	Lesson6 In this Corner of the World	戦時下を生きる人々の生活を描いた『この世界の片隅に』。この作品を通して、ふつうの暮らしの尊さを学ぶ。	【知】現在完了進行形、関係代名詞(主格・目的格)、S+V+O(=疑問詞節)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】『この世界の片隅に』の特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【主】英語のシナリオの特徴を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく演じようとしている。			
	Lesson7 Should Stores Stay Open for 24 Hours?	現在では24 時間営業店舗はあちこちに見られる。はたして24時間営業することが本当に必要か。	【知】S+V+O+O(=that-節)、助動詞+受け身、関係代名詞what、過去完了形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】24時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【主】英語でのディスカッションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく話そうとしている。			
3	Lesson8 Our Future with Artificial Intelligence	AIは私たちの生活を便利にしてくれている。AIの仕組みを学び、共存のしかたを考える。	【知】some/others、分詞構文、関係副詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】AIの特徴や活用事例についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【主】英語で統計データを説明する際の注意点を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく説明しようとしている。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson9 Stop Microplastic Pollution!	マイクロプラスチックによる海洋汚染。SDGsとも深く結びついたこの問題について読む。	【知】S+V+O+C(=原形不定詞・現在分詞)、条件を表すif-節、仮定法過去について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】海洋プラスチック汚染についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【主】英語でのSNSの投稿文の特徴を理解しようとしている。			



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	4	特進	1	必修	LANDMARK English Communication Ⅰ (啓林館)	LANDMARK English Communication Ⅰ ワークブック スタンダード版 (啓林館)

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。					
学習方法	1. 授業時には英和辞典を持参してください。積極的に英和辞典を活用し、各lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 本文の内容を理解し、内容について意見を交わします。 5. CD等を活用して、英語を聞くことに慣れます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価 (A+、A、B、C、C-の5段階) にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定 (1～5の5段階) にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson1 Enjoy Your Journey!	新生活での新たな目標の見つけ方	【知】不定詞・動名詞に関する事項を理解している。 【思】コンクールの申込書の英文を読み、読んだことを基にしながら自分が挑戦したいことについて話して伝えようとしている。【主】高校生活における目標についての英文を読み、読んだことを基に自分の目標について伝えあうやりとりを続けることができる。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson2 Curry Travels around the World	はるかなるカレーの旅	【知】分詞の後置修飾・現在完了に関する事項を理解している。 【思】自分のカレー料理の好みについて、話して伝えようとしている。 【主】カレー料理の好みについて、自分の考えを伝えあうやり取りを続けることができる。			
	Lesson3 School Uniform	世界の制服事情	【知】受動態に関する事項を理解している。 【思】学校の制服着用について、自分の考えを話して伝えようとしている。 【主】学校の制服着用について賛成か反対か、自分の意見を伝えあうやり取りを続けることができる。			
	Lesson4 Eco-Tour on Yakushima	屋久島エコツアーを体験	【知】SVOCの受動態・関係副詞に関する事項を理解している。 【思】リーフレットから必要な情報を理解して、自分が参加したいエコツアーについて話して伝えようとしている。 【主】自分が訪ねてみたい世界遺産について、自分の考えを伝えあうやり取りを続けることができる。			
2	Lesson5 Bailey the Facility Dog	病院で働くファシリティードッグ、ペイリーについて	【知】現在完了形・SVO+to不定詞・使役動詞+O+原形不定詞・不定詞の意味上の主語に関する事項を理解している。 【思】高校生活で行うべき重要なことについて、自分の考えや気持ちなどを話して伝えようとしている。 【主】ペットを飼うことについて、自分の考えを伝えあうやり取りを続けることができる。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson6 Communication without Words	世界の国々の言葉を用いないコミュニケーション	【知】対比を表すwhile・難易を表す形容詞の修飾・前出の後の繰り返しを避けるthat・分詞構文に関する事項を理解している。 【思】海外の学校との違いについて、比較しながら情報や自分の考えを話して伝えようとしている。 【主】日常で使用するジェスチャーについて、自分の考えを伝えあうやり取りを続けることができる。			
	Lesson7 Dear World: Bana’s War	バナが世界に向けて発信したメッセージとは	【知】関係代名詞の非制限用法・関係副詞の非制限用法に関する事項を理解している。 【思】バナを励ますためにどのようなメッセージを送るか、自分の考えや気持ちを話して伝えようとしている。 【主】情報の入手手段としてインターネットを使うことについて賛成か反対か、自分の意見を伝えあうやりとりを続けることができる。			
	Lesson8 The Best Education to Everyone、Everywhere	社会起業家の思いと挑戦	【知】部分否定・知覚動詞+O+動詞の原形／現在分詞・目的を表すso thatに関する事項を理解している。 【思】自分のキャリアプランについて、自分の考えや気持ちを話して伝えようとしている。 【主】将来どのような社会問題を解決したいか、また自分のキャリアプランについて、自分の考えを相手に伝えあうやり取りを続けることができる。			
3	Lesson9 Space Elevator	エレベーターで宇宙へ？	【知】仮定法過去・倍数表現に関する事項を理解している。 【思】宇宙エレベーターで宇宙に行けるとしたら宇宙でどんなことをしたいか、自分の考えを話して伝えようとしている。 【主】宇宙について自分の関心のある事柄について、自分の考えや気持ちを伝え合うやり取りを続けることができる。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson10 Friendship over Time	トルコ軍艦エルトゥールル号の恩返し	【知】仮定法過去完了に関する事項を理解している。 【思】自分が住んでいる街を海外の姉妹都市に住んでいる人たちに紹介するためのイベントを企画し、そのイベントについての情報を話して伝えようとしている。 【主】外国に住む友人との交流について、自分の考えを伝え合うやり取りを続けることができる。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	標準	2	必修	MY WAY English Communication Ⅱ (三省堂)	MY WAY English Communication Ⅱ ワークブック スタンダード版 (三省堂)

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。					
学習方法	1. 授業時には英和辞典を持参してください。積極的に英和辞典を活用し、各lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 本文の内容を理解し、内容について意見を交わします。 5. CD等を活用して、英語を聞くことに慣れます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson 1 Dances Around the World	世界各地のさまざまなダンスについて、理解して考えを深める。	【知】SVO(O=that/what節)、SVO(O=if/whether節)などを用いた文構造について理解している。 【思】多様な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主】概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。	・考査 ・単元テスト	・考査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 2 Katsura Sunshine－Making the World Laugh	落語家である桂三輝さんの落語についての考え方や取り組み方について、理解して考えを深める。	【知】形式主語のit、形式目的語のitを用いた文構造について理解している。 【思】文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えている。 【主】主体的に考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりする。			
2	Lesson 3 Living with Nature－Takita Asuka's Journey	滝田明日香さんが行う野生動物の保護活動について、理解して考えを深める。	【知】現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を用いた文構造について理解している。 【思】多様な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主】文章の展開や書き手の意図を把握しようとしていたり、概要や要点、詳細を捉えようとしている。	・考査 ・単元テスト	・考査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 4 Sesame Street	『セサミストリート』に込められたメッセージについて、理解して考えを深める。	【知】SVOC(V=知覚動詞/使役動詞)、help＋O＋動詞の原形を用いた文構造について理解している。 【思】文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えている。 【主】概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。			
3	Lesson 5 From Landmines to Herbs	篠田ちひろさんのカンボジアでの活動について、理解して考えを深める。	【知】関係代名詞、前置詞＋関係代名詞、関係代名詞・関係副詞の非制限用法を用いた文構造について理解している。 【思】訪れたい世界遺産について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えている。 【主】多様な語句や文を用いて、主体的に考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりする。	・考査 ・単元テスト	・考査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Reading 1 The Little Prince	物語「星の王子さま」について、理解して考えを深める。	【知】これまでに学習した文法事項や表現について理解している。 【思】文章の展開を把握し、概要や要点、詳細を捉えている。 【主】物語の概要や要点、話の展開を、聞き取って捉えようとしている。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	文理	2	必修	Vivid English Communication II (第一学習社)	Vivid English Communication II WORKBOOK(第一学習社)

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。					
学習方法	1. 授業時には英和辞典を持参してください。積極的に英和辞典を活用し、各lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 本文の内容を理解し、内容について意見を交わします。 5. CD等を活用して、英語を聞くことに慣れます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson1 Japanese Athletes and English	日本人アスリートと英語	【知】進行形、受け身、S+V+C(＝現在分詞・過去分詞)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】整理した内容を活用して、日本人アスリートについてスピーチをすることができる。 【主】英語でのスピーチの方法を理解し、聞き手に配慮して、詳しく話そうとしている。	・考査 ・単元テスト	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 2 Our Beloved Yellow Fruit	バナナの特徴や危機	【知】seem to ～、It is … (for A) to ～、強調について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】整理した内容を活用して、好きな果物や野菜についてプレゼンテーションをし、質疑応答をすることができる。 【主】英語での対話文の特徴を理解しようとしている。聞き手に配慮して、詳しく発表しようとしている。			
2	Lesson 3 Preparing for Potential Risks	自然災害と防災	【知】It is +形容詞+that-節、完了形、完了形(受け身)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】整理した内容を活用して、ハザードマップから読み取ったことについてプレゼンテーションをすることができる。 【主】英語でのプレゼンテーションの方法を理解し、聞き手に配慮して、詳しく発表しようとしている。	・考査 ・単元テスト	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 4 To Make a More Open Society	国際化する日本の状況と開かれた社会に するために重要なこと	【知】S+V+O+O(＝名詞節)、関係代名詞(制限用法・非制限用法)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】整理した内容を活用して、文化交流イベントのポスターを作り、発表することができる。 【主】英語のポスターの特徴を理解し、読み手に配慮して、詳しくポスターを書こうとしている。			
3	Lesson 5 True Love between a Cat and a Dog	ネコのくうと犬のしのがともに過ごした時間と きずな	【知】群動詞(受け身)、進行形(受け身)、関係副詞(制限用法・非制限用法)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思】整理した内容を活用して、写真に合うくうとしのの会話を創作し、写真の説明を発表することができる。 【主】英語のブックレビューの特徴を理解しようとしている。聞き手に配慮して、詳しく写真の説明をしようとしている。	・考査 ・単元テスト	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	特進	2	必修	LANDMARK English Communication Ⅱ (啓林館)	LANDMARK English Communication Ⅱ ワークブック スタンダード版 (啓林館)

学習目標	外国語によるコミュにケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考え方などを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。					
学習方法	1. 積極的に辞書を活用し、各Lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各Lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各Lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 本文の内容を理解し、内容について意見を交わします。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	<b>【知識】</b> 英語の特徴や決まり事に関する事項を理解している。 <b>【技能】</b> コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文章を聞いたり読んだりしている。また情報や考えや気持ちを伝えたり書いたりしている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について必要な情報を読み取ったり聞き取ったりし、話の展開や要点を捉えている。また、論理性に注意して話し詳しく伝えたり、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えたりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的・自律的に話されることを聞いたり、読んだり、話したり、伝えようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson1 A swedish Girl's Discoveries in Japan	異文化理解・日本文化 「北欧女子が見つけた日本の不思議」	<b>【知】</b> 補語となる分詞に関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 自分が驚いた日本文化について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> 日本の看板や標識が抱える問題点や、その改善方法について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 <b>【知】</b> 比較(比較級/最上級)・未来完了に関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 自分の関心のある動物とその動物から学んだことについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> 気候変動の影響により絶滅の危機にある動物について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 <b>【知】</b> 倒置・形式目的語構文に関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 日本が誇れることについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> 先進的な日本の技術や製品について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。	・ <b>調査</b> ・単元テスト	・ <b>調査</b> ・バ ・パフォーマンス ・テスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度
	Lesson2 A Message from Emperor Penguins	動物・環境 「南極で暮らすコウテイペンギンからのメッセージ」				
	Lesson3 Tokyo's seven-minutes Miracle	職業・日本文化 「世界を驚かせた新幹線清掃チーム TESSEI」				
2	Lesson4 Seeds for the Future	環境・職業観 「絶滅に瀕するタネを守るために活動する高校生の取り組み」	<b>【知】</b> withを使った付帯状況・使役動詞に関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 固定種の利点についてF種と比較しながら、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> 固定種の利点についてF種と比較しながら、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 <b>【知】</b> 疑問詞で始まる疑問文・同格のthatに関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 日本語として使用されている英語の中から単語を選び、その単語の元々の意味と日本での使われ方について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> 英語または日本語における言葉の変化の実例について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 <b>【知】</b> 受動態の分詞構文・iを使う仮定法に関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 今後10年における観光客数の推移について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> ガウディ、もしくは外尾悦郎さんについて、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。	・ <b>調査</b> ・単元テスト	・ <b>調査</b> ・バ ・パフォーマンス ・テスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度
	Lesson5 Language Change over Time	言語・歴史 「時代とともに変化する言葉が持つ意味」				
	Lesson6 Gaudi and His Messenger	芸術・生き方 「建築家ガウディとその意思を継ぐ日本人彫刻家」				
3	Lesson7 Letter from a Battlefield	平和・家族愛 「硫黄島の戦いと兵士からの手紙」	<b>【知】</b> 複合関係代名詞・完了不定詞に関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 自分にとって特別な人に向けて書いた手紙の内容について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> 戦場からの手紙について書かれた文章をよんだ感想について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。	・ <b>調査</b> ・単元テスト	・ <b>調査</b> ・バ ・パフォーマンス ・テスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度
	Lesson8 Edo: A Sustainable Society	歴史・環境 「江戸時代のリサイクル社会」				
	Lesson9 Our Future with AI	科学・共生 「AI技術が切り開く未来」				
	Lesson10 Gender Equality Is Your Issue, Too	ジェンダー・共生 「エマ・ワトソンによるジェンダー平等についてのスピーチ」	<b>【知】</b> 関係代名詞の非限定用法・独立分詞構文に関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 日常生活の中で「もったいない!」と思うことについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> 製品の再利用の具体例について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 <b>【知】</b> 完了形の分詞構文・強調構文に関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 人間とAIの共存のためにどのような法律が必要か、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> 人間とAIの共存のためにどのような法律が必要か、について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 <b>【知】</b> 過去についての推量・as ifを使った仮定法に関する事項を理解している。 <b>【思】</b> 日本におけるジェンダーと平等の現状について10年間の間でどの程度改善されたか、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりができている。 <b>【主】</b> 自分の性・他人の性について深く考え、性とは何かを再確認し、人の個性について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。	・ <b>調査</b> ・単元テスト	・ <b>調査</b> ・バ ・パフォーマンス ・テスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	論理・表現 I	3	標準	2	必修	MY WAY Logic and Expression I (三省堂)	MY WAY Logic and Expression I ワークブック (三省堂)

学習目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。					
学習方法	1. 授業時には英和辞典を持参してください。積極的に英和辞典を活用し、各lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 文法事項を理解し、英語で自己表現(やり取り・発表・書く)ができるように練習します。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves	学校の場所や自分自身のことについて、基本的な語句や文を用いて、即興で事実などを尋ねたり、初対面のあいさつをしたり、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表したりする。	【知】be動詞の現在形の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、即興で事実などを尋ねたり、初対面のあいさつをしたりしている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 2 School Life	学校に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりする。	【知】動詞の過去形の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書こうとしている。			
	Lesson 3 The Arts	芸術に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、発表したりする。	【知】基本時制(現在形、過去形、未来表現)の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。			
	Lesson 4 Food and Culture	食に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりする。	【知】現在完了形(継続、完了、経験)、現在完了進行形の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書こうとしている。			
2	Lesson 5 Welcome to Our Town	旅行や地域の文化に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、発表したりする。	【知】助動詞、受動態の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 6 Traveling Abroad	旅行や海外の文化に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりする。	【知】不定詞(名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法)の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、正確に書こうとしている。			
	Lesson 7 Sports	スポーツに関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合ったり、それらを整理し、発表したりする。	【知】動名詞、分詞による後置修飾、分詞構文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合っている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。			
	Lesson 8 Everyday Technology	科学技術に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりする。	【知】比較(比較級、最上級、同等比較)の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書こうとしている。			
3	Lesson 9 Take Care	健康や体調に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合ったり、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表したりする。	【知】関係代名詞(主格、目的格、目的格の省略など)の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合っている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。	・調査 ・単元テスト	・調査 ・パフォーマンステスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 10 SDGs — Take Action!	SDGsに関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりする。	【知】関係副詞、仮定法の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。 【主】基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書こうとしている。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	論理・表現 I	3	文理	2	必修	Vision Quest English Logic and Expression I Standard（啓林館）	Vision Quest English Logic and Expression I Standard WORKBOOK（啓林館）

学習目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。					
学習方法	1. 授業時には英和辞典を持参してください。積極的に英和辞典を活用し、各lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 文法事項を理解し、英語で自己表現(やり取り・発表・書く)ができるように練習します。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価 (A+、A、B、C、C-の5段階) にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定 (1～5の5段階) にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson 1 I want to introduce my new friend.	初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。	【知】さまざまな疑問文や命令文、感嘆文を適切に作りそれに応答することができる。また、単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文で表現することができる。【思】部活動を紹介でき、校則や科目について理由や具体例を加えて説明できる。 【主】相手の発話に適切な応答をすることができる。また、理由を述べることができる。	・ <b>調査</b> ・単元テスト	・ <b>調査</b> ・パフォーマンステスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 2 Do you want to join our show?	学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。	【知】5つの文型とThere isの構文を理解し、文を組み立てることができる。また、注意すべき自動詞と他動詞の使い分けができる。 【思】文化祭に行く予定について話し合うことができ、普段の生活や自分の部屋にあるものについて、具体例や情報を挙げて説明することができる。 【主】賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。			
	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.	旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。	【知】基本時刻の構造と概念を理解し、伝えたことを適切な時刻を用いて、書いたり話したりすることができる。 【思】旅行の経験について詳細に話し、最近週末にしたことや予定していることについて、具体的に詳細を書いて伝えることができる。 【主】会話の相手を激励したり、励ましたりすることができる。			
	Lesson 4 Have you ever tried it before?	趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、伝え合ったりする表現を学ぶ。	【知】現在・過去・未来完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。 【思】スポーツや音楽の経験について伝え合い、行ったことのある場所や初めての経験について、考えや気持ち、具体例を挙げて、伝えることができる。 【主】これまでの/初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり伝えたりできる。			
	Lesson 5 What do you want to do after school?	将来や進路について、自分の意見や考えを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。	【知】動動詞のそれぞれの意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。 【思】将来の夢について伝え合うことができる。また、自分の主張に情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができる。 【主】会話の相手に許可を求めたり、依頼することができる。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省することができる。			
2	Lesson 6 Did you hear about the new shop?	日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び、自分の感情や物事を詳細に表現することができる。	【知】受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。 【思】自身の買い物について詳細に伝え、お薦めの小説や最近驚いたことについて、情報や考え、気持ちなどを適切に書いて伝えることができる。 【主】様々な表現を用いて、原因や影響について表現でき、喜びや驚きの感情を表すことができる。	・ <b>調査</b> ・単元テスト	・ <b>調査</b> ・パフォーマンステスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 7 I'm happy to have you with us.	誕生日会を舞台に繰り広げられる友人同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。	【知】不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。 【思】受け取った贈り物について詳細に伝えることができる。また、自分の意見や主張などを適切などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができる。 【主】感謝・謝罪・弁解する際の表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝えることができる。			
	Lesson 8 What sport do you like playing?	スポーツチームについて発話される会話からチームに誇ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。	【知】動名詞の様々な用法を学び動名詞句を用いた多様な文で伝えることができる。 【思】スポーツをすることの利点について発表することができる。 【主】相手を誇ったり、こちらから申し出たりする表現を使うことができ、相手に物事を適切に推薦することができる。			
	Lesson 9 Digital media has come a long way.	留学生とのやり取りから、メディアを通じたコミュニケーションについて意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。	【知】名詞を修飾する用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。 【思】自分自身や自身の性格について発表することができる。 【主】人や物事について情報を加えて詳しく説明することができる。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができる。			
	Lesson 10 That's why I decided to go back.	日本や他国の文化や習わしについて話されるやり取りから、日本特有の言葉や文化、また異文化について紹介したり、その違いについて述べる会話表現を学ぶ。	【知】関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。 【思】日本の文化や人たちについて紹介することができる。また、論理の展開を工夫しながら詳細に伝えたり、意見や主張の適切な理由や根拠とともに文章を書いて伝えることができる。 【主】人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約することができる。			
3	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones?	フェアトレード(公正取引)について話される会話から、物事を提案したり、相手の発言を称賛する仕方を学ぶ。	【知】比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。 【思】国際問題について自分の考えを伝え合うことができる。本と映画どちらに興味があるか、また最も幸せなときについて、自分の主張の理由や根拠を加えて、詳しく説明することができる。 【主】提案する表現や称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えができる。	・ <b>調査</b> ・単元テスト	・ <b>調査</b> ・パフォーマンステスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 12 I think it's a good idea.	日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝えたり、相手の助言を求める会話を学ぶ。	【知】仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。 【思】日本の社会問題について自分の意見を発表することができる。また、自分や家族に望むことについて、意見や主張の理由や根拠を具体的に示して、伝えることができる。 【主】助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりすることができる。また、願望を表し表現を使い自分の意志や要望を伝えることができる。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	論理・表現Ⅰ	2	特進	2	必修	be English Logic and ExpressionⅠ Clear (い い ず な 書 店)	Workbook, Grammar Book, Essential Grammar Book, My English Portfolio

学習目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。					
学習方法	1. 授業時には英和辞典を持参してください。積極的に英和辞典を活用し、各lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 文法事項を理解し、英語で自己表現(やり取り・発表・書く)ができるように練習します。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson 1 Meeting People	自分のことを話す・現在形・あいづちで関心を示す	【知】動詞の現在形を理解している。 【思】自分のことを詳しく伝えることができる。 【主】自分や身近な人のことを筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。	・考査 ・単元テスト	・考査 ・パフォーマンス テスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 2 Holidays and Weekends	休日・週末にしたことを話す・過去形・相手の発言を聞き直す	【知】動詞の過去形を理解している。 【思】過去の出来事を詳しく伝えることができる。 【主】過去の出来事について筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 3 Making Plans	予定について話す・未来の表現・詳しい情報をたずねる	【知】未来の表現の意味や働きを理解している。 【思】未来のことを詳しく伝えることができる。 【主】未来のことを筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 4 Travel	旅行について話す・現在完了形・話を切り出す	【知】動詞の現在完了形の意味や働きを理解している。 【思】旅先について詳しく伝えることができる。 【主】旅先について筋道を立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 5 Study and Activities	学習、課外活動について話す・過去完了形・相手に同意を求める	【知】動詞の過去完了形の意味や働きを理解している。 【思】達成した事柄を詳しく伝えることができる。 【主】達成した事柄を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 6 Food Culture	食文化について話す・助動詞①・お礼を言う	【知】可能的助動詞の意味や働きを理解している。 【思】習慣やマナーを詳しく伝えることができる。 【主】習慣やマナーを筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 7 School Life	学校生活について話す・助動詞②・理由をたずねる	【知】義務や確信の助動詞の意味や働きを理解している。 【思】学校の規則を詳しく伝えることができる。 【主】学校の規則を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 8 Daily Life	日常生活について話す・助動詞③・依頼を受け入れる、断る	【知】意志や水量の助動詞の意味や働きを理解している。 【思】イベント企画を詳しく伝えることができる。 【主】イベント企画を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 9 Transportation Issues	交通機関の問題について話す・受動態・話しかける	【知】受動態の意味や働きを理解している。 【思】交通の改善を詳しく伝えることができる。 【主】交通の改善を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
2	Lesson 10 Future Activities	将来したい活動について話す・不定詞①・励ます	【知】不定詞の名詞用法の意味や働きを理解している。 【思】将来の夢を詳しく伝えることができる。 【主】将来の夢を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。	・考査 ・単元テスト	・考査 ・パフォーマンス テスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 11 Staying Healthy	健康について話す・不定詞②・具合をたずねる	【知】不定詞の形容詞用法の意味や働きを理解している。 【思】病氣予防を詳しく伝えることができる。 【主】病氣予防を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 12 New Products	新しい製品について話す・不定詞③・勧誘する	【知】使役動詞、知覚動詞の意味や働きを理解している。 【思】製品の広告を詳しく伝えることができる。 【主】製品の広告を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 13 Hobbies and Interests	趣味、関心について話す・動名詞・同じだと言う	【知】動名詞の意味や働きを理解している。 【思】趣味や興味を詳しく伝えることができる。 【主】趣味や興味を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 14 The World of Nature	自然について話す・分詞①・感情を表す	【知】分詞の意味や働きを理解している。 【思】旅先のレビューを詳しく伝えることができる。 【主】旅先のレビューを筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 15 Trouble and Accidents	トラブル、事故について話す・分詞②・同情、共感を表す	【知】分詞構文の意味や働きを理解している。 【思】ニュース記事を詳しく伝えることができる。 【主】ニュース記事を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 16 Inventions	発明について話す・関係代名詞・感想をたずねる	【知】関係代名詞の意味や働きを理解している。 【思】発明品と機能を詳しく伝えることができる。 【主】発明品と機能を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 17 Cities and Towns	都市、町について話す・関係副詞・感情を伝える	【知】関係副詞の意味や働きを理解している。 【思】都市や町の魅力を詳しく伝えることができる。 【主】都市や町の魅力を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
	Lesson 18 Living Environment	生活環境について話す・比較①・存在を伝える	【知】比較表現の意味や働きを理解している。 【思】都会と地方の比較を詳しく伝えることができる。 【主】都市と地方の比較を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			
3	Lesson 19 Social Problems	社会問題について話す・比較②・提案する	【知】最上級の意味や働きを理解している。 【思】社会問題について詳しく伝えることができる。 【主】社会問題について筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。	・考査 ・単元テスト	・考査 ・パフォーマンス テスト	・提出物 ・言語活動に取り組む態度
	Lesson 20 Making a Wish	願ひ事について話す・仮定法・したいことを言う	【知】仮定法の意味や働きを理解している。 【思】今年度の反省と来年度の抱負を詳しく伝えることができる。 【主】今年度の反省と来年度の豊足を筋道立てて伝え、振り返りや改善ができる。			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	総合英語	2	特進	1	必修		総合英語 Evergreen(い い ず な 書店)

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。					
学習方法	1. 授業時には英和辞典を持参してください。積極的に英和辞典を活用し、各lessonに出てくる単語・熟語を調べて、読み方や意味を理解し、発音をします。 2. 各lessonに出てくる表現を使って会話をします。 3. 各lessonの文法事項を「総合英語 Evergreen」を活用して学びます。 4. 本文の内容を理解し、内容について意見を交わします。 5. CD等を活用して、英語を聞くことに慣れます。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 第2章	文の種類 動詞と文型	【知】様々な文の種類や文型に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	・ <b>考查</b> ・単元テスト	・ <b>考查</b> ・パフォーマンステスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度
	第3章	動詞と時制	【知】動詞と時制に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
	第4章	完了形	【知】完了形に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
	第5章	助動詞	【知】助動詞に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
2	第6章	態	【知】態に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	・ <b>考查</b> ・単元テスト	・ <b>考查</b> ・パフォーマンステスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度
	第7章	不定詞	【知】不定詞に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
	第8章	動名詞	【知】動名詞に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
	第9章	分詞	【知】分詞に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
3	第10章	比較	【知】比較に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	・ <b>考查</b> ・単元テスト	・ <b>考查</b> ・パフォーマンステスト	・ <b>提出物</b> ・言語活動に取り組む態度
	第11章	関係詞	【知】関係詞に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
	第12章	仮定法	【知】仮定法に関する事項を理解している。 【思】理解した文法を使って、自分の考えを表現しようとしている。 【主】理解した文法を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			



教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語会話	2	標準・文理	1	必修	SELECT: English Conversation (SANSEIDO)	SELECT: English Conversation Workbook (SANSIDO)

学習目標	To develop students' ability to comprehend spoken English and use the language to negotiate common conversational situations.			
学習方法	Employing a range of listening and interactive language-learning activities, students will be encouraged to explore and challenge their communicative English ability.			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson 1: New Friends	Self introductions and expressing interests	<b>【知】</b> Future/infinitives <b>【思】</b> Formulate questions/reponses for simple introductions. <b>【主】</b> Identify vocabulary related to school activities.	Term test	Interview & presentation	Workbook activities & listening quiz
	Lesson 2: Free Time	Leisure activities	<b>【知】</b> Present/past tenses <b>【思】</b> Describe leisure activities and their frequency. <b>【主】</b> Identify frequent and past activities.			
	Lesson 3: Are You OK?	Giving (medical) advice	<b>【知】</b> should~ <b>【思】</b> Inquire and advise about one's well being. <b>【主】</b> Identify ailments and symptoms.			
	Lesson 4: Our School	School and school life	<b>【知】</b> There is/are~ <b>【思】</b> Describe features of school notoriety. <b>【主】</b> Identify school activities and events.			
2	Lesson 5: Weather	Weather forecasts	<b>【知】</b> Aux V: will~ <b>【思】</b> Make predictions about future regional weather events. <b>【主】</b> Identify weather conditions.	Term test	Interview & presentation	Workbook activities & listening quiz
	Lesson 6: TV Programs	TV viewing habits and preferences	<b>【知】</b> Gerunds <b>【思】</b> Discuss viewing habbits and TV content. <b>【主】</b> Identify genres of content			
	Lesson 7: Cell Phone	Making arrangements to meet at a time and place	<b>【知】</b> Present perfect tense <b>【思】</b> Accept a phone call and negotiate arrangements. <b>【主】</b> Identify excuses and reasons.			
	Lesson 8: Telling the Way	Street directions	<b>【知】</b> SVOO <b>【思】</b> Give simple directions to common destinations. <b>【主】</b> Identify destinations and features of a street map.			
3	Lesson 9: Kyoto	Transport instructions	<b>【知】</b> How long...? <b>【思】</b> Give instructions for taking public transport. <b>【主】</b> Identify sightseeing destinations, times and prices.	Term test	Interview & presentation	Workbook activities & listening quiz
	Lesson 10: Shopping	Making a purchase	<b>【知】</b> Present progressive/SVC <b>【思】</b> Ask for service in a retail setting. <b>【主】</b> Identify colors, sizes and prices.			
	Lesson 11: Restaurant	Ordering lunch or dinner	<b>【知】</b> Infinitives <b>【思】</b> Make a simple order. <b>【主】</b> Identify common food and beverage options.			

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語会話	2	特進	1	必修	My Passport: English Conversation (BUNEIDO)	My Passport: English Conversation Workbook (BUNEIDO)

学習目標	To develop students' ability to comprehend spoken English and use the language to negotiate common conversational situations.			
学習方法	Employing a range of listening and interactive language-learning activities, students will be encouraged to explore and challenge their communicative English ability.			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Lesson 1: Making Conversation	Lesson 1: Making Conversation	【知】Let me~/What do you do? 【思】Make and respond to person introductions to maintain conversation. 【主】Identify occupations	Term test	Dictation, interview & role play	Workbook & listening quiz
2	Lesson 2: At the Hotel  Lesson 3 Going Sightseeing	Checking in at a hotel  Visiting sightseeing attractions	【知】Would you~/What time (when) does~? 【思】Formulate requests for information and service. 【主】Identify common actions of service.  【知】Could you tell me~/How long does it take to~? 【思】Request information and directions to commonly frequented sightseeing attractions. 【主】Identify times, directions and features of a map.	Term test	Dictation, interview & role play	Workbook & listening quiz
3	Lesson 4: Small Business	Visiting the post office and bank	【知】I'd like to~/How about~? 【思】Express volition and request information regarding postage and currency exchange. 【主】Identify prices and methods of postage.	Term test	Dictation, interview & role play	Workbook & listening quiz

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語会話	1	特進	2	必修	My Passport: English Conversation (BUNEIDO)	My Passport: English Conversation Workbook (BUNEIDO)

学習目標	To develop students' ability to comprehend spoken English and use the language to negotiate common conversational situations.			
学習方法	Employing a range of listening and interactive language-learning activities, students will be encouraged to explore and challenge their communicative English ability.			
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	Overview: school trip and home stay	Review trip etiquette and scheduling	Students will brainstorm expectations and compare results in groups.	Term test	Dictation, interview & role play	Workbook & listening quiz
	Australian Culture and Geography	Develop awareness of Australian cultural norms and geographical features.	Using authentic media sources, students will be introduced to Australian colloquialisms.			
	Eating Out: Australian cuisine and related customs	Ordering menu items and negotiating possible complications.	Using authentic materials, students will negotiate a role-play.			
2	Online Forum	Contribute to an online forum about set topics with their peers in Canberra schools, following established protocols.	Students will use computers /smartphones to interact with their peers.	Term test	Dictation, interview & role play	Workbook & listening quiz
	Going Shopping	Request service and give preferences when shopping for souvenirs.	Flashcards will be used as prompts to facilitate a role play.			
	Report: school trip review	Request service and give preferences when shopping for souvenirs.	Using established writing protocols, students will make note of their experiences and memories.			
3	Speech: school trip review	Write and structure a coherent and cohesive short speech.	Using language stems, students will reconstruct and present their impressions.	Term test	Dictation, interview & role play	Workbook & listening quiz
	Presentation: school trip	Develop presentation and public speaking skills including voice modulation and non-verbal communication elements.	Students will record their speech and seek peer feedback.			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	標準	3	必	MY WAY English CommunicationⅡ New Edition (三省堂)	MY WAY English CommunicationⅡ New Edition WORKBOOK Standard (三省堂)

学 習 目 標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。
学 習 方 法	様々な資料や情報を用いて本文の内容への興味を深め、学習ノートを併用し理解を深めます。単元ごとの文法内容は副教材を用いて理解を深めます。また辞書やCDを十分に活用し、英語の読みを理解することを通じて聞き取る力や語彙力をつけます。
学 習 評 価	①定期考査、②学習態度(関心・意欲、理解しようとする能力、知識を表現しようとする能力)、③提出物、④授業に対する準備 などによって総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	Lesson 7: An Encouraging Song 時代を超えて歌い継がれるZARDの『負けないで』について知り、坂井さんはどのような思いを込めたのかを知る	助動詞 / 助動詞+have+過去分詞 / wouldを使った表現/ 完了不定詞 を理解し、正しく使うことができるようになります。	講義を聴くだけではなく、ペアワーク、グループワーク、発表による言語活動にも参加します。
5			
6			
7			
9	Lesson 8: Language Contacts 小笠原諸島の「小笠原言語」を例に、複数の言語が会合するとき、互いに及ぼす影響について考える	仮定法過去 / 仮定法過去完了 / ifを使わない仮定法 / no matter+疑問詞 を理解し、正しく使うことができますようにします。	
10			
11			
12	Lesson 9: Charles Chaplin 20世紀の喜劇王と呼ばれたチャップリンの半生を学び、喜劇王になるまでの葛藤について学ぶ	分詞構文（現在分詞、過去分詞） / 完了形の分詞構文 / 付帯状況のwith を理解し、正しく使うことができますようにします。	
1			
2			
3	Lesson 10: The Five-story Pagoda of Horyuji 1300年もの間倒れずにその姿を保っている法隆寺の五重塔の秘密を学ぶ	同格のthat / 倒置 / 省略 / 強調構文 を理解し、正しく使うことができますようにします。	
4			
5			
6	R2: A Letter to Italy 花嫁探しの手紙にハンサムな弟の写真を同封してしまったその結果は。物語を鑑賞する	物語文を読んだり聞いたりして、ストーリーの展開や登場人物の感情などを読み取ることができる。	
7			
8			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	文理	3	必	Vivid English CommunicationⅡ NEW EDITION (第一)	Vivid English CommunicationⅡ NEW EDITION work & drill (第一)

学 習 目 標	英語を使って、積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を持つことと共に、情報や考えなどを正しく理解したり、正確に伝える力を更に伸ばし、実社会で使えるようになることを目指します。
学 習 方 法	教科書やワーク、様々な補助教材を用いて、聞いたことや読んだことを理解して、積極的にコミュニケーションを図ったり、発言できるよう取り組みます。
学 習 評 価	定期考査、小テスト、提出物、学習態度、出席状況等によって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	Lesson 4 Numbers Talk 国や文化によって異なる数字の持つ意味について学ぶ。	関係代名詞制限用法と非制限用法の違い。 完了形の受け身について、完了形の基本形を認識し、受け身の基本形も認識する。 慣用表現	ディクテーションとシャドウイングでリスニングから本文の内容理解をし、最終的に発話や英作文で重要表現をアウトプットできるようになる。
5	Lesson 5 The Doctor in the Stomach 医療の現場での最新テクノロジーの活用方法について学ぶ。	群動詞と進行形の受け身 関係副詞制限用法と非制限用法の違い。 慣用表現	自分の考えを英文にまとめる活動の中で、自分が知っている単語を使って表現する。
6	Focus on Grammar ② Lesson 6 Nature for the Next Generation 小笠原諸島についてなぜ東洋のガラパゴスと呼ばれているのか、その価値、そしてガラパゴス諸島がなぜ世界危機遺産に指定されたのかについて学ぶ。	受け身の応用表現 / 関係詞①(制限・非制限) 「時」「理由」を表す副詞節 分詞構文(現在分詞) 「推量」を表す助動詞 助動詞+have+過去分詞	それぞれの構文の復習 ワークシートを用いてペアワークの内容を書き留め、複数のパートナーと意見交換を行う。
7			
9	Lesson 7 A Young Man in the Sea Who Made a Change ジョン万次郎の一生について、特に海の男として成長した過程と新しい国作りに与えた影響について学ぶ。	「時」と「理由」などを表す副詞節 分詞構文(過去分詞) 関係代名詞…前置詞 前置詞+関係代名詞	海外生活を経験して日本で活躍した人物について調べ、英語で表現する。
10	Focus on Grammar ③ Lesson 8 Streetcars in the 21st Century LRT(Light Rail Transit)が今後の都市作り計画にどのように影響を与えるのか、その利点について学ぶ。	副詞の働きをする句や節 関係詞②(関係代名詞が前置詞を伴う形) 仮定法過去 S + V + O + C (=原形不定詞・現在分詞) S + V + O + C (=過去分詞) 同格のthat	それぞれの構文の復習 「交通問題・環境問題・都市開発」に関する基本的な情報を英語で理解し、口頭で発表する。
11	Lesson 9 The Challenge of Disarmament 世界の紛争地域における武装解除の現状と課題について学ぶ。	have(get)+O+過去分詞 完了不定詞 仮定法過去完了 省略	講義を聴くだけでなく、ペアワーク、グループワーク、発表による言語活動にも参加する。
12			
1	Lesson 10 Inventing Innovative Things for Society インダストリアルデザイナー榮久庵憲司さんが手がけた作品について学ぶ	複合関係詞 as if+仮定法 分詞構文(完了形) 倒置	文章をまとめるライティング、発表するスピーキング、聞くリスニング活動を取り上げる。
2	Focus on Grammar ④	仮定法 / 特別な構文	それぞれの構文の復習
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	5	特進	3	必	Revised LANDMARK English CommunicationⅢ (啓林館)	Revised LANDMARK English CommunicationⅢ Workbook 予習ノート(啓林館) Vintage(いいずな) 新マタン1(アルク)

学 習 目 標	様々な内容の英文を読み、良質な英文の構造を身に付け、4技能を習得することを第一目標にします。さらに多角的に物事を捉え、社会的・文化的な価値観に触れ、社会が求める力である「思考力」「創造力」「判断力」を身に付けることも目標にします。
学 習 方 法	「理解→定着→使用」を軸とした学習を目指します。 (1): 品詞: 文型を確認しながら、英文解釈をし理解をします。単語・熟語も積極的に覚えます。 (2): 音読をすることによって既習の英文を繰り返し読み、定着を図ります。 (3): ポイントとなる英文を暗唱できるまで覚え、発表し、その英文を基にした英作トレーニングをします。
学 習 評 価	単語テスト、暗唱テスト、定期考査、学習態度、出席状況、提出物などによって評価します。

#### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	Lesson1:Caffeine: The World's Favorite Drug Lesson2:Blood Is Blood	owe A to Bなどが理解できる。 make one's pointなどが理解できる。	新出単語をフラッシュカードやPowerPointを使い声を出して覚え、小テストで確認します。
5	Lesson3:Australia and its Creatur	It is worthwhile doingなどが理解できる。	各レッスンにおいて英文のリスニング・音読を通して理解を深めます。
6	Lesson4:The \$100,000 Salt and Pepper Shaker Lesson5:Bilingual Effects in the Brain Lesson6:Communication without Words	treat A as Bなどが理解できる。 have trouble (in) doingなどが理解できる。 be aware of Aなどが理解できる。	ポイントとなる英文の暗唱練習をペア活動で行います。クラスの前に出て全員でレシテーションコンテストを行い、聞いている生徒が評価をします。
7	Lesson7:The Honeybee Dance		既習レッスンの内容理解の確認のため、英問英答を行います。
9	Lesson7:Political Correctness Lesson8:Animal Math Lesson9:The Story of My Life	depend on Aなどが理解できる。 even thoughなどが理解できる。 be eager to doなどが理解できる。	コミュニケーション能力の育成を意識したアクティブ・ラーニングを行います。口頭でのトレーニングと紙上でのトレーニングとに分け、週1~2回程度授業の最初に行います。 ＜例＞Question →Answer →Add →Ask
10	Lesson10:Extinction of Languages	regard A as Bなどが理解できる。	
11	Lesson11:Learning a First Culture Lesson12:Light Pollution	apologize (to A) for Bなどが理解できる。 fill A with Bなどが理解できる。	
12			
1			
2			
3			

教科	科 目 名	単位数	履 修 種 別			使 用 教 科 書	使 用 副 教 材
			コース	学 年	必 / 選		
外国語	英語演習	4	標準	3	必		New Edition beam 1 (第一)

学 習 目 標	これまでに学習してきた英文法や語法の知識を整理・復習して英語を実際に「使う」力を高めるとともに、実際に英語で会話する場面での確に相手を理解し、意志を正しく伝える力を身につけられることを目指します。また最終的には、大学受験や実際の仕事の場で活かせる実用的な英語の力を得られるようにします。
学 習 方 法	各課のテーマとなっている文法事項を整理・復習します。その後問題形式で自分達自身で解答し、実際の用法に即した使い方を理解します。会話文はその状況を十分に把握した上で、全体の流れの中から答えを見つけ出すようにし、会話文独特の言い回しなどを身につけます。また特に会話においてはペアワークなどをすることによって、受動的ではなく能動的な学習を通じて実践的な英語の力を習得します。
学 習 評 価	1. 定期考査 2. 学習態度 3. 提出物 4. 小テストなどによって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	Lesson1～6 時制・完了形・助動詞・受動態	時制や完了形については日本語との違いについて理解します。受動態では「態」という概念の理解から基礎力を積み上げます。	ポイントを復習した後、実践的な問題に解答し定着を図ります。
5	Lesson7～12 不定詞・動名詞・分詞	準動詞について、英文法では大変重要であることから、しっかりと理解を深めます。	
6	Lesson13～19 比較・関係詞・仮定法・疑問詞と疑問文・否定・名詞と冠詞	特に関係詞については基礎から応用まで幅広い知識を身につけます。また冠詞については日本語との比較を用いて内容理解に努めます。	
7			
9	Lesson20～25 代名詞・形容詞と福祉・前置詞・接続詞・話法・強調・倒置・挿入・同格・省略・名詞構文・無生物主語構文	前置詞についてはある程度のイメージで理解することを中心に学習します。各構文については例文をある程度暗記するようにし、英語力の土台を固めます。	ポイントを復習した後、実践的な問題に解答し定着を図ります。また会話の部分ではペアワークをして、実践力を伸ばします。
10	Lesson26～31 助動詞・受動態を含む重要表現、不定詞・動名詞を含む重要表現、分詞を含む重要表現、関係詞・仮定法を含む重要表現	熟語や話法など、機械的に暗記するのではなくなぜその形になっているのかにまで掘り下げて理解します。	
11	Lesson32～35 「提案」「勧誘」「出会い」「依頼」「許可」「買い物」「食事」「謝罪」「感謝」「同情」「電話」「対応」「あいづち」「道案内」の会話表現	会話独特の言い回しについても理解を深め、言語表現の生まれた文化的背景についても考えます。実践的な問題では会話の流れにも着目し、全体を通じたやりとりについて意識を高めます。	
12			
1	各課の復習	これまで学習してきた内容を再度総合的な問題を通じて振り返ります。	各課の問題を総復習し、これまでの知識を再度確認します。
2			
3			

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語演習	4	文理	3	必		New Edition beam 1 (第一)

学 習 目 標	これまでに学習してきた英文法や語法の知識を整理・復習して英語を実際に「使う」力を高めるとともに、実際に英語で会話する場面で的確に相手を理解し、意志を正しく伝える力を身につけられることを目指します。また最終的には、大学受験や実際の仕事の場で活かせる実用的な英語の力を得られるようにします。
学 習 方 法	各課のテーマとなっている文法事項を整理・復習します。その後問題形式で自分達自身で解答し、実際の用法に即した使い方を理解します。会話文はその状況を十分に把握した上で、全体の流れの中から答えを見つけ出すようにし、会話文独特の言い回しなどを身につけます。また特に会話においてはペアワークなどを行うことによって、受動的ではなく能動的な学習を通じて実践的な英語の力を習得します。
学 習 評 価	1. 定期考査 2. 学習態度 3. 提出物 4. 小テストなどによって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	Lesson1～6 時制・完了形・助動詞・受動態	時制や完了形については日本語との違いについて理解します。受動態では「態」という概念の理解から基礎力を積み上げます。	ポイントを復習した後、実践的な問題に解答し定着を図ります。
5	Lesson7～12 不定詞・動名詞・分詞	準動詞について、英文法では大変重要であることから、しっかりと理解を深めます。	
6	Lesson13～19 比較・関係詞・仮定法・疑問詞と疑問文・否定・名詞と冠詞	特に関係詞については基礎から応用まで幅広い知識を身につけます。また冠詞については日本語との比較を用いて内容理解に努めます。	
7			
9	Lesson20～25 代名詞・形容詞と福祉・前置詞・接続詞・話法・強調・倒置・挿入・同格・省略・名詞構文・無生物主語構文	前置詞についてはある程度のイメージで理解することを中心に学習します。各構文については例文をある程度暗記するようにし、英語力の土台を固めます。	ポイントを復習した後、実践的な問題に解答し定着を図ります。また会話の部分ではペアワークをして、実践力を伸ばします。
10	Lesson26～31 助動詞・受動態を含む重要表現、不定詞・動名詞を含む重要表現、分詞を含む重要表現、関係詞・仮定法を含む重要表現	熟語や話法など、機械的に暗記するのではなくなぜその形になっているのかにまで掘り下げて理解します。	
11	Lesson32～35 「提案」「勧誘」「出会い」「依頼」「許可」「買い物」「食事」「謝罪」「感謝」「同情」「電話」「対応」「あいづち」「道案内」の会話表現	会話独特の言い回しについても理解を深め、言語表現の生まれた文化的背景についても考えます。実践的な問題では会話の流れにも着目し、全体を通じたやりとりについて意識を高めます。	
12			
1	各課の復習	これまで学習してきた内容を再度総合的な問題を通じて振り返ります。	各課の問題を総復習し、これまでの知識を再度確認します。
2			
3			



教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語演習	4	特進	3	必		New Edition beam 2 (第一) 共通テスト英語40分プレ ノート (数研)

学 習 目 標	センター試験・国公立・私立大学の知識問題に対応できる力を養うことを目標とする。さらに、国公立・私立大学の英作問題にも対応できるようにする。その知識を応用し、英検の記述問題への対策にもする。
学 習 方 法	「理解→定着→使用」を軸とした学習を目指します。 (1): ポイントとなる文法・語法・熟語・語彙を理解します。 (2): 音読をすることによってポイントの事項を含んだ英文を繰り返し読み、定着を図ります。 (3): ポイントとなる英文を暗唱できるまで覚え、他の問題にも応用していきます。
学 習 評 価	暗唱テスト、定期考査、学習態度、出席状況、提出物等によって評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)		学習のねらい	学習活動
4	Lesson1	「発音」など	カタカナ英語の発音や、「時」を表す副詞節の中のVの形など、大学受験必須事項を学びます。 カタカナ英語の発音や、使役動詞haveの使い方など、大学受験必須事項を学びます。 カタカナ英語の発音や、アクセントの基本ルールなど、大学受験必須事項を学びます。 カタカナ英語の発音や、It takes 人 時間 to V～など、大学受験必須事項を学びます。 発音のルール(名前動後)や、make sense to 人など、大学受験必須事項を学びます。 カタカナ英語の発音や、come up with～のようなイディオムなど、大学受験必須事項を学びます。 -icの直前の母音にアクセントが来るルールや、used to V～など、大学受験必須事項を学びます。	各Lessonの最初に、時間を計って問題を解く。  発音・アクセント問題で出てきた単語を発音練習する。  同一問題を解きなおしたり、類似問題に挑戦したりする。
	Lesson2	「アクセント」など		
	Lesson3	「文強勢」など		
5	Lesson4	「文法」など		
	Lesson5	「語法」など		
6	Lesson6	「語彙」など		
	Lesson7	「会話」など		
9	Lesson8	「部分整序作文」など	「オー」の発音のルールや、carry outのような熟語など、大学受験必須事項を学びます。 Forとduringの使い方の違いや、untilとbyの使い方の違いなど、大学受験必須事項を学びます。 -ee-にアクセントが来るルールや、仮定法など、大学受験必須事項を学びます。 -ionの直前の母音にアクセントが来るルールや、to不定詞など、大学受験必須事項を学びます。	各Lessonの最初に、時間を計って問題を解く。  発音・アクセント問題で出てきた単語を発音練習する。  同一問題を解きなおしたり、類似問題に挑戦したりする。
	Lesson9	「発音」など		
	Lesson10	「アクセント」など		
	Lesson11	「文強勢」など		
10	Lesson12	「文法」など	間違え易い発音や、-ityの直前の母音にアクセントが来るルールなど、大学受験必須事項を学びます。 カタカナ英語の発音や、mostとalmostの使い方の違いなど、大学受験必須事項を学びます。 consider Vingや、ifを省略した仮定法など、大学受験必須事項を学びます。 発音のルール(名前動後)や、知覚動詞など、大学受験必須事項を学びます。	
	Lesson13	「語法」など		
	Lesson14	「語彙」など		
	Lesson15	「会話」など		
12				
1				
2				
3				

教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
外国語	英語リスニング	2	特進	3	必		ユメリス①② CEFR A2レベル・B1レベル (7ルク)

学 習 目 標	英語の運用能力を高めるとともに、会話表現を身につけ、実際に英語で会話する際に的確に相手の意図を理解する能力を身につけることを目指します。最終的には、大学入試や仕事の場で有効に活かせる実用的なリスニング能力を育成します。
学 習 方 法	リスニング演習を中心にを行います。リスニング問題を解くコツなどを整理したあと、実際に問題を解いてもらい、それぞれ解説を聴きます。会話特有の表現なども学ぶとともに、ディクテーション、音読、英作文も行い、4技能の習得を目指します。
学 習 評 価	①定期考査、②学習態度(関心・意欲、理解しようとする能力、知識を表現しようとする能力)、③提出物、④小テスト などによって総合的に評価します。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	CEFR A2レベル Unit 1-10 「会話文」	注文や待ち合わせ場所、位置情報や数字、人物の行動、話し手の意図、会話の状況などを聞き取ったり、応答を予測したりできるようにします。	問題演習だけではなく、ディクテーション、音読、英作文にも取り組みます。
5			
6			
7			
9	CEFR B1レベル Unit 1-10 「会話文」	手段や手順、話者の感情、提案、予定や意向などを聞き取ったり、会話の状況を理解したりできるようにします。	問題演習だけではなく、ディクテーション、音読、英作文にも取り組みます。
10			
11			
12			
1	Unit 11-20 「モノローグ」  大学入試対策	身近な人や歴史上の人物についての話、友達の話、授業や学校生活の話、留守番電話、アナウンス、電話案内、説明や描写、講義などを聞き取ることができるようになります。  1, 2学期に学習したことを整理して大学入試問題にチャレンジし、リスニングの力がどれくらいついたのか確認します。	旧センター試験など、実際の大学入試で出題されたリスニング問題の演習を行います。
2			
3			

# 家 庭 科

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
家庭科	家庭基礎	2	全	1	必修	家庭基礎 自立・共生・創造（東書）	家庭基礎 学習ノート（東書）

学習目標	人の一生と家族・家庭、福祉、衣食住、消費生活などに関する基本的な知識と技術を習得し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度の確立を目標にします。					
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書と学習ノートの内容に沿って基礎的な知識を学びます。</li> <li>各単元での実習や演習を通じ実践的な知識と技術を学びます。</li> <li>暮らしの諸問題について様々な観点から探究し、自身のライフスタイル・生活設計について考えていきます。</li> </ul>					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A+、A、B、C、C-の5段階）にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価規準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 生涯を見通す	人生を展望する 目標を持って生きる	<b>【知】</b> 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解しているとともに、自立した生活を送るために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し意思決定していくことの重要性について理解を深めている。 <b>【思】</b> 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・ワークシート ・レポート ・小テスト ・調査	・ワークシート ・レポート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・レポート ・パフォーマンス課題 ・振り返りシート
	第2章 人生をつくる	人生をつくる 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会	<b>【知】</b> 生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 <b>【思】</b> 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			
	第3章 子どもと共に育つ	命を育む 子どもの育つ力を知る 子どもと関わる これからの保育環境	<b>【知】</b> 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 子どもへの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			
	第4章 超高齢社会と共に生きる	超高齢・大衆長寿社会の到来 高齢期の心身の特徴 これからの超高齢社会	<b>【知】</b> 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 高齢者の自立生活を支えるために、家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			
	第5章 共に生き、共に支える	私たちの生活と福祉 社会保障の考え方 共に生きる	<b>【知】</b> 生涯を通じて家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 <b>【思】</b> 生涯を通じて家族・家庭の生活の一員として自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			
2	第6章 食生活をつくる	食生活の課題について考える 食事と栄養・食品 食品の選択と安全 生涯の健康を見通した食事計画 調理の基礎 食生活の文化と知恵 これからの食生活	<b>【知】</b> ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。また、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・ワークシート ・小テスト ・調査	・ワークシート ・レポート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・レポート ・パフォーマンス課題 ・振り返りシート
	第7章 衣生活をつくる	被服の役割を考える 被服を入手する 被服を管理する 衣生活の文化と知恵 これからの衣生活	<b>【知】</b> ライフステージに応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。また、被服材料、構成及び衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 被服の機能性や快適性の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			
	第8章 住生活をつくる	住生活の変遷と住居の機能 安全で快適な住生活の計画 住生活の文化と知恵 これからの住生活	<b>【知】</b> ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。健康で快適な住生活に必要な情報の収集・整理ができ、住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 <b>【思】</b> 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わり的重要性について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			
3	第9章 経済生活を営む	情報の収集・比較と意思決定 購入・支払いのルールと方法 消費者の権利と責任 生涯の経済生活を見通す これからの経済生活	<b>【知】</b> 家計の構造や管理、消費生活の現状と課題、消費者保護制度について理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 <b>【思】</b> 自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいた行動や責任ある消費の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 経済計画や消費行動、意思決定について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・ワークシート ・小テスト ・調査	・ワークシート ・レポート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・レポート ・パフォーマンス課題 ・振り返りシート
	第10章 持続可能な社会を営む	持続可能な社会を目指して	<b>【知】</b> 生活と環境との関わりや持続可能な消費およびその社会への参画意義について理解している。 <b>【思】</b> 持続可能な社会を目指し安全で安心な生活と消費について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 <b>【主】</b> 持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会への参画や、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			
	第11章 これからの生活を創造する	生活をデザインする	<b>【知・思・主】</b> 第10章までの学びを活かし生活設計を考え、振り返りや改善を行いながら自分らしい人生の実現のために実践しようとしている。			

# 情 報 科

教科	科目	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
情報	情報Ⅰ	2	全	2	必修	最新情報Ⅰ(実教出版)	

学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。					
学習方法	本校生徒の実態に合わせるため実技を多く取り入れ、Office各種アプリケーションソフトウェアのみならず、Google Workspaceのツールも用いる。表計算やデータベースの学習、プログラミング学習等を行い技能面においての能力も養う。					
評価の観点 及びその趣旨	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。		事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A+、A、B、C、C-の5段階)にまとめます。また、学年末には観点別学習状況の評価の総括及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

#### 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(学習内容)の評価基準	評価方法		
				知	思	主
1	第1章 情報社会と私たち 情報社会 情報社会の法規と権利	情報社会の現状について理解する。 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。 知的財産権について理解する。 他人の著作物を適切に利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。	【主】情報社会の現状についてインターネット等で調べようとしている。 【思】SNSの活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点を挙げるができる。 【思】知的財産権の概要について説明することができる。 【知】目的を達成するために、著作物を法にしたがって適切に利用する方法を説明することができる。 【知】コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。 【知】アナログとデジタルの概念とその違いを理解している。	筆記テスト・実技テスト	進度表検印数	自己評価シート
	第3章 システムとデジタル化 情報システムの構成 情報のデジタル化 第4章 ネットワークとセキュリティ 情報通信ネットワーク 情報セキュリティ	コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 アナログとデジタルの違いについて理解する。 2進数と情報量の関係について理解する。 情報通信ネットワークの構成について理解する。 ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。 脅威に対する様々な安全対策について理解する。 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。 実技・実習 タッチタイピングソフト 表計算ソフト	【思】2進数と情報量の関係について説明することができる。 【思】通信方式の種類やその違いについて説明することができる。 【知】通信データの転送速度とファイルを圧縮する意義について理解している。 【思】情報セキュリティの3つの基本的な考え方について説明することができる。 【知】メッセージの送受信、デジタル署名、電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについてそれぞれ説明することができる。			
2	第5章 問題解決とその方法 問題解決 データの活用	問題解決の手順について理解する。 解決案を検討したり、整理・分析したりする方法について理解する。 データを収集したり、整理したりする方法について理解する。 表計算ソフトの活用方法について理解する。 データベースの種類とその仕組みについて理解する。	【思】問題や問題解決の意味、問題解決の手順について説明することができる。 【主】問題の解決案を検討するために、情報の収集・整理することができる。 【知】データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理することができる。 【思】表計算ソフトを用いて適切にデータの並べ替えや抽出などができる。 【思】データベースの意味と必要性を理解し、事例としてリレーショナルデータベースの機能について説明することができる。	筆記テスト・実技テスト	進度表検印数	自己評価シート
	第6章 アルゴリズムとプログラミング プログラミングの方法 プログラミングの実践	アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 変数を使用したプログラムを作成する。 関数を使用したプログラムを作成する。 実技・実習 表計算ソフト プログラミングソフト	【思】アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明することができる。 【主】プログラミング言語に興味を示し、実際に自ら活用している(活用した経験がある)。 【知】変数を使用して選択構造や反復構造のプログラムを作成することができる。 【知】関数の概念を理解して関数を使用し、簡単なプログラムを作成することができる。			
3	第2章 メディアとデザイン 情報デザイン 情報デザインの実践	社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 情報を正確に、わかりやすく伝える方法について理解する。 プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。 実技・実習 プレゼンテーションソフト	【思】情報バリエーション、ユニバーサルデザインの意味と目的について説明することができる。 【知】情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工夫など基本的な方法を理解している。 【思】プレゼンテーションの企画、準備、実施、評価・改善など、プレゼンテーションの流れについて説明することができる。 【主】プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる。	筆記テスト・実技テスト	進度表検印数	自己評価シート



教科	科目名	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
			コース	学年	必/選		
情報	情報の科学	2	標準	3	必	最新 情報の科学 新訂版 (実教)	

学 習 目 標	標準コースでは、英検や漢検などの各種資格取得を目指すことを目標にしていますが、「情報の科学」では、情報に関する資格（MOS Word2019, MOS Excel2019）を取得できる力を養うための学習を行います。
学 習 方 法	第1学期は「MOS Word2019検定」を受験することを前提に、模擬試験問題を利用して合格できる力を養い、希望者が夏期休業を利用し受験する。第2学期は「MOS Excel2019検定」の模擬試験問題を利用し、将来のためにスキルを身につける。第3学期はGoogle Coraboratolyを使いプログラミング学習を行う。
学 習 評 価	第1学期はMOS Word2019模擬試験問題を毎時間練習・試験を実施することで評価する。 第2学期はMOS Excel2019模擬試験問題を毎時間練習・試験を実施することで評価する。 第3学期はGoogle Coraboratlyでプログラミングの課題を作成し評価する。

### 学 習 計 画

月	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
4	「MOS Word2019」模擬試験問題実施 第1回プロジェクト1～7 1時間目プロジェクト1・2練習・試験 2時間目プロジェクト3・4練習・試験 3時間目プロジェクト5・6練習・試験	一度に全プロジェクトを学習するより、プロジェクトを小分けにすることで理解が深められます。	Wordは文字入力や表作成だけでなく、帳票の差し込み印刷など、いろいろな機能を持っていることを学習し、MOS Word2019検定が取得できる力を養います。
5	4時間目プロジェクト7練習・試験 (試験は授業終了15分前に実施) 5時間目プロジェクト1～4総合試験 6時間目プロジェクト5～7総合試験	また、小分けしたプロジェクトを必ず覚えられるように、毎回試験をすることで力がつきます。	
6	模擬試験問題の第2回～第5回も同様に実施するが、全ての回を消化出来ないで、実施出来る回まで行う。  検定受験希望者は、夏期休業中に全ての回を繰り返し練習し、検定試験に挑む。	最終的に全プロジェクトの試験をし、次の回へと進みます。	
7			
9	「MOS Excel2019」模擬試験問題実施 第1回プロジェクト1～7 1時間目プロジェクト1・2練習・試験 2時間目プロジェクト3・4練習・試験 3時間目プロジェクト5・6練習・試験 4時間目プロジェクト7練習・試験 (試験は授業終了15分前に実施)	一度に全プロジェクトを学習するより、プロジェクトを小分けにすることで理解が深められます。	Excelは表計算・グラフ作成の機能だけでなく、データベースとしても使え、他のいろいろな機能を持っていることを学習し、将来のスキルアップにつなげます。
10	5時間目プロジェクト1～4総合試験 6時間目プロジェクト5～7総合試験	また、小分けしたプロジェクトを必ず覚えられるように、毎回試験をすることで力がつきます。	
11	模擬試験問題の第2回～第5回も同様に実施するが、全ての回を消化出来ないで、実施出来る回まで行う。	最終的に全プロジェクトの試験をし、次の回へと進みます。	
12			
1	プログラミング言語のPythonを学ぶため、Googleアプリの一つである「Google Coraboratly」を使いプログラミング学習を行う。	アルゴリズムについて学習するため、Python言語とほぼ同じ（簡易版）「Google Coraboratly」を使い、簡単なプログラムが作成できるようにします。	問題を解決するための方法や手順を、プログラムを作成することで学びます。
2			
3			

# 総合的な探究



総合的な探究	単位数	履 修 種 別			使用教科書	使用副教材
		コース	学 年	必 / 選		
	1	標準	3	必		私たちが拓く日本の社会 (総務省, 文部科学省)

学 習 目 標	選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたこと、また成年年齢が18歳に引き下げられること（2022年4月1日から施行）をふまえ、自分の暮らす実社会におけるさまざまな事象や問題について、自ら考え、表現する力を身に付ける。
学 習 方 法	講義を聞き、ワークシートの作成、ディスカッション、レポート作成などを行う。
学 習 評 価	ワークシートおよびレポートの作成提出、参加態度による

#### 学 習 計 画

回	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
1	イントロダクション :「主権者」としての探究とは	正しい答えがあるとは思わずに、問いについて自ら考え、判断することこそ主権者として必要不可欠な姿勢です。この授業の意義についてまずは全体で共有しましょう。	講義を聞き、ワークシート、レポートを作成する
2	民主主義とは 歴史編	民主主義とは何でしょうか？とくに憲法制定の変遷や、選挙に関する歴史的なプロセスについて学びます。	
3	民主主義とは 法律編	民主主義の社会における法のあり方について、憲法や法律の役割や意味について学びます。	
4	選挙の実際	日本の選挙制度について学びます。とくに制度の内容だけでなく、18歳が主権者として選挙に参加するとはどういうことなのかについて考察します。	
5	政治とメディアと私たち	政治について知ろうとすると、マスメディアの存在が欠かせません。そもそもメディアとは何でしょうか？主権者とメディアの関係について考察します。	
6	探究Ⅰ	実社会における時事問題をとり上げ、自分の考えをまとめ、発表する。取組は、個人、ペアワーク、グループワークなど適宜実施する。	テーマについて、自らの考察をまとめワークシート、レポートを作成する。また、その内容を発表する。
7	探究Ⅱ		

総合的な探究	単位数	履 修 種 別			使用教科書	使用副教材
		コース	学 年	必 / 選		
	1	標準	3	必		

学 習 目 標	お金、そして経済活動は現代社会に欠かすことができないものである。自分たちが何のために働き、どのようにお金を使っていくのか、お金の持つ機能や租税、金融の仕組みなどを概観して学び、より良く生きる力を養う。
学 習 方 法	講義を聞き、ワークシートの作成、ロールプレイング、レポート作成などを行う。
学 習 評 価	ワークシートおよびレポートの作成提出、及び演習での活動。

#### 学 習 計 画

回	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
1	「お金」の正体を考える	お金はどこからやってきて、どこへ行くのか？お金の歴史を学び、その実態を考える。	講義を聞き、ワークシート、レポートを作成する。
2	「お金」とキャリアを考える	私たちはなぜ学び、なぜ働くのか。生きていくことはお金に換算できるのか。人生設計の中でのお金について考えていく。	講義を聞き、ワークシート、レポートを作成する。
3	「お金」の使い方を考える	お財布に入っている「目に見えるお金」もあれば、そうではないお金もある。銀行の役割や保険について学ぶ。	講義を聞き、ワークシート、レポートを作成する。
4	「お金」は誰のものかを考える	手元にあるお金の一部は「税金」として徴収される。それは誰が何のために行っているのか、税制について考える。	講義を聞き、ワークシート、レポートを作成する。
5	「お金」の怖さを考える	人間がお金を悪用するのか、はたまたお金が人間を悪くするのか。そして、自分自身が気をつけなければならないことは何かを学び考える。	講義を聞き、ワークシート、レポートを作成する。
6	身近な「お金」を考える	現代社会における人間の行動は、経済活動がその基盤である。電子マネーやバーゲンセール仕組みから、賢いお金の使い方を感じる。	講義を聞き、ワークシート、レポートを作成する。
7	「お金」の教科書をつくる	これまでの内容を踏まえて、誰かに教えたくなるようなお金の教科書を作り、共有する。	各自でテーマを設定し、自らの考察をまとめてレポートを作成する。

総合的な探究	単位数	履修種別			使用教科書	使用副教材
		コース	学 年	必 / 選		
	1	標準	3	必		

学 習 目 標	社会人になると、さまざまな年齢層、価値観の中で自分自身の力を発揮し、社会に貢献しなければならない。その中で必須のツールとなるのが社会人としての教養である。この根底にあるのは、相手を尊重する心であり、基本的なフォーマットを学びながら、周囲から「信頼できる人」と思ってもらえるような言動ができるようになる。
学 習 方 法	ワークシートとグループ内でのロールプレイングを中心に、生徒同士で助言や意見交換を行う。また、各回で実生活に役立つよう実践的な演習を取り入れる。
学 習 評 価	各回のワークシート及び演習での活動

#### 学 習 計 画

回	学習内容(単元)	学習のねらい	学習活動
1	社会人に必要な意識と自己管理	社会の中で働くとは何か、信頼を得るためには何が大切なのかを身だしなみやヘアスタイル・メイクの仕方に加え、挨拶や立ち居ふるまい等の第一印象の重要性について学ぶ。	ワークシート ロールプレイング
2	働き方と仕事の基本	PDCAサイクルやスケジュール管理の仕方、効果的なメモの取り方等、組織の一員としてルールやマナーを守りながら最大限のパフォーマンスをするために何をすべきかを考える。	ワークシート 手帳を活用したシミュレーション
3	会話のマナー	敬語が必要なことを正しく理解し、尊敬語・謙譲語・丁寧語を学ぶことで人間関係をスムーズにし、社会人としての会話を自信をもってできるようになる。	ワークシート ロールプレイング
4	電話・文書のマナー	電話での話し方やポイントをおさえ、良好な人間関係を築けるようになる。また、文書作成についても、基本のフレーズやフォーマットを覚え、手紙やはがきの正しい書き方について学ぶ。	ワークシート ロールプレイング はがき作成
5	訪問先でのマナー	訪問先でのマナーが組織のイメージに大きく影響することを理解し、その際の心構えや礼儀、名刺交換のマナー等を学び、組織の一員として、イメージアップにつながるふるまいができるようになる。	ワークシート ロールプレイング 名刺作成
6	人付き合いのマナー	先輩・同僚・後輩等それぞれの立場に合わせた接し方やハラスメントに関する正しい理解とトラブル回避法を学び、円滑なコミュニケーションを図れるようになる。	ワークシート ロールプレイング
7	食事会でのテーブルマナー	食事会でのフォークやナイフ、箸の使い方とドレスコード等の基本的なマナーを学び、一緒に食事をする人に不快な思いをさせないよう社会人としての基礎知識を身につける。	テーブルマナー、ドレスコードのシミュレーション

